



## 消費者としての高校生

### 要 約

#### 第1章 高校生の消費行動

##### ① 現在所有しているもの

高校生の所有物は「オーディオ機器」が最も多く91.1%に達する。次いで「自分の部屋」88.2%、「携帯電話やPHS」66.5%となる。「テレビゲーム」(男子87.3% > 女子40.7%)、「ポータブルCD・MD」(男子70.2% > 女子51.7%)、「自分専用のテレビ」(男子58.8% > 女子28.9%)は男子、「ギターやピアノなどの楽器」(男子44.2% < 女子62.1%)、「ブランド物など」(男子31.1% < 女子43.5%)は女子の所有率が高い(p.14 表1-8)

##### ② 所有しているカード

高校生が使っているカードの種類は、「お店のメンバーズカード」が最も多く93.7%。「キャッシュカード」「プリペイドカード」が2~3割(p.16 表1-10)

##### ③ よくすること

高校生がお金を使うときは、「友だちとよく買い食いする」を「とてもそう」と答えた者は15.3%、「わりと」(36.6%)を合わせると51.9%。次いで「おしゃれにお金をかける」49.1%、「CDやMDなど音楽にお金をかける」37.0%(p.17 表1-11)

##### ④ 商品購入時に利用する情報

商品の情報源は商品により異なり、「CD」(65.6%)は「テレビや雑誌のコマーシャル」、「シャープペンシルなどの文房具」(70.6%)、「シャツ」(70.6%)、「ジーンズ」(69.3%)は「店頭でみて」が主流である。コマーシャル情報や店頭での商品情報をチェックしているのは女子に多い(p.19 表1-13、p.20 表1-14)

##### ⑤ 商品の購入方法

商品の購入に「よく利用する」のは「コンビニ」(53.1%)、「専門店(ショップ)」(52.7%)が半数を超える。「コンビニ」「インターネット」は男子、「デパート」「スーパー」「通信販売」は女子が利用する割合が高い(p.21 表1-15・16)

##### ⑥ 消費欲求

消費欲求では、「すぐ買う」のは「食べ物・飲み物」で43.8%と最も高く、次いで「雑誌」が37.8%。一方で「食べ物・飲み物」「雑誌」「CD」を4割近い生徒は「ちょっとがまんする」が、最終的には購入する(p.22 表1-17)

### ⑦ 商品購入の際、重視すること

商品を購入する場合、重視する点は、清涼飲料水は味、文房具は使いやすさやデザイン、シャンプーや化粧品はききめや効果、セーターやシャツなどの衣類は色やデザイン、流行、まわりの人への印象などと値段である。男女で差が顕著である（p.24 表1 - 19、p.26 表1 - 20）

### ⑧ 消費行動と進路希望

高校卒業後「就職」希望者は、「友だちとよく買い食いをする」「コンビニをぶらぶらする」「デートのとき、ぜいたくをする」「夜の街をぶらぶらする」「ゲームソフトにお金をかける」ことが多く消費行動が活発化している。逆に「ふつうの4年制大学」希望者は、「CDやMDなど音楽にお金をかける」割合が39.2%と最も高いが、「おしゃれにお金をかける」「コンビニをぶらぶらする」「ウィンドーショッピングをする」「デートのとき、ぜいたくをする」が最小値（p.31 表1 - 22）

### ⑨ 自己像と消費行動

自己像との関連では、「校則は守っている」生徒は、「買い食い」や「夜の街をぶらぶら」せず、「CDやMDなどの音楽」や「ゲームソフト」にお金をかける。「友だちが多い」「行動力がある」「スポーツが得意」な生徒は「デートのとき、ぜいたくをする」割合が最も高く、「ゲームソフト」にはお金をかけていない（p.32 表1 - 23）

### ⑩ 日頃の気持ち・生活態度と消費行動

「ひとりぼっちのようで不安」「今の生活がむなしい」「何かを決めるとき、なかなか決められず困る」気持ちの強い生徒は、「友だちと買い食いする」から「夜の街をぶらぶら」まで、多様で活発な消費行動をとっている。「ゲームソフトにお金をかける」割合は、「今の生活がむなしい」「何かを決めるとき、

なかなか決められず困る」生徒に多い。生活態度では「おしゃれにお金をかける」が「茶髪にしたりパーマをかける」割合は72.5%に達する（p.33 表1 - 24）

## 第2章 お小遣いとその使い方

### ① お小遣い

全体の46.6%が1か月「2000～5000円」の決められた額のお小遣いをもらっている。毎月決められた額を「もらっていない」者が15.0%いる（p.38 表2 - 1）小学生までは「1000円以下」が約半数、中学生で「2000～3000円」が主流となる（p.38 表2 - 2）

### ② お小遣いの使い方

毎月決められたお小遣いから出すものは、「本や雑誌」「CD・MD」など自分の趣味やプライベートな友人とのつきあい関係で、学校にかかわることや金額のまとまったことは、そのつど親からもらっている（p.42 表2 - 10）

## 第3章 買い物意識と生活行動の要因

### ① 買い物意識

生徒たちの多くは、好みや流行をチェックした上で自分の買ったものではできるだけ長く使うようにしている。また、買い物は実利的な面のみならず、気晴らしになるなどメンタル面で大事だと認識している。食品の購入にあたっては賞味期限は気にするが、添加物・農薬などまで細心の注意をはらうという意識までは持っていない。女子は、気晴らしになるというメンタル面を特に重視している。学年別では、添加物や農薬など食品の安全面に細心の注意をはらう意識が学年進行にしたがって高まっている（p.46 図3 - 1、p.47 図3 - 2、p.49 表3 - 1）

## ② ふだんの生活行動

生徒たちの多くは、身近なところで省エネや環境問題に配慮した行動をしている。また、リサイクル活動や省資源・節約にも身近で日常できることには結構取り組んでいる。性別では、省エネや省資源などの生活行動を実践し、地球環境に配慮しているのは女子の方に多い。学年別では、学年進行にしたがって省エネや省資源・リサイクル活動に関心を示し、地球環境に配慮した生活行動をとるようになる（p.51 図3 - 3、p.52 図3 - 4、p.53 表3 - 3）

## ③ 買い物意識や生活行動を規定する要因

買い物意識やふだんの生活行動を強く規定している要因には、お小遣いの使い方の計画性の有無がある（p.57 表3 - 5、p.59 表3 - 6）

## 第4章 将来の生き方と金銭

### ① 将来の収入予測

高校をやめて働いた場合＝1か月の収入は「0～5万円」という生徒は約1割、「6万～10万円」が36.6%、最も多いのは「11万～20万円」で半数弱を占める。

25歳くらい＝「11万～20万円」が最も多く49.7%、次いで「21万～30万円」が36.8%。

40歳くらい＝「21万～30万円」が最大値で40.0%、「31万～50万円」が2位で37.4%となる。

55歳くらい＝「31万～50万円」が49.2%に上昇し、「51万～100万円」も12.9%（p.61 表4 - 1・2）

### ② 将来の生活レベル

将来の生活レベルを「きつと・たぶんできる」数値でみると、「ふつう程度の乗用車を持つ」は95.5%が実現できると答えている。次いで「月2、3回、家族でファミリーレス

トランで食事」（81.1%）、「自分の家を持つ」（77.1%）、「年2、3回、家族で国内旅行」（58.7%）となる。「セカンドハウスを持つ」は、さすがに「たぶん・絶対に無理」が9割近くを占める。

性別・学年別では、「ファミリーレストラン」「マイホーム」については女子がやや楽観的、「セカンドハウス」では男子の数値が高く、男子の収入予測の高さと対応している。「マイホーム」「国内旅行」は、学年が上がるで見通しが少し暗くなる。逆に「海外旅行」「セカンドハウス」では、3年生の数値がやや高い。

進路希望別では「難しい4年制大学」層の予測が最もリッチである。「難しい大学 一流企業 高収入」は高校生の意識の中では、「高学歴」と「高収入」が強く結びついている（p.64 表4 - 6、p.65 表4 - 7・8）

### ③ 金銭観と生活観

「まじめに働けば、ふつう程度の暮らしはできる」は、「とてもそう思う」が55.8%で、「まあそう思う」39.3%を合わせると肯定率は95.1%に達する。一方「悪いことをしない限り、大金を手にはできない」では、ほぼ4人に1人（23.8%）が「とても・まあそう思う」と答えている。

「お金の豊かさより、心の豊かさを大事にしたい」と84.6%が「とても・まあそう思う」と答える一方で、「何としても、大金を手にはしたい」で「とても・まあそう思う」者も62.2%に上る。「お金の豊かさより、心の豊かさが大事」は少し女子の賛同率が高い。男子は「大金を手にはしたい」数値が女子を上回る（p.66 表4 - 9、p.67 表4 - 10）

「今の生活がむなしく感じる」「自分の感情をコントロールできない」「学校にいるとイライラする」に「とても・わりとある」と答えた生徒は、そのようなことが「あまり・ぜんぜんない」と答えた生徒に比べ、「何と

しても、大金を手にした」と思う比率が高い。つまり、充実感がない者、心が不安定な者はより「大金を手にした」と考えている。また、「制服をだらしなく着る」「茶髪にしたりパーマをかける」という多少逸脱的な生徒たちも、「大金を手にした」との思いがやや強い(p.68 表4 - 12)。

自己像との関連では、「おしゃれな方」「異性から人気がある」生徒は「何としても大金を手にした」との思いが強い。一方、「校則は守っている」「友だち・先生から信頼されている」生徒たちは、あまり「大金」を求めようとしない(p.70 表4 - 15)。

#### ④ 仕事・金銭・生き方について

「A) 5時に仕事は終わるが、収入は少ない仕事」より、「B) 収入は多いが、残業も多い仕事」を選ぶ傾向がある(「絶対・できたら」A) 31.5%、B) 68.5%)。

「A) 現在を楽しみ、あまり貯金をしない暮らし」が37.1%なのに対し、「B) 欲しいものをがまんして、貯金をする暮らし」は62.9%になる。

「A) のんびりとした仕事だが、収入は少ない仕事」か、「B) 高収入だが、責任が重く、神経を使う仕事」かは意見が分かれる。強いていえばAがやや多い。

「A) 貧しくとも、家族を大事にする暮らし」が88.2%に上り、「B) 家族を犠牲にしても、豊かさを確保する暮らし」(11.9%)との差が大きい(p.72 表4 - 18)。

#### [ 調査概要 ]

対象 東京・新潟・宮城・福岡の公立高校  
1～3年生

時期 2000年10月～11月

方法 学校通しの質問紙調査

サンプル数 2,020名(1年677名・2年694名・3年649名、男子826名・女子1,194名)

#### [ 執筆分担 ]

はじめに・まとめに代えて

深谷 昌志(東京成徳短期大学教授)

第1章

三枝 恵子(埼玉県立松山高等学校教諭)

第2章

木下 勉(東京都立国分寺高等学校教諭)

第3章

蒲生眞紗雄(東京都立国際高等学校教諭)

第4章

畠山 滋(千葉県立市川南高等学校教諭)

## はじめに

# 生きる課題を持たない成長のスタイル

### 貧しさからの脱出

長い間、青少年にとって、「貧しさからの脱出」が課題だった。生活が貧しく、何をやるにも貧しさがつきまとう。だから、なんとかして貧しさから脱しようとする。子どもは常に貧しさから逃れるのを願ってきた。

脱出のルートはいくつか考えられる。基本の形は勤勉に働くことである。星をいただいで働きに出て、月を見ながら家に戻る。そうした努力の蓄積を通して貧しさを越えていけるという生き方である。銅像で有名な二宮金次郎がそうした刻苦勤勉型のモデルであろう。

もちろん、勤勉に加え、才気活発に機転を利かせ、成功を収める形もある。みかん船で知られる紀伊国屋文左衛門も機敏と大胆さで、流れをつかんだ1人であろう。才気で大金をつかんだサクセス・ストーリーである。

しかし、多くの若者は才気も持っていないが幸運にも恵まれない。幸運を望めないなら、禁欲的な態度で勤勉に励むことが必要になるが、勤勉さはあっても努力が報いられず、貧しさから脱するのは難しいのが現実であった。

### 学歴というルート

そうした状況の中に、明治に入ると学歴というルートが誕生する。ヨーロッパの場合、社会の階層性が強固で、学歴ルートの利用者

は上層階層に限られていた。それに対し日本の場合、学歴取得に経済的な裏づけが必要だったが、全体としてみると、学歴は庶民にも開かれていた。そして、学歴のルートは乗りさえすれば、経済的な豊かさだけでなく、仕事での成功や社会的な地位の上昇といった立身出世が可能だった。旧制中学から旧制高校へとという選抜のルートが確立されて、多くの青少年はこのルートの走破を目指した。東京府立一中から第一高等学校、東京帝国大学へがゴールデンコースだった。

よい大学に入れば、立身出世が保証される。そう考えるから、有名大学への進学を目指す。見方を変えれば、受験競争は貧しさから脱するために、学歴というルートを利用する者の争いであった。アジアの社会では、才気活発さで巨万の富を築いたサクセス・ストーリーを聞くことが多い。しかし日本では、経済的な勤勉さや才気に頼るより、学歴というルートを活用する方が現状から脱出する可能性が強かった。高学歴は経済的な豊かさに加え、社会的な達成を可能にする打ち出の小槌の取得を意味した。そうであるから、青少年は勤勉に受験勉強に励んだのであろう。

### 選抜のない入試

多くの大学で今年の入試が終わった。ここ数年、大学入試の両極化が進んでいるが、そ

の傾向がますます強まった印象を受ける。入試が成り立っている大学・学部と成り立たない学部との対比である。

東大や早慶などの一流大学は、現在でも難関だし、入試に合格すれば心から「ヤッタ」と思える。そうした一方、受験生の集まらない学部や学科が少なくない。少子化傾向に折りからの不況が重なって、受験生は慎重に進学先を選ぶ。その結果、入試が定員割れを起こす。そうなると、受験してくれば合格となるので、入試の形をとれなくなる。しかも定員割れの状況が、一部の問題を抱える大学から広い範囲へ拡大している。

受験生の志願先は流行りすたりが激しい。数年前まで、「国際」や「コミュニケーション」を掲げた学科に受験生が集まったが、「福祉」ブームを経て、現在は「心理」に人気が集中している。その反面、「国文」や「英文」のような伝統的な学科が衰退している。このため、多くの大学では受験生の集まりそうな学科への改組を繰り返している。

こうした変化を、受験生の側からとらえるとなどうなるのか。難関大にこだわらなければ、誰でも、どこかの大学に入学できる。しかも、かつての難関大も入りやすい大学に変わりつつある。さらに、名門大学に入学できたとしても、卒業後に安定した生活が保証されるわけではない。

このように進学の意味が弱まると同時に、進学にあたって選抜の機能が薄れ、誰でも選抜試験を受けずに進学する状況が強まっている。

これまで多くの生徒は、難関大学進学を目標として懸命に勉強してきた。難関を突破できれば、明るい未来が約束されるはずであった。端的に言えば、日本に限らず欧米でも、「学校」は常にそうした選抜機能を担ってい

た。選抜の意味が薄れたとき、学校はどういう働きをし、生徒は学校をどう利用するのか。

課題を持ってないままに成長———●

いずれにせよ、入試から選抜という性格が薄れ、特定の大学にこだわらなければ、どこかの大学に入れる。進学という名のハードルが低くなった。ということは、明治以降、有効であった学歴というルートが機能を停止しかけたことを意味する。

考えてみれば、貧しさからの脱出というテーマも現状に合わなくなった。日本の状況は豊かとはいえないが、決して貧しくはない。少なくとも、真剣に家計の心配をしなくてはならない高校生はそれほど多くはない。高望みをしなければ、その日その日を送っていける。現状から脱する必要性が少ない。

これまで、青少年は否応なしに生きるための課題を背負わされていた。しかし、現在の青少年はこれまでの課題が弱まったのはいいが、課題を見いだせないままに成長している。

そうした状況の中で、生徒の対応は2つに分かれてこよう。進学というハードルがなくなり、どのみちどこかの大学に入学できる。だから、のんびりとやろうというのも1つの方法であろう。それに対し、これまでの進学は学力という尺度に規定されていた。これからは学力を離れて自分の生き方を追求できる。そう考えて、学校での勉強を通して自分を見つめ、生き方を貫くことも1つの生き方となる。そして、どちらのタイプの生徒が多くなるかで、これからの日本の姿が変わってくるように思える。

いずれにせよ、高校生がどう生きようとしているのか。本号では、経済感覚を中心として、高校生の生き方を確かめていきたい。

## 第1章 ||||

# 高校生の消費行動

校内の落とし物ケースをのぞくと、財布、定期入れ、CD、靴、マフラー、手袋から上履き、体育着、教科書、参考書など様々な物が並んでいる。校内で拾われた物なのに落とし主は現れず、毎年たくさんの物が展示され落とし主不明のまま保管されていく。生徒たちは紛失するといとも簡単に新しい物と買い換えてしまう。また、まだ使える物でも目先の変った流行の物を買って古い物はゴミ箱に捨ててしまう。

一方、高校では相変わらず労働体験を認めず、アルバイトは届け出による許可制の高校もあるが、ほとんどは原則的に禁止している学校が多い。現状は、高校生のかなりの割合がアルバイトをしているのも既成の事実である。親たちも、昨今の経済状況が家計に及ぼす影響も大きく、放課後や夏休みをぶらぶら過ごすよりアルバイトでお金を稼ぐ方がよいと黙認している。さらに社会は高校生を労働力の一部とみなし、コンビニやガソリンスタンドには「アルバイト求む。時給高校生 円、大学生 円」の求人案内がみられる。それを見ても違和感は感じられず、高校でアルバイトを禁止する理由はすでに意味をなさ

なくなった。

このような高校での対応では生徒たちは金銭の重さを実感できず、その上お小遣いは欲しいだけもらえ、新しい物が出ればそれが欲しく古い物は捨ててしまう。こうした消費欲求を満たすため高校生はアルバイトでの収入や親からもらうお小遣いを商品やサービスの購入にあて、消費生活の主役を演じ、「高校生」ブランドが企業の生産動向にも影響を与えているのが現状である。

豊かな社会で育ってきた高校生に物の大切さを教えるのは難しい。そして、それ以上に難しいのが、高校生たちの消費欲求をコントロールする力を育てることである。さらに高校生をターゲットとした悪質な商法の被害者にならないためにも、あふれる情報の中から適切な商品の選択ができる確かな目を養う必要性など課題も多い。

本報告は、このような消費社会の中で生活する高校生たちの金銭感覚や消費に対する意識や行動を明らかにし、高校生の将来像と関連させ消費行動の背景を分析したものである。

# 1 サンプルの概要

本調査のサンプルは、東京・新潟・宮城・福岡の公立高校1、2、3年生2,020名である(表1-1)

サンプルの概要を最大値に注目し大まかにみていこう。表1-2は部活動の様子である。「運動部に入って熱心に活動している」生徒は28.7%(男子37.6%、女子22.5%)「以前

入っていたが、今は活動していない」も28.1%と、熱心に活動している割合とほぼ同数値である。学年別にみると、3年生に「以前入っていたが、今は活動していない」が54.8%と高い。これは調査時期が2学期で、3年生の多くが部活動をすでに引退した時期と重なるためであろう。

表1-1 サンプル数

	(人)		
	男子	女子	合計
1年	279	398	677
2年	285	409	694
3年	262	387	649
合計	826	1,194	2,020

表1-2 部活動 × 性・学年

	(%)					
	全体	性別		学年別		
		男子	女子	1年	2年	3年
運動部に入って熱心に活動している	28.7	37.6	22.5	39.2	32.3	13.7
運動部に入っているが、あまり熱心に活動していない	7.1	8.3	6.3	10.7	8.4	1.9
文化部に入って熱心に活動している	13.4	7.1	17.8	14.6	17.4	7.7
文化部に入っているが、あまり熱心に活動していない	11.1	7.9	13.4	13.4	13.2	6.5
以前入っていたが、今は活動していない	28.1	27.2	28.7	12.5	18.6	54.8
入ったことがない	8.8	8.9	8.7	8.3	8.0	10.1
その他	2.8	3.0	2.6	1.2	2.0	5.2

表1 - 3は高校卒業後の進路希望である。「就職」「家業・家の手伝い」は6.5%にすぎず、「ふつ々の4年制大学」希望が48.7%と最も多く、「難しい4年制大学」14.2%を合わせると62.9%が4年制大学を希望している。次いで「専門・専修学校」(16.1%)「短期大学」(5.0%)を合わせると21.1%となり、高校卒業後上級学校へ進学を希望する者は8割を超える。

次に、高校生としてのタイプを自己評価したものが表1 - 4である。自己のタイプとして最も多く認められたのが「校則は守っている」で「とても+わりとそう」を合わせると43.6%、次いで「友だちが多い」(33.5%)「行動力がある」(31.7%)「スポーツが得意

だ」(31.1%)が3割を超える。「友だちから信頼されている」23.5%、「先生から信頼されている」14.3%で、教師よりわずかに友だちからの信頼の方が高い。また、「おしゃれな方だ」「友だちやクラスをひっぱる力がある」は1割程度と、ほどほどに決まりを守りながら友だちも多く、スポーツも得意だが仲間のリーダーになるほどの力はなく、信頼関係が深まるほどの友人関係も築いていない姿がうかがえる。この結果を性差で見ると、男子は「校則は守っている」「スポーツが得意だ」、女子は「友だちが多い」項目で差がみられる。行動力やおしゃれ度では性差がみられない(表1 - 5)。

表1 - 3 進路希望 × 性・学年

	(%)					
	全 体	性 別		学 年 別		
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
就職	6.1	6.1	6.1	6.1	5.6	6.6
家業・家の手伝い	0.4	0.4	0.4	0.5	0.6	0.2
専門・専修学校	16.1	9.6	20.6	14.8	15.4	18.4
短期大学	5.0	0.4	8.2	4.1	3.0	8.0
ふつ々の4年制大学	48.7	58.7	41.7	45.1	49.7	51.3
難しい4年制大学	14.2					
まだ決めていない	8.1	7.2	8.7	13.0	8.4	2.5
その他	1.5	2.4	0.9	2.3	1.2	1.0

表1 - 4 高校生としてどんなタイプか

	(%)				
	とても そう	わりと そう	少し そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
校則は守っている	15.1	28.5	27.0	21.6	7.8
	43.6				
友だちが多い	6.7	26.8	34.9	25.7	5.9
	33.5				
行動力がある	8.7	23.0	26.0	33.5	8.8
	31.7				
スポーツが得意だ	12.0	19.1	21.0	25.0	23.0
	31.1				
努力型だ	10.0	19.5	26.5	28.4	15.6
	29.5				
友だちから信頼されている	4.9	18.6	46.2	24.9	5.4
	23.5				
先生から信頼されている	3.7	10.6	28.8	37.6	19.3
	14.3				
おしゃれな方だ	3.4	9.6	30.0	41.8	15.2
	13.0				
友だちやクラスをひっぱる力がある	3.3	8.1	20.9	40.5	27.2
	11.4				
異性から人気がある	1.8	2.5	10.8	41.2	43.7
	4.3				

表1 - 5 高校生としてどんなタイプか × 性

	(%)		
	全 体	性 別	
		男 子	女 子
校則は守っている	43.6	47.9	> 40.4
友だちが多い	33.5	30.8	35.4
行動力がある	31.7	31.8	31.5
スポーツが得意だ	31.1	39.2	25.4
努力型だ	29.5	28.7	30.0
友だちから信頼されている	23.5	20.9	25.4
先生から信頼されている	14.3	16.0	13.1
おしゃれな方だ	13.0	13.4	12.8
友だちやクラスをひっぱる力がある	11.4	11.8	11.2
異性から人気がある	4.3	6.6	2.8

「とても」+「わりと」その割合  
> 5%以上 10%以上の差

表1 - 6、図1 - 1、図1 - 2は、お小遣いの額とアルバイト経験、アルバイトで金銭を稼いだことがある割合を示した。詳しくは2章で述べるので、ここでは1か月に親からもらっているお小遣いやアルバイト経験を大まかに捉えた。お小遣いの額は「4000円～5000円くらい」と答えた割合が36.3%と生徒

たちのお小遣いの額の最大値となっている。一方、「もらっていない」生徒も15.0%おり、この生徒たちは小遣いはもらわず必要なとき必要なだけもらうタイプとアルバイト収入でまかなっている生徒が含まれるだろう。アルバイトについては、現在している生徒は6.8%、しかし「これまでにアルバイトで金銭を稼い

表1 - 6 1か月にもらっているお小遣い

(%)								
500円未満	1000円くらい	2000～3000円くらい	4000～5000円くらい	6000～8000円くらい	1万円くらい	2万～3万円くらい	4万円以上	もらっていない
0.6	1.0	10.3	36.3	17.3	17.6	1.7	0.2	15.0

図1 - 1 現在アルバイトをしているか

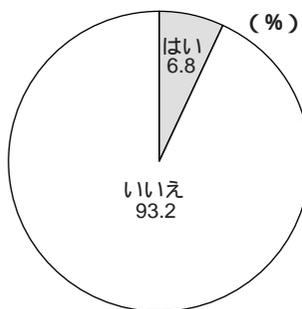
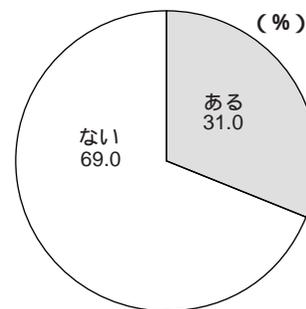


図1 - 2 これまでにアルバイトで金銭を稼いだこと



だ経験があるか」と尋ねると、31.0%が「ある」と答えている。

こうしたアルバイト体験をサンプルの学校別で示したのが表1 - 7である。A校は、現在アルバイトしている割合は21.5%、これまでにアルバイトで金銭を稼いだ経験がある生徒は53.7%にも達し、刺激的な都心の高校生

像が推測できる。しかし、C校、D校のような地方都市でも、現在アルバイトをしている割合は数パーセントだが、これまでアルバイトで稼いだ経験を持つ生徒は4割とかなり多く、アルバイトが高校生に地域を問わず定着している様子が見えてくる。

表1 - 7 サンプルの学校別特徴

(%)

	部活動		進路希望			現在アルバイトしている割合	これまで金銭を稼いだ経験の割合
	運動部熱心	文化部熱心	就職・家業	専門・短大	4年制大学		
A校	24.4	17.4	4.0	13.7	74.1	21.5	53.7
B校	31.3	9.0	4.5	30.4	56.3	0.9	22.9
C校	34.4	12.5	7.3	23.2	59.5	4.7	40.5
D校	31.9	18.4	5.4	14.7	71.4	5.8	35.8
E校	21.3	13.3	8.5	18.4	62.0	2.2	10.5
F校	28.9	10.4	9.0	25.2	55.1	5.7	23.5

## 2 高校生の消費行動

### 1) 高校生の持ち物

高校生をみていると、新しい物から物へと関心が移っていき、結果として消費欲求は必然的に高まる。携帯電話に例をとれば、次々に新しい機能のついた器機が出る。高校生は友だち同士で商品の情報を回し新しい器機を次々に買い換えて、より一層複雑な機能を使いこなしていく。当然、基本料金や通話料がかさんでくる。親に支払ってもらう生徒、自分のお小遣いの範囲でまかなっている生徒、基本料金は親、通話料は自分でという生徒、使いすぎてアルバイトに精を出す生徒や親か

ら叱られる生徒など、便利さの中で消費対象として弄ばれている高校生像が浮かんでくる。

そこでまず、高校生が現在所有しているものにはどんなものがあるのかみてみよう。表1-8は、高校生の関心の高い「オーディオ機器」から「自分専用のパソコン」までをあげ、所有率を複数回答で尋ねた結果である。持っている割合は「オーディオ機器」が最も多く91.1%に達する。次いで「自分の部屋」88.2%、「携帯電話やPHS」66.5%と続く。さらに「テレビゲーム」「ポータブルCD・MD」「ギターやピアノなどの楽器」が5割を

表1-8 現在所有しているもの × 性・学年

	(%)					
	全 体	性 別		学 年 別		
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
オーディオ機器	91.1	90.6	91.4	89.1	91.1	93.1
自分の部屋	88.2	89.6	87.2	87.4	88.8	88.2
携帯電話やPHS	66.5	62.9	69.1	65.4	65.4	69.0
テレビゲーム	59.8	87.3	40.7	64.5	60.8	53.6
ポータブルCD・MD	59.3	70.2	51.7	59.0	57.2	61.9
ギターやピアノなどの楽器	54.8	44.2	62.1	56.1	52.0	56.4
自分専用のテレビ	41.1	58.8	28.9	38.5	42.6	42.3
ブランド物など	38.4	31.1	43.5	40.1	38.1	37.0
バイクの免許	11.5	14.5	9.4	5.2	14.6	14.7
自分専用のパソコン	10.5	16.3	6.5	10.8	10.2	10.7

(複数回答)

超える。オーディオ機器を備えた自分の部屋を所有している生徒はほぼ9割、そこに携帯電話やテレビ、ギターなどの楽器と高価な物に囲まれた高校生の生活がうかがえる。

所有物には性差が顕著にみられ、「テレビゲーム」(男子87.3% > 女子40.7%)、「ポータブルCD・MD」(男子70.2% > 女子51.7%)、「自分専用のテレビ」(男子58.8% > 女子28.9%)は男子の所有率が高く、「ギターやピアノなどの楽器」(男子44.2% < 女子62.1%)、「ブランド物など」(男子31.1% < 女子43.5%)は女子の所有率が高い。学年差では、「テレビゲーム」が学年が上がるにつれ減少し、「バイクの免許」は2年生で所有率が急激に増加していることが目を引く。バイクの免許については満16歳で取得可能になるため、多くの高校生は1年生が修了した春休みや2年生の夏休みに取得している傾向がみられるので当然の結

果といえよう。

この結果を表1 - 9により、学校別に所有率の高い項目を拾っていくと、

A校 = ポータブルCD・MD(67.7%)、テレビゲーム(65.0%)、自分専用のパソコン(17.5%)

B校 = 自分の部屋(97.4%)、オーディオ機器(94.4%)、自分専用のテレビ(52.3%)

C校 = バイクの免許(49.7%)、ブランド物など(49.4%)

D校 = 携帯電話やPHS(89.2%)、ギターやピアノなどの楽器(63.5%)

A校はメディア環境が充実し、B校は9割以上の生徒がオーディオ機器を備えた自分の部屋を持ち、自分専用のテレビも半数が所有している。C校はバイク免許の所得率が5割でブランド物への欲求も強いなど、学校差が顕著にみられる。

表1 - 9 現在所有しているもの × 学校

	オーディオ機器	自分の部屋	携帯電話やPHS	テレビゲーム	ポータブルCD・MD	ギターやピアノなどの楽器	自分専用のテレビ	ブランド物など	バイクの免許	自分専用のパソコン
A校	86.1	71.2	75.1	65.0	67.7	58.5	31.8	36.5	8.3	17.5
B校	94.4	97.4	78.4	62.9	54.1	47.4	52.3	35.1	1.2	9.9
C校	92.3	91.1	66.6	54.4	63.9	47.3	45.3	49.4	49.7	6.8
D校	92.9	92.6	89.2	54.2	54.5	63.5	38.1	39.0	0.6	9.4
E校	88.5	86.6	49.4	60.9	62.1	59.6	38.2	37.3	2.0	11.2
F校	92.2	90.1	47.7	60.8	53.5	53.5	40.7	33.4	6.5	8.4

(複数回答)  
 ○ は最大値 — は最小値

## 2) カード社会の中で

さて、技術革新のスピードは商品の質や量を変えただけでなく、購入方法や支払い手段までに変化を及ぼしている。手持ちの現金がなくてもカードを利用すればよく、高校生も例外ではない。高校生も商品の購入や旅行代金の支払いなどでカードを利用し、高額な商品の購入を可能にしたり、自分の銀行口座を持ちキャッシュカードで必要な金額を出し入れしながら現金を持ち歩かないで経済行為をしている。

そこで、高校生が使っているカードの種類を尋ねてみた。表1-10によれば、高校生が持っているカードは「お店のメンバーズカード」が最も多く93.7%である。お店のメンバーズカードは、使えば使うほど様々な特典が

あり、高校生の購買意欲をそそるカードとなっている。次いで「お店のサービスカード」「キャッシュカード」「プリペイドカード」の3種類が所有者の多いカードである。さすがに「クレジットカード」は1.7%とごくわずかである。未成年の安定した収入もない高校生の持つクレジットカードはおそらく家族会員カードと思われるが、友だちと出かけたスキー旅行の費用をカードで支払ったり、文化祭の商品の仕入れをカードを持っている生徒が一括支払っているなどの姿をみると、高校生にもカード社会が浸透している様子がうかがえる。

キャッシュカード、プリペイドカード、クレジットカードを持っている生徒の性別や学年別をクロス集計でみてみると右の通りである。

表1-10 所有しているカード × 性・学年

	(%)					
	全 体	性 別		学 年 別		
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
お店のメンバーズカード	93.7	93.1	94.2	94.1	93.0	94.1
お店のサービスカード	85.0	81.3	87.5	87.7	85.1	82.2
キャッシュカード	29.1	27.9	29.8	18.0	31.9	37.7
プリペイドカード	22.4	26.2	19.9	18.6	21.6	27.4
クレジットカード	1.7	3.2	0.7	1.1	1.7	2.4

(複数回答)

1年 2年 3年  
 キャッシュカード(男子) 26.6% < 33.9% < 39.4%  
 (女子) 17.3% < 39.2% < 43.5%  
 プリペイドカード(男子) 34.3% 30.9% < 34.8%  
 (女子) 22.4% < 34.1% < 43.5%  
 クレジットカード(男子) 24.0% < 40.0% 36.0%  
 (女子) 12.5% 12.5% < 75.0%  
 (数値は「持っている者」のみを性別・学年別に再計算した)

特に、クレジットカードの所有率は全体では1.7%とごくわずかであり、学年・性別はその傾向を示したにすぎないが、学年が上がるにつれカード所有率が増加している。特に女子にその傾向が強くみられ、高校生の消費行動が活発化し多様化していく傾向がうかがえる。

### 3) 消費と商品の情報源

表1-11は、高校生の消費意識や行動を尋ねてみた。まず、高校生がどんなときにお金

を使うのかみてみよう。「友だちとよく買い食いをする」を「とてもそう」と答えた者は15.3%、「わりとそう」(36.6%)を合わせると51.9%と、半数を超える生徒が買い食いするのが日常的なようだ。次いで「おしゃれにお金をかける」も「とても」と「わりと」を合わせると49.1%、「CDやMDなど音楽にお金をかける」が37.0%と高い数値を示している。逆に「デートのとき、ぜいたくをする」「ゲームソフトにお金をかける」は1割程度にすぎず、高校生の消費の対象は食べる、こと、おしゃれをすること、CD・MDなどの音楽関係の3領域に絞られる。そして「コンビニをぶらぶらする」「ウインドーショッピングをする」など、消費欲求をそそるような場所へよく行く生徒も4割おり、さすがに「夜の街をぶらぶらする」などは少数派となっているが、高校生活に「消費」が占める割合は大きい。

表1-11 高校生がよくすること

	とても そう	わりと そう	どちらとも いえない	かなり 違う	まったく 違う
友だちとよく買い食いをする	15.3	36.6	31.0	10.7	6.3
	51.9			17.0	
おしゃれにお金をかける	13.7	35.4	35.5	8.4	7.1
	49.1			15.5	
コンビニをぶらぶらする	13.3	29.3	29.5	16.1	11.7
	42.6			27.8	
ウインドーショッピングをする	14.1	25.6	34.4	13.1	12.9
	39.7			26.0	
CDやMDなど音楽にお金をかける	10.2	26.8	36.1	14.9	11.9
	37.0			26.8	
彼(彼女)とデートのとき、ぜいたくをする	3.9	10.9	50.9	11.1	23.3
	14.8			34.4	
夜の街をぶらぶらする	4.2	9.9	27.4	19.4	39.1
	14.1			58.5	
ゲームソフトにお金をかける	3.3	7.7	15.5	10.9	62.6
	11.0			73.5	

表1 - 12は属性分析である。「とても+わりとそう」の数値でみていくと、「友だちとよく買い食いをする」「おしゃれにお金をかける」「ウインドーショッピング」をよくするのは女子、「CDやMDなど音楽にお金をかける」「夜の街をぶらぶらする」「ゲームソ

フトにお金をかける」ことは男子に多くみられる。

さて、高校生は商品を選ぶとき、どのような情報をもとに購入するのだろうか。表1 - 13をみてみよう。「テレビや雑誌のコマーシャル」を最も重視するのは「CD」を購入す

表1 - 12 高校生がよくすること × 性・学年

	(%)					
	全 体	性 別		学 年 別		
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
友だちとよく買い食いをする	51.9	46.9	55.4	54.0	50.5	51.2
おしゃれにお金をかける	49.1	37.6 <	56.9	49.9	51.9	45.1
コンビニをぶらぶらする	42.6	43.2	42.2	44.4	41.7	41.9
ウインドーショッピングをする	39.7	20.8	52.7	40.9	37.6	40.4
CDやMDなど音楽にお金をかける	37.0	47.0 >	30.2	42.2	34.1	35.0
彼(彼女)とデートのとき、ぜいたくをする	14.8	18.5	12.1	13.5	15.7	15.1
夜の街をぶらぶらする	14.1	20.7 >	9.5	12.5	14.9	15.1
ゲームソフトにお金をかける	11.0	21.3 >	3.9	12.5	10.5	10.1

「とても」+「わりと」その割合  
>10% 20%以上の差

る場合で65.6%となる。アイドルタレントを起用したテレビや雑誌の大量のコマーシャルは商品の知名度を高め、商品イメージを繰り返し植えつける魔力を持っている。さらに「今買うとの特典」などのおまけもついて、高校生の消費欲求は否でも応でも高まっ

てしまう。次に、「店頭でみて」購入する物は「シャープペンシルなどの文房具」(70.6%)、「シャツ」(70.6%)、「ジーンズ」(69.3%)が7割、「かばん」「靴」「雑誌」が6割を超える。ジーンズやシャツ、靴などは好みだけではなくサイズや自分に似合うかなども重

表1 - 13 商品を購入するとき、利用する情報

(%)

	テレビや雑誌の コマーシャル	友だちから の情報	家族から の情報	店頭で みて	何となく	買わない
CD	65.6	8.2	0.5	10.2	8.1	7.4
シャープペンシルなどの文房具	1.8	3.1	0.2	70.6	19.5	4.8
かばん	18.1	5.1	0.9	63.7	7.3	4.9
靴	22.7	4.3	0.9	64.6	5.2	2.1
シャツ	17.3	2.7	1.0	70.6	5.7	2.6
ジーンズ	15.4	3.0	0.9	69.3	5.2	6.2
楽器	8.3	3.5	1.4	19.2	3.3	64.2
雑誌	10.3	7.1	0.6	61.4	13.7	6.9
化粧品	23.2	7.0	1.3	27.2	5.2	36.1
シャンプーや整髪剤	28.5	7.7	3.3	35.9	10.0	14.7

要な選択肢となるため、やはり直接手に触れ目で確かめたい気持ちが強いのだろう。

コマーシャル情報や店頭での商品情報をチェックしているのは女子に多い。表1-14によれば、女子は「CD」は「テレビや雑誌のコマーシャル」で、「化粧品」「シャンプーや整髪剤」は「テレビや雑誌のコマーシャル」をみて「店頭でみて」確かめてから、「シャープペンシルなどの文房具」「かばん」「シャツ」「ジーンズ」「雑誌」は「店頭でみて」から購入する傾向がみえる。女子高校生御用達のドラッグストアが業界で急成長し、その影響力は生産動向も左右するともいわれている。今やおしゃれな文具店やドラッ

グストアなどに女子高校生が仲間と集いながら試供品を次から次へと試している様子は、日常の風景となっている。

先の表1-13から、商品を購入する場合の多くが店頭でみてから購入する傾向が明らかになったが、それではどのような場所や方法で購入しているのだろうか。表1-15によれば、商品の購入で「よく利用する」のは「コンビニ(53.1%)」「専門店(ショップ)」(52.7%)が半数を超えている。そして「デパート」を利用する生徒は25.0%と4人に1人となる。「インターネット」や「通信販売」は数パーセントで、まだ高校生にはあまりなじまない購入方法なのかもしれない。

表1-14 商品を購入するとき、利用する情報 × 性

(%)

		テレビや雑誌の コマーシャル	友だちから の情報	家族から の情報	店頭で みて	何となく	買わない
CD	男子	57.7	10.8	0.5	13.6	10.1	7.2
	女子	71.0	6.4	0.5	7.8	6.7	7.6
シャープペンシルな どの文房具	男子	2.2	2.9	0.5	60.3	26.6	7.4
	女子	1.5	3.2	0.1	77.7	14.5	3.0
かばん	男子	18.4	6.7	1.2	52.6	11.5	9.5
	女子	17.8	4.0	0.7	71.4	4.4	1.8
靴	男子	26.4	5.4	0.9	55.3	8.4	3.7
	女子	20.2	3.6	1.0	71.1	3.0	1.1
シャツ	男子	18.6	4.3	1.6	62.5	8.8	4.3
	女子	16.4	1.7	0.6	76.1	3.6	1.5
ジーンズ	男子	18.0	5.0	1.0	59.4	8.4	8.2
	女子	13.6	1.6	0.9	76.2	2.9	4.8
楽器	男子	12.1	4.9	1.0	20.1	4.8	57.2
	女子	5.7	2.6	1.8	18.6	2.3	69.0
雑誌	男子	13.5	7.8	0.7	53.7	16.7	7.6
	女子	8.0	6.7	0.6	66.8	11.6	6.4
化粧品	男子	7.0	2.3	1.0	13.4	6.7	69.6
	女子	34.3	10.3	1.6	36.6	4.1	13.1
シャンプーや整髪剤	男子	15.5	5.7	2.8	35.7	14.7	25.6
	女子	37.5	9.1	3.6	36.0	6.7	7.2

表1-16は属性別の結果である。「コンビニ」「インターネット」は男子、「デパート」「スーパー」「通信販売」は女子が利用する割合が高い。学年別では差はほとんどみられないが、「デパート」「通信販売」「インターネット」の利用を性別・学年別にクロスしてみた。

		1年	2年	3年
デパート	(男子)	7.7%	14.0%	8.5%
	(女子)	35.4%	37.2%	33.2%

通信販売	(男子)	13.8%	17.6%	11.6%
	(女子)	21.6%	24.6%	21.9%
インターネット	(男子)	8.6%	12.6%	8.5%
	(女子)	0.8%	0.2%	1.6%

男女とも2年生で消費がやや活発になる傾向がみられる。2年生は部活動による他校との交流試合や遠征、予備校への通学など自宅と学校を中心とした生活から行動範囲や友だち関係がより拡大されることが背景にあると推測される。

表1-15 商品の購入方法

	(%)			
	よく利用する	ときどき利用する	ほとんど利用しない	利用しない
コンビニ	53.1	38.1	7.0	1.8
専門店(ショップ)	52.7	39.1	6.5	1.7
デパート	25.0	42.9	24.8	7.2
スーパー	16.4	39.7	34.1	9.8
ディスカウントストア	14.6	37.3	34.2	13.9
通信販売	3.2	16.1	25.8	54.9
インターネット	1.9	4.9	9.1	84.2

表1-16 商品の購入方法 × 性・学年

	(%)					
	全体	性別		学年別		
		男子	女子	1年	2年	3年
コンビニ	53.1	57.1 >	50.3	54.1	52.2	53.0
専門店(ショップ)	52.7	55.3	50.8	54.2	50.7	53.3
デパート	25.0	10.1	35.3	24.0	27.6	23.2
スーパー	16.4	10.7 <	20.2	15.6	15.6	17.9
ディスカウントストア	14.6	12.6	16.0	14.3	14.2	15.5
通信販売*	19.3	14.4 <	22.7	18.4	21.7	17.7
インターネット*	6.8	10.0 >	4.5	6.2	7.6	6.5

「よく利用する」割合  
\* 「よく」 + 「ときどき」利用する割合  
> 5% 10%以上の差

#### 4) 消費欲求と商品選択

それでは、高校生は欲しいものがあったとき、どのくらいがまんするのだろうか。表1-17により、「すぐ買う」と答えた数値で追ってみよう。「食べ物・飲み物」が43.8%と最も高く、次いで「雑誌」が37.8%、そしてまた「食べ物・飲み物」「雑誌」「CD」は、4割近い生徒が「ちょっとがまんする」とも答えている。「ほとんど買わない」ものは、「ゲームソフト」69.5%と「スポーツ用品」

60.6%が上位を占める。「参考書・問題集」を「ほとんど買わない」と答えた割合が52.9%、買わないものの中で「化粧品」や「靴下やハンカチなどの小物」より上位になっていることが高校生としては少し情けない。

表1-18は性別を示した。整理すると以下ようになる。「すぐ買う」に「ちょっとがまんする」を合わせると、男子に比べ女子の消費欲求の強さと消費行動の多様さがうかがえる。

表1-17 すぐ買うか、ちょっとがまんするか

	(%)			
	すぐ 買う	ちょっと がまんする	かなり がまんする	ほとんど 買わない
食べ物・飲み物	43.8	41.3	10.4	4.5
雑誌	37.8	36.3	8.8	17.1
CD	21.6	37.1	15.3	26.0
新しい文房具	17.6	26.8	15.7	39.8
化粧品	13.4	32.8	12.0	41.8
参考書・問題集	13.2	24.5	9.4	52.9
靴下やハンカチなどの小物	13.1	30.9	17.4	38.6
ゲームソフト	5.4	12.5	12.6	69.5
スポーツ用品	5.1	20.7	13.6	60.6

「すぐ買う」		化粧品	66.3%
男子 = 食べ物・飲み物	42.0%	靴下やハンカチなどの小物	56.0%
雑誌	37.0%	C D	55.0%
女子 = 食べ物・飲み物	45.0%	新しい文房具	51.2%
雑誌	38.4%	「ほとんど買わない」	
「すぐ・ちょっとがまんする」		男子 = 化粧品	73.8%
男子 = 食べ物・飲み物	80.2%	靴下やハンカチなどの小物	55.1%
雑誌	70.1%	参考書・問題集	53.7%
C D	64.1%	女子 = ゲームソフト	87.0%
女子 = 食べ物・飲み物	88.5%	スポーツ用品	73.4%
雑誌	76.8%	参考書・問題集	52.4%

表1 - 18 すぐ買うか、ちょっとがまんするか × 性

	男 子				女 子			
	すぐ 買う	ちょっと がまんする	かなり がまんする	ほとんど 買わない	すぐ 買う	ちょっと がまんする	かなり がまんする	ほとんど 買わない
食べ物・飲み物	42.0	38.2	13.9	6.0	45.0	43.5	8.0	3.5
雑誌	37.0	33.1	11.4	18.4	38.4	38.4	6.9	16.3
CD	29.1	35.0	14.4	21.6	16.4	38.6	16.0	29.0
新しい文房具	12.9	21.7	17.8	47.5	20.9	30.3	14.3	34.5
参考書・問題集	10.6	22.6	13.2	53.7	15.1	25.8	6.7	52.4
ゲームソフト	10.5	23.9	21.3	44.3	1.9	4.5	6.6	87.0
スポーツ用品	8.4	30.2	19.3	42.1	2.9	14.2	9.6	73.4
靴下やハンカチなどの小物	7.4	19.3	18.2	55.1	17.1	38.9	16.9	27.1
化粧品	4.7	12.3	9.2	73.8	19.4	46.9	14.0	19.8

もう少し消費行動を探ってみよう。表1-19では具体的な商品を4種類あげ、どのようなことを重視して商品の購入を選択しているのか尋ねてみた。「とても気にする」数値に着目し30%以上の項目を拾っていくと、

1) 清涼飲料水	
味	76.8%
中身の量	35.2%
値段	31.2%
新製品	30.0%

表1-19 商品を購入するとき、重視すること

1) 清涼飲料水

	(%)			
	とても 気にする	かなり 気にする	あまり 気にしない	ぜんぜん 気にしない
値段	31.2	23.9	37.3	7.5
添加物	8.2	15.5	43.4	32.9
健康によいかどうか	13.2	24.5	40.0	22.3
世の中の流行	7.2	20.3	43.8	28.8
容器のデザイン	7.2	16.9	43.9	31.9
味	76.8	19.6	2.5	1.1
中身の量	35.2	35.1	25.0	4.7
メーカー品	6.5	12.7	44.1	36.7
新製品	30.0	32.6	24.6	12.8
カロリー	24.9	20.2	30.6	24.4

2) 文房具(ペンケースやシャープペンシルなど)

	(%)			
	とても 気にする	かなり 気にする	あまり 気にしない	ぜんぜん 気にしない
値段	38.6	31.3	22.7	7.4
材質	21.8	27.6	33.9	16.7
世の中の流行	10.4	17.2	44.4	28.0
キャラクター	13.5	19.4	33.6	33.5
色やデザイン	47.6	35.6	9.8	7.0
サイズ	32.4	39.1	19.7	8.8
使いやすさ	57.2	30.2	8.2	4.4
ブランド	7.3	11.4	40.7	40.6
新製品	12.9	20.9	36.0	30.2
自分のまわりの人が持っている かどうか	11.2	16.5	34.5	37.9

## 2) 文房具

使いやすさ	57.2%
色やデザイン	47.6%
値段	38.6%
サイズ	32.4%

## 3) シャンプーや化粧品

ききめ・効果	57.0%
香りや色	37.3%
値段	34.3%

## 3) シャンプーや化粧品

(%)

	とても 気にする	かなり 気にする	あまり 気にしない	ぜんぜん 気にしない
値段	34.3	30.5	23.6	11.5
材料	17.7	21.7	39.7	20.9
世の中の流行	15.8	28.3	33.4	22.5
容器の形やデザイン	14.3	22.4	37.0	26.2
ききめ・効果	57.0	28.1	7.4	7.6
ブランド	11.7	17.9	36.3	34.1
新製品	21.3	27.4	29.0	22.2
自分のまわりの人が持っている かどうか	7.0	14.8	40.7	37.6
購入先(販売店)	6.8	10.6	43.4	39.2
香りや色	37.3	32.6	18.6	11.4

## 4) セーターやシャツなどの衣類

(%)

	とても 気にする	かなり 気にする	あまり 気にしない	ぜんぜん 気にしない
値段	53.7	35.2	9.1	2.0
ウールや綿などの材質	19.9	31.0	37.6	11.5
世の中の流行	34.1	36.1	20.8	8.9
色やデザイン	67.5	27.5	3.4	1.5
着心地	44.5	38.9	13.9	2.8
ブランド	21.0	24.9	32.7	21.5
新製品	19.8	26.4	36.3	17.4
自分のまわりの人が持っている かどうか	17.7	26.1	33.5	22.7
まわりの人はどう感じるか	32.4	39.2	20.9	7.5
購入先(販売店)	16.2	28.8	35.9	19.0

4) セーターやシャツなどの衣類 色やデザイン 値段 着心地 世の中の流行 まわりの人はどう感じるか	67.5% 53.7% 44.5% 34.1% 32.4%	清涼飲料水は味、文房具は使いやすさやデザイン、シャンプーや化粧品はききめや効果、セーターやシャツなどの衣類は色やデザイン、流行、まわりの人への印象などを重視し、そして全てに共通して重視するのは価格である。これらの結果からみると、高校生の
---	---	--

表1 - 20 商品を購入するとき、重視すること × 性

1) 清涼飲料水

(%)

		とても 気にする	かなり 気にする	あまり 気にしない	ぜんぜん 気にしない
値段	男子	32.8	22.0	34.3	11.0
	女子	30.1	25.3	39.5	5.1
添加物	男子	8.0	14.4	37.5	40.1 ∇
	女子	8.2	16.3	47.5	27.9
健康によいかどうか	男子	12.2	21.9	38.2	27.7
	女子	13.8	26.3	41.2	18.6
世の中の流行	男子	6.8	18.3	41.2	33.7
	女子	7.4	21.7	45.6	25.3
容器のデザイン	男子	7.1	14.6	40.3	38.0 ∇
	女子	7.3	18.6	46.4	27.7
味	男子	74.7	19.4	3.5	2.4
	女子	78.3	19.7	1.8	0.2
中身の量	男子	41.8 ∇	33.5	18.9	5.8
	女子	30.7	36.2	29.2	3.9
メーカー名	男子	8.2	15.1	39.0	37.7
	女子	5.3	11.0	47.6	36.1
新製品	男子	29.4	31.2	22.8	16.7
	女子	30.5	33.6	25.8	10.1
カロリー	男子	8.2 ^	12.3	35.4	44.1 ∇
	女子	36.4	25.7	27.2	10.7

^∇は「とても気にする」「ぜんぜん気にしない」で男女差が10%以上

消費感覚もなかなか堅実的であるといえよう。しかし、食品添加物やポストハーベスの問題、環境問題などの視点から言えば、清涼飲料水については、「添加物」「カロリー」「健康によいかどうか」などももう少し気にしてもよいように思う。

表1 - 20は性別に示した。清涼飲料水を購入するとき、男子は「中身の量」を重視し、女子より「添加物」「容器のデザイン」「健康によいかどうか」「カロリー」などは「ぜんぜん気にしない」割合が高い。一方、女子は「カロリー」を重視し、添加物や健康

## 2) 文房具（ペンケースやシャープペンシルなど）

(%)

		とても 気にする	かなり 気にする	あまり 気にしない	ぜんぜん 気にしない
値段	男子	32.9	27.9	24.5	14.6 ▼
	女子	42.6	33.7	21.4	2.4
材質	男子	17.6	25.4	31.1	26.0 ▼
	女子	24.7	29.2	35.8	10.4
世の中の流行	男子	8.0	13.0	38.2	40.7 ▼
	女子	12.0	20.1	48.8	19.1
キャラクター	男子	6.7 ▲	11.6	32.6	49.1 ▼
	女子	18.1	24.8	34.3	22.7
色やデザイン	男子	31.0 ▲	38.4	15.5	15.1 ▼
	女子	59.1	33.7	5.8	1.4
サイズ	男子	24.1 ▲	37.4	22.1	16.3 ▼
	女子	38.0	40.2	18.1	3.6
使いやすさ	男子	46.7 ▲	33.5	10.9	8.9
	女子	64.5	27.9	6.4	1.3
ブランド	男子	5.7	8.4	36.4	49.4 ▼
	女子	8.3	13.4	43.7	34.6
新製品	男子	12.1	16.6	32.2	39.1 ▼
	女子	13.5	23.9	38.6	23.9
自分のまわりの人が持っているかどうか	男子	9.3	12.7	31.0	47.1 ▼
	女子	12.5	19.1	36.9	31.5

▲▼は「とても気にする」「ぜんぜん気にしない」で男女差が10%以上

的な配慮も男子と比べより商品を選ぶ選択肢に加えていることがわかる。

シャープペンシルなどの文房具では、男女の差が顕著で、女子は「キャラクター」「色やデザイン」「サイズ」「使いやすさ」を重視し、男子は女子に比べほとんど気にしないで選

んでいる。特に「色やデザイン」を重視する割合は男女で28.1ポイント、「使いやすさ」でも17.8ポイントの差がみられる。

シャンプーや化粧品では一層重視する割合が開き、女子は「値段」「材料」「容器の形やデザイン」「ききめ・効果」「ブランド」「新

### 3) シャンプーや化粧品

(%)

		とても 気にする	かなり 気にする	あまり 気にしない	ぜんぜん 気にしない
値段	男子	22.5 ^	22.9	30.9	23.7 v
	女子	42.5	35.8	18.6	3.1
材料	男子	11.6 ^	19.2	38.4	30.8 v
	女子	21.9	23.5	40.7	14.0
世の中の流行	男子	9.0 ^	21.3	33.5	36.2 v
	女子	20.5	33.2	33.3	13.0
容器の形やデザイン	男子	7.0 ^	12.6	38.8	41.7 v
	女子	19.4	29.2	35.8	15.6
ききめ・効果	男子	37.9 ^	31.5	13.7	16.9 v
	女子	70.1	25.7	3.0	1.1
ブランド	男子	6.7	12.0	34.8	46.4 v
	女子	15.2	21.9	37.3	25.6
新製品	男子	15.2 ^	19.6	30.5	34.8 v
	女子	25.6	32.8	28.0	13.6
自分のまわりの人が持っているかどうか	男子	5.0	10.4	34.7	49.9 v
	女子	8.3	17.8	44.8	29.1
購入先(販売店)	男子	6.1	8.8	36.9	48.2 v
	女子	7.2	11.9	48.0	33.0
香りや色	男子	22.0 ^	29.2	26.4	22.4 v
	女子	47.9	35.0	13.2	3.9

^vは「とても気にする」「ぜんぜん気にしない」で男女差が10%以上

製品「香りや色」など様々な要因をチェックして選んでいる。特に、「ききめ・効果」32.2ポイント、「香りや色」25.9ポイントの差があり、これらの商品に女子のこだわりが強いことがわかる。

セーターやシャツなどの衣類ではどう

だろうか。シャンプーや化粧品ほどの性差はみられないが、それでも女子は「値段」「世の中の流行」「色やデザイン」「着心地」などトータルな視点から商品を購入していることがわかる。

#### 4) セーターやシャツなどの衣類

(%)

		とても 気にする	かなり 気にする	あまり 気にしない	ぜんぜん 気にしない
値段	男子	47.3 ^	35.8	13.1	3.9
	女子	58.1	34.9	6.3	0.7
ウールや綿などの材質	男子	17.4	28.4	38.4	15.9
	女子	21.6	32.9	37.0	8.5
世の中の流行	男子	27.7 ^	32.1	25.6	14.5
	女子	38.6	38.9	17.4	5.1
色やデザイン	男子	55.8 ^	33.8	6.8	3.5
	女子	75.5	23.2	1.1	0.2
着心地	男子	37.7 ^	41.1	16.6	4.6
	女子	49.2	37.3	12.0	1.4
ブランド	男子	20.0	24.4	31.5	24.1
	女子	21.6	25.1	33.5	19.7
新製品	男子	18.8	21.2	36.3	23.7 v
	女子	20.5	30.0	36.3	13.1
自分のまわりの人が持っているかどうか	男子	15.6	21.8	34.0	28.6
	女子	19.1	29.1	33.1	18.7
まわりの人はどう感じるか	男子	26.9	40.6	22.0	10.5
	女子	36.1	38.2	20.2	5.5
購入先(販売店)	男子	15.8	28.4	32.2	23.6
	女子	16.6	29.1	38.5	15.9

^vは「とても気にする」「ぜんぜん気にしない」で男女差が10%以上

表1 - 21は、社会問題になっている悪質な商法の被害の体験である。全体では、「ない」割合が96.8%と圧倒的である。しかし性差で見ると、ごくわずかであるが男子に多くみられる。高校生と話をしていると、「街を歩いていたらスカウトされた」「通信販売を申し込んで代金を支払ったが、商品が届かない」「インターネットオークションに申し込んだが、商品が届かない」「友だちにつきあってサークルについて行ったら、宗教の勧誘で無理矢理本を買わされ怖かった」など、悪質な商法の一步手前までの体験をし

ている生徒も多い。

高校生の消費行動はこれまでみてきたように、女子に活発な消費行動がみられ、女子は商品情報も多く収集し、1つの商品にこだわりを持って選んでいることがわかる。様々な情報から商品をチェックし、価格も考慮しながら自分の好みの品を選択する。すなわち、女子は商品にこだわりを持ち、消費行動の意志決定を自ら行い、金銭感覚も男子に比べ堅実な経済行為を行っているといえる。

表1 - 21 悪質な商法にだまされたこと × 性・学年

(%)

			ない	1回ある	何回かある
全 体			96.8	2.4	0.8
性 別		男 子	96.0	2.9	1.1
		女 子	97.4	2.0	0.6
学 年	男 子	1 年	96.7	2.2	1.1
		2 年	96.1	2.5	1.4
		3 年	95.2	4.0	0.8
	女 子	1 年	97.5	2.0	0.5
		2 年	97.3	2.0	0.7
		3 年	97.4	2.1	0.5

### 3 高校生の消費行動の背景

2節では、高校生の消費意識や行動、商品を購入するときの情報源や重視する点などをみてきた。男子に比べ女子は情報収集にも積極的で、雑誌やテレビのコマーシャルをみて店頭でそれを確認してから購入している様子がみられた。そこでもう少し深めて、高校生の生活態度や日頃の感情、自己像などと関連させ消費行動の背景を追ってみたい。

表1-22は、高校生の消費行動と進路希望をクロスした集計結果である。表の数値は「とても+わりとそう」の数値を示している。各項目の最大値でみていくと、高校卒業後「就職」を希望している者は、「友だちとよく買い食いをする」「コンビニをぶらぶらする」「デートのとき、ぜいたくをする」「夜の街をぶらぶらする」「ゲームソフトにお金をかける」ことが多く、消費行動が活発化しているとい

えよう。逆に「ふつうの4年制大学」希望者は、「CDやMDなど音楽にお金をかける」割合が39.2%と最も高いが、「おしゃれにお金をかける」「コンビニをぶらぶらする」「ウインドーショッピングをする」「デートのとき、ぜいたくをする」で最小値となっている。同様の傾向は「難しい4年制大学」希望者にもみられ、昔のように「大学合格に全てを賭ける。音楽や趣味、デートなんてとんでもない」と考える生徒は少なくなり、音楽や楽器、ゲームを趣味にし、部活動に熱中しながら大学へ進学していく高校生をみていると、大学入試が多様化し入りやすくなったと実感する。しかし、この数値をみる限りでは、まだまだ高校生にとっては大学進学が高校生活に占める比重の大きさを感じてしまう。

表1-22 消費行動 × 進路希望

	全 体	進 路 希 望				
		就職	専門・専修学校	短大	ふつうの4年制大学	難しい4年制大学
友だちとよく買い食いをする	51.9	59.2	58.6	53.1	49.4	47.8
おしゃれにお金をかける	49.1	48.0	58.9	57.3	44.7	46.2
コンビニをぶらぶらする	42.6	54.4	44.7	43.2	39.8	40.8
ウインドーショッピングをする	39.7	36.9	51.4	47.4	36.0	38.6
CDやMDなど音楽にお金をかける	37.0	32.8	36.0	20.9	39.2	36.2
彼(彼女)とデートのとき、ぜいたくをする	14.8	26.5	18.1	15.7	13.1	13.5
夜の街をぶらぶらする	14.1	26.8	14.6	4.2	12.6	12.1
ゲームソフトにお金をかける	11.0	14.5	9.7	5.2	7.7	10.6

「とても」+「わりと」そうの割合  
 ○は最大値    —は最小値

表1 - 23は、自己像と消費行動の関連を示した。自分を高校生としてどんなタイプか自己評価した「とても+わりとそう」の数値と消費行動の「とても+わりとそう」する割合を示し、30%以上の数値に○印をつけてある。全体として「校則は守っている」「友だちが多い」「行動力がある」「スポーツが得意だ」「努力型だ」の生徒に、消費行動に関心が強く積極的な様子がみられる。もう少し詳しくみると、「校則は守っている」生徒は、「買い食い」や「夜の街をぶらぶら」せず、「CDやMDなどの音楽」や

「ゲームソフト」にお金をかけている。「友だちが多い」「行動力がある」「スポーツが得意」な生徒は「デートのとき、ぜいたくをする」割合が最も高く、「ゲームソフト」にはお金をかけていない。当然と言えば、当然の結果である。

さて、落ち込んだときやイライラしたとき、買い物やウインドーショッピングで気分転換をはかるという話はよく聞くが、高校生たちはどうだろうか。表1 - 24から、日頃の気持ちや生活態度と消費行動の関連をみてみよう。表1 - 23と同様に、感情や生活態度の

表1 - 23 自己像(とても+わりとそう)×消費行動

	友だちとよく 買い食いを する	おしゃれに お金をかける	コンビニを ぶらぶらする	ウインドー ショッピング をする	CDやMDなど 音楽にお金を かける	デートのとき、 ぜいたくをする	夜の街を ぶらぶらする	ゲームソフトに お金をかける
校則は守っている (43.6)	26.7	34.0	40.3	36.8	44.9	37.6	29.9	57.8
友だちが多い (33.5)	30.6	43.1	35.6	39.9	35.7	51.0	44.5	24.0
行動力がある (31.7)	16.3	40.1	36.8	37.9	34.7	51.0	46.1	25.2
スポーツが得意だ (31.1)	36.8	36.2	32.2	32.2	31.1	46.6	38.7	22.9
努力型だ (29.5)	39.3	32.7	29.4	30.6	29.3	36.1	27.9	30.7
友だちから信頼されている (23.5)	14.0	28.1	23.3	27.8	24.7	28.7	25.9	21.2
先生から信頼されている (14.3)	35.6	14.7	14.5	14.2	13.6	16.9	13.4	15.6
おしゃれな方だ (13.0)	5.4	24.0	16.9	21.0	17.1	29.6	28.7	11.9
友だちやクラスをひっぱる 力がある (11.4)	14.9	15.4	13.3	13.5	12.6	19.1	16.8	9.6
異性から人気がある (4.3)	39.3	6.6	6.0	6.0	5.4	11.1	10.8	6.4

「とても」+「わりと」そうの割合  
○は30%以上

「とても+わりとある」と自己評価した数値と消費行動の「とても+わりとそう」する割合を示し、30%以上の数値に○印をつけてある。表によれば、「自分がひとりぼっちのようで不安になる」「今の生活がむなしく感じる」「何かを決めるとき、なかなか決められず困る」と自己評価している者は、「友だちとよく買い食いをする」から「夜の街をぶらぶらする」まで、多様で活発な消費行動をとっている。さらに「ゲームソフトにお金をかける」割合は、「今の生活がむなしく感じる」(42.6%)、「何かを決

めるとき、なかなか決められず困る」(51.9%)とほぼ半数の者が答えており、こうした気持ちをゲームにより紛らわせている様子が推測できる。

次に、生活態度をみると「制服をだらしなく着る」生徒に消費行動が活発化している様子がうかがえる。特に、「おしゃれにお金をかける」と肯定している者で「茶髪にしたりパーマをかける」割合は72.5%に達し、高校生のおしゃれが茶髪やパーマと関連性の高いことがわかる。逆に「お小遣いは計画的に使う」生徒は、「ウインドーショッ

表1 - 24 日頃の気持ちや生活態度(とても+わりとある)×消費行動

	(%)							
	友だちとよく 買い食いを する	おしゃれに お金をかける	コンビニを ぶらぶらする	ウインドー ショッピング をする	CDやMDなど 音楽にお金を かける	デートのとき、 せいたくをする	夜の街を ぶらぶらする	ゲームソフトに お金をかける
自分がひとりぼっちのよ うで不安になる (29.6)	30.7	32.2	34.4	33.0	30.9	39.2	34.9	29.2
自分の居場所がないよ うに感じる (24.6)	25.5	24.9	29.3	26.1	26.6	31.1	31.3	27.8
今の生活がむなしく感 じる (34.2)	35.0	34.4	39.0	34.7	37.9	44.1	49.3	42.6
何かを決めるとき、な かなか決められず困 る (52.5)	54.1	53.7	55.9	54.5	50.7	54.4	48.9	51.9
自分の感情をコントロ ールできない (19.8)	23.8	22.1	22.8	21.2	21.1	28.4	30.2	22.2
学校にいるとイライラ する (20.3)	21.3	19.9	25.0	21.0	23.3	26.9	30.9	26.9
お小遣いは計画的に使 う (31.3)	25.9	28.4	27.2	32.9	27.2	30.3	25.3	29.3
制服をだらしなく着 る (35.6)	43.2	50.9	41.5	47.1	37.4	48.1	49.8	20.8
茶髪にしたりパーマを かける (23.1)	29.8	72.5	28.0	30.1	24.6	35.3	42.8	13.0

「とても」+「わりと」その割合  
○は30%以上

ピングをする」割合が高いが、「デートのとき、ぜいたくをする」割合も高い。日頃お小遣いを計画的にやりくりして、ここぞと思うときに精一杯ぜいたくをしよう、そんな思いが強いのだろうか。

この章の最後に、高校生たちが物を欲しくなったとき、すなわち消費欲求をどのようにコントロールするのかをみてみた。表1 - 25は、表1 - 17から「すぐ買う」割合の高い、1) 食べ物・飲み物、2)

表1 - 25 消費欲求 × 日頃の気持ちや生活態度(とても + わりとある)

1) 食べ物・飲み物

(%)

	すぐ 買う	ちょっと がまんする	かなり がまんする	ほとんど 買わない
自分がひとりぼっちのようで不安になる	46.0	41.3	9.2	3.6
自分の居場所がないように感じる	44.9	39.2	11.2	4.7
今の生活がむなしく感じる	44.8	41.3	9.1	4.8
何かを決めるとき、なかなか決められず困る	43.1	41.8	11.1	4.0
自分の感情をコントロールできない	54.2	33.6	6.6	5.6
学校にいるとイライラする	45.7	38.2	10.4	5.7
お小遣いは計画的に使う	33.9	44.7	14.8	6.6
制服をだらしなく着る	49.3	41.4	6.8	2.5
茶髪にしたりパーマをかける	52.7	38.3	6.8	2.2

2) 雑誌

(%)

	すぐ 買う	ちょっと がまんする	かなり がまんする	ほとんど 買わない
自分がひとりぼっちのようで不安になる	37.9	36.8	9.7	15.6
自分の居場所がないように感じる	38.7	37.2	10.4	13.7
今の生活がむなしく感じる	38.9	35.0	8.9	17.1
何かを決めるとき、なかなか決められず困る	37.2	35.8	10.5	16.5
自分の感情をコントロールできない	44.6	29.6	10.9	14.9
学校にいるとイライラする	42.2	30.3	9.4	18.1
お小遣いは計画的に使う	31.4	38.5	9.2	20.9
制服をだらしなく着る	40.6	36.8	8.2	14.4
茶髪にしたりパーマをかける	44.7	35.5	7.4	12.4

雑誌、3)CD、4)新しい文房具の4つの商品をあげ、日頃の気持ちや生活態度と消費欲求の関連を示した。

1)食べ物・飲み物を「すぐ買う」のは、「自分の感情をコントロールできない」

(54.2%)「茶髪にしたりパーマをかける」(52.7%)「制服をだらしなく着る」(49.3%)生徒が半数を占める。また、「お小遣いを計画的に使う」生徒は、「すぐ買う」割合が33.9%と最も低い。しかし、食べ物や飲み物

### 3)CD

	(%)			
	すぐ買う	ちょっとがまんする	かなりがまんする	ほとんど買わない
自分がひとりぼっちのようで不安になる	21.5	36.3	16.3	25.9
自分の居場所がないように感じる	22.4	36.1	16.5	24.9
今の生活がむなしく感じる	24.9	34.0	14.3	26.8
何かを決めるとき、なかなか決められず困る	21.4	35.4	17.2	26.0
自分の感情をコントロールできない	24.1	34.7	15.2	26.1
学校にいるとイライラする	28.0	30.3	13.4	28.3
お小遣いは計画的に使う	17.6	35.4	16.9	30.1
制服をだらしなく着る	22.1	39.6	15.3	23.1
茶髪にしたりパーマをかける	22.7	37.9	13.9	25.5

### 4)新しい文房具

	(%)			
	すぐ買う	ちょっとがまんする	かなりがまんする	ほとんど買わない
自分がひとりぼっちのようで不安になる	16.9	29.0	16.6	37.5
自分の居場所がないように感じる	17.6	26.2	17.4	38.9
今の生活がむなしく感じる	15.7	23.3	18.9	42.1
何かを決めるとき、なかなか決められず困る	18.0	27.9	16.1	38.0
自分の感情をコントロールできない	21.0	26.3	13.7	39.0
学校にいるとイライラする	15.9	20.6	17.2	46.3
お小遣いは計画的に使う	13.8	29.9	16.6	39.7
制服をだらしなく着る	17.8	23.7	14.4	44.1
茶髪にしたりパーマをかける	18.6	21.8	12.9	46.7

は、ちょっとがまんするかどうかの問題で、ほとんどの生徒が買ってしまい、買わない生徒はわずかである。2) 雑誌も「自分の感情をコントロールできない」「茶髪にしたりパーマをかける」生徒に「すぐ買う」傾向がみられ、「お小遣いを計画的に使う」生徒は31.4%と低いが、食品と比べ「買わない」生徒が1~2割と増加する。3) CD、4) 新しい文房具では、趣味的な要素が強いためか、生活態度や日頃の感情で大きな差はみられない。「学校にいるとイライラする」「自分の感情をコントロールで

きない」生徒に「すぐ買う」割合が若干高い程度であり、ここでも当然だが「お小遣いを計画的に使う」生徒は「すぐ買う」割合が低い。

高校生の消費行動は、特に女子が活発で、商品情報の収集も知識も豊富である。女子は様々な情報から商品をチェックし、価格も考慮しながら自分の好みの品を選択する。安定した消費行動であるが、消費欲求も強い。そして、消費欲求や消費行動は自己像やふだんのライフスタイル、感情やそのときの気分に大きな影響を受けている。

## 第2章 ||||

# お小遣いとその使い方

現在の高校生は1982年から84年生まれが中心である。86年以降のバブル経済の中で学齢を迎えている。高校生と話をしていると小学生の頃、海外旅行に行ったとか学校を休んで家族とスキーに出かけたといった景気のよい昔話をしばしば聞かされる。しかし、近年の長引く不況、自粛の時代の影響か、高校生の今は「堅実」な生活が多いようである。

教室において机の上に並べられる各人のペンケースを見ても、ひと頃は何か新しいデザインのしゃれたペンケースを誰かが持ってくると、翌週あたりには同じようなものをいくつか見かけるようなことがあった。しかし近頃は、それぞれひとつとして同じようなものはないと言えるほど多様なものであっても、中学生か、ことによると小学生あたりから使い込んだものを大切に使用している生徒が多くなった。バッグや靴なども流行の真新しいものを持っている生徒は激減し、ずっと落ち着いた印象を受ける。

バレンタインデーに教室に出回るチョコやお菓子も市販のものから手作りのものが主流になってきたようだ。また3年生の大学受験でも、1人で6、7校以上受ける姿が減り、多くて5校前後、それもあまり高望みせず、

ほどほどのところを心得ていて、受かったところにさっさと決めてしまう傾向が強くなった。この現実路線も「堅実」の1つといえなくもない。

持ち物やお金の使い方、「堅実」化したように見える現象をどのように考えるか、消費の成熟とか収入の落ち込みに応じた厳しい消費とかいわれるが、さらに強力な原因は、携帯電話の普及があるように思われる。

先日、ある高校の演劇鑑賞教室を会場の最後列から見学する機会があった。会場の明かりが落とされ、これから開幕という直前、静寂の暗闇に無数の携帯電話の液晶画面の明かりが広がった。改めて携帯電話の所持率のすごさを実感した。今の高校生にとって携帯電話の月々の代金をいかに支払うかは極めて大きな問題である。電話代の全額を親が支払う、一定額以上は本人が支払う、全額本人が支払う、そのためにアルバイトをする、など支払いの方法はいろいろあるようだが、いずれにしても「携帯電話を持つ」ことのために他の消費がかなり節約されていると考えられる。

このようなことを念頭に以下、1) お小遣い、2) お小遣いの使い方、の2項目で現在の高校生の金銭感覚を検討してみたい。

# 1 お小遣い

表2 - 1は高校生が現在もらっている1か月のお小遣いをまとめたものである。

男子は女子よりも多めであるが、「2000～5000円」では女子が47.2%と男子より数値が高い。また「もらっていない」が17.4%いる。学年別では、1年生は「2000～5000円」が58.1%であるが、「6000円以上」では学年進行に応じて多くなる。

表2 - 2は小学校4年生以降どのように1か月のお小遣いをもらってきたかをまとめた

ものである。小学校6年生までは「1000円以下」が半数を占め、中学生になると「2000～3000円」が主流となり、高校生になって「4000～5000円」が36.3%と主流になる。なお、「もらっていない」は小学生では約3割前後いたが、中学生・高校生では10%台となる。

表2 - 3は現在もらっているお小遣いの額と「お小遣いは計画的に使う」(Q26 - 7)をクロスさせてまとめたものである。

表2 - 1 1か月のお小遣い × 性・学年

	(%)					
	1000円以下	2000～5000円	6000～8000円	1万円	2万円以上	もらっていない
全体	1.6	46.6	17.3	17.6	1.9	15.0
男子	2.2	45.7	18.3	20.1	2.2	11.5
女子	1.2	47.2	16.5	15.8	1.9	17.4
1年	1.7	58.1	12.8	12.6	0.4	14.3
2年	1.6	43.6	18.9	18.5	2.6	14.7
3年	1.5	37.7	20.2	21.7	3.0	15.9

表2 - 2 1か月に小遣いをどれくらいもらっていた(いる)か

	(%)				
	1000円以下	2000～3000円	4000～5000円	6000円以上	もらっていない
小4	52.3	9.1	0.8	0.7	37.2
小6	50.4	18.9	2.4	0.9	27.7
中1	26.8	43.2	10.7	2.0	17.5
中3	8.1	47.6	22.4	6.3	15.8
現在	1.6	10.3	36.3	36.8	15.0

計画的に使うことが「わりとある」では「2000～5000円」の金額帯が54.9%である。高校生にとって「2000～5000円」の小遣いは使い方をあれこれ考える金額帯といえるが、それを超えると「あまりない」「ぜんぜんない」層が多めとなる。

「あまりない」「ぜんぜんない」層が多めとなる。

表2 - 4は現在アルバイトをしているかをまとめたものである。現在学校のあるときには、アルバイトはあまりやっていない。表2 - 5は部活動別にアルバイトをしている割合と

表2 - 3 1か月の小遣い × 「お小遣いは計画的に使う」

		(%)					
		1000円以下	2000～5000円	6000～8000円	1万円	2万円以上	もっていない
計画的に使う	とてもある	3.5	46.7	14.7	14.2	2.2	18.7
	わりとある	1.3	54.9	14.9	13.7	1.5	13.7
	ときどきある	1.1	48.9	17.3	17.0	1.1	14.6
	あまりない	1.6	44.5	20.8	18.1	2.0	13.0
	ぜんぜんない	1.2	39.2	15.4	24.1	2.9	17.2

表2 - 4 現在アルバイトをしている × 性・学年

全 体	性 別		学 年 別		
	男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
	6.8	6.6	7.0	5.3	7.0

表2 - 5 アルバイトと1か月の収入 × 部活動

	アルバイトをしている	1か月のアルバイト代				
		1000～5000円	6000～20000円	21000～30000円	31000～50000円	51000円以上
運動部熱心	4.1	13.6	18.2	50.0	9.1	9.1
運動部不熱心	6.4	14.3	0.0	42.9	42.9	0.0
文化部熱心	4.5	27.3	9.1	36.4	9.1	18.2
文化部不熱心	10.0	13.6	9.1	40.9	18.2	18.2
以前入っていた	7.2	8.1	18.9	18.9	40.5	13.5
入ったことがない	13.1	15.0	5.0	20.0	55.0	5.0
その他	10.9	20.0	0.0	0.0	40.0	40.0

アルバイト代をまとめたものである。部活動別にアルバイトをやっているかをみると「入ったことがない」が13.1%と最も高い。1か月のアルバイト代でみると、「1000～5000円」が「文化部に入って熱心に活動している」で27.3%である。これはちょっとしたお小遣いの足し、想像をたくましくすれば1か月の携帯電話代稼ぎ程度のものである。部活動に参加している者にほぼ共通しているのは「21000～30000円」、「以前は入っていたが、今は活動していない」、「入ったことがない」

では「31000～50000円」の収入が多い。

これまでのアルバイト経験は全体で31.0%、学年進行で増え、3年生では46.3%と約半数が経験している。部活動別では「運動部に入って熱心に活動している」が最も低く22.9%、最も高いのは「文化部に入っているが、あまり熱心に活動していない」38.6%である（表2-6）。

表2-7によれば、これまでのアルバイト経験で稼いだ金額は「1万～5万円」が42.5%、「6万～10万円」を合わせると

表2-6 これまでのアルバイト経験 × 部活動

(%)

運動部熱心	運動部不熱心	文化部熱心	文化部不熱心	以前入っていた	入ったことがない	その他
22.9	27.5	27.5	38.6	36.1	33.1	38.2

表2-7 これまでのアルバイト経験で稼いだ金額 × 性・学年

(%)

	1万～5万円	6万～10万円	11万～20万円	21万～50万円	51万円以上
全体	42.5	21.8	13.7	14.2	7.8
男子	40.0	23.6	15.0	13.2	8.2
女子	44.0	20.7	12.9	14.8	7.6
1年	58.4	28.7	8.9	4.0	0.0
2年	47.6	20.9	16.5	10.2	4.9
3年	32.6	20.0	13.3	21.1	13.0

64.3%となり、アルバイト経験の多くが、ちょっとやってみた程度である。「10万円以下」が1年生では87.1%に対し、2年生68.5%、3年生52.6%である。

貯金を持っているかについての単純集計によると、全体で71.8%が貯金を持っている。女子は男子より持っており、学年別では1年生が最も持っている。「お小遣いは計画的に使う」とのクロス結果でみると(表2-8)「とても」「わりと」ある層はともに約8割が貯金を持っているが「あまりない」「ぜんぜんない」層は6~7割である。「とても計画的に使う」は「11万円以上」が51.5%である。

表2-9で貯金の額をみると、全体の30.6%が「1万~5万円」の貯金を持っている。「6万~10万円」では男子の方が高いが、「11万~20万円」では女子の方が7%ほど高くなる。学年別では「1万~5万円」の金額では2年生が最も高い。「21万円以上」でみると3年生の比率が低くなり、2節の「お小遣いの使い方」と合わせてみると、3年生は自分に関することに使っている結果といえる。

表2-9で貯金の額をみると、全体の30.6%が「1万~5万円」の貯金を持っている。「6万~10万円」では男子の方が高いが、「11万~20万円」では女子の方が7%ほど高くなる。学年別では「1万~5万円」の金額では2年生が最も高い。「21万円以上」でみると3年生の比率が低くなり、2節の「お小遣いの使い方」と合わせてみると、3年生は自分に関することに使っている結果といえる。

表2-8 貯金と貯金額 × 「お小遣いは計画的に使う」

		(%)				
		貯金「ある」	1万~5万円	6万~10万円	11万~20万円	21万円以上
計画的に お小遣いは 使はう	とてもある	78.1	27.5	21.0	30.4	21.1
	わりとある	80.0	29.3	23.1	23.6	24.0
	ときどきある	74.7	30.4	27.8	20.7	21.1
	あまりない	69.6	31.0	24.1	24.7	20.3
	ぜんぜんない	61.5	34.5	21.4	19.0	25.1
全 体		71.8	30.6	23.8	23.6	21.9

表2-9 貯金額 × 性・学年

		(%)				
		1万~5万円	6万~10万円	11万~20万円	21万~50万円	51万円以上
全 体		30.6	23.8	23.6	16.4	5.5
男 子		31.2	26.9	19.6	15.5	6.8
女 子		30.1	21.6	26.5	17.1	4.6
1 年		28.7	21.7	26.4	16.7	6.5
2 年		33.1	24.5	18.6	17.9	5.9
3 年		29.7	25.4	26.2	14.4	4.3

## 2 お小遣いの使い方

「お小遣い」といっても、月々に決められた金額を指すのか、毎日必要に応じてもらうものも含めるのか、各人で意識が異なる。ここでは「毎月決められたお小遣い」と「そのつど親からもらうお金」「自分の預金やアルバイト代など」に分けて、どのようなときにどんな

使い方をするか調べてみた。

表2 - 10でみるように、「毎月決められたお小遣いから出すもの」上位5項目は「本や雑誌」72.2%、「CD・MD」63.4%、「友人との外食・軽食代」59.0%、「映画やライブのチケット代」52.3%、「休日に遊びに行く電車やバ

表2 - 10 毎月決められたお小遣いから出すもの × 性・学年

	(%)					
	全 体	性 別		学 年 別		
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
本や雑誌	72.2	76.3	69.4	75.1	71.8	69.7
CD・MD	63.4	70.2	58.7	65.3	64.5	60.2
友人との外食・軽食代	59.0	62.1	56.9	58.9	59.8	58.3
映画やライブのチケット代	52.3	55.3	50.2	54.5	52.7	49.6
休日に遊びに行く電車やバス代	50.8	55.5	47.6	52.2	52.2	47.9
文房具	41.6	33.7	47.1	39.4	42.8	42.8
スニーカーなどの靴	21.9	29.9	16.4	18.7	21.8	25.4
シャツやパンツなどの衣類	20.2	22.4	18.7	19.5	20.1	21.1
昼食	13.9	13.7	14.1	14.7	14.1	13.0
美容・理容代	9.0	5.4	11.5	6.7	9.1	11.3
参考書や問題集	8.1	8.4	7.8	5.0	8.5	10.7
部活動関連の費用	4.1	5.3	3.2	2.4	5.6	4.2
通学定期	1.7	2.3	1.3	1.0	1.9	2.2
学校の教材費	1.0	1.7	0.6	0.6	0.7	1.9
塾・予備校の月謝	0.7	1.1	0.3	0.1	0.7	1.1

ス代」50.8%である。この5項目では、女子より男子、総じて学年が若い方が、より率が高い。単純集計でみると、「そのつど親からもらうお金」は「学校の教材」96.1%、「美容・理容代」78.3%、「昼食」75.0%、「参考書や問題集」72.8%、「部活動関連の費用」70.0%である。特に「部活動関連の費用」は、「使わない」の24.3%を除いて考えてみると、ほとんどの生徒が親からそのつど出してもらっていることがわかる。こうしてみると、多くの高校生にとって「毎月決められたお小遣い」

は自分のプライベートな趣味・興味・友人関係に使うものとなっており、部活動関連も含め、多少でも学校にかかわることや金額のまとまったことは、そのつど親からもらうものとなっている。

表2 - 11は自分の預金の使い方や数字の多い6項目をまとめたものである。各項目ともに女子が男子よりも数字が大きい。また学年進行で数字が大きくなる。しかし全体からみればその多くが20%にもならず、これらの項目も、そのつど親からもらう率の方が高い。

表2 - 11 自分の預金やアルバイト代などを使うもの × 性・学年

(%)

	映画やライブのチケット代	スニーカーなどの靴	CD・MD	友人との外食・軽食代	休日に遊びに行く電車やバス代	本や雑誌
全 体	18.4	14.5	13.5	13.5	12.1	11.0
男 子	14.4	14.3	11.4	11.9	10.2	9.1
女 子	21.2	14.7	15.0	14.6	13.4	12.3
1 年	15.6	10.3	12.4	10.7	9.1	9.8
2 年	17.6	14.0	12.0	13.4	12.6	10.7
3 年	22.3	19.6	16.4	16.6	14.7	12.6

表2 - 12は、「ちょうどよい値段」と考えるものをまとめたものである。昼食関連の売店のパン代・コンビニの弁当では85%以上が「500円以下」である。コンパ・デート代では、「2000～3000円」が中心である。携帯電話に関しては「4000～5000円」が中心となる。

表2 - 13は、親に相談しなくて買うことの

できる金額を性別・学年別にまとめたものである。女子は「1万円くらい」までは男子より多いが、「2万円くらい」や「特にない」では男子が多い。学年別では1年生が「1万円くらい」までがおよそ70%に達するのに対し、3年生では「1万円くらい」までは57.3%にすぎない。

表2 - 12 ちょうどよい値段（中心的金額帯）

	(%)					
	300円 くらい	500円 くらい	1000円 くらい	2000～3000円 くらい	4000～5000円 くらい	1万円 くらい
学校の売店のパン代	74.8	21.3				
コンビニの弁当	25.9	61.9				
被災地への募金	45.3	29.3	15.4			
クラス遠足	12.4	22.1	24.3	22.5		
体育祭のクラスのTシャツ	12.9	17.0	31.8	27.4		
親へのプレゼント			26.5	43.8	12.1	3.9
好きな人へのプレゼント			18.9	39.8	20.8	12.5
コンパ			23.0	50.5	10.5	3.7
デートにかかる費用			13.7	52.1	22.6	5.6
映画やライブのチケット			20.7	32.4	36.9	2.9
1か月の携帯電話代				26.4	49.4	13.5

表2 - 13 親に相談しなくて買うことのできる金額 × 性・学年

	(%)					
	全 体	性 別		学 年 別		
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
1000円くらい	4.4	2.6	5.6	5.4	4.4	3.3
3000円くらい	11.5	6.9	14.8	17.0	8.9	8.7
5000円くらい	21.0	15.0	25.2	22.5	22.2	18.3
1万円くらい	26.7	26.3	27.0	25.2	27.8	27.0
2万円くらい	11.1	12.8	9.9	9.2	12.1	12.0
特にない	16.6	22.4	12.6	14.0	15.9	20.1

## 第3章 IIIII

# 買い物意識と 生活行動の要因

本章では、高校生の買い物意識とふだんの生活行動との関係を調査することを目的としている。当然、現代社会がかかえている課題（環境問題や資源・エネルギー問題など）に、高校生も無縁ではいられない。したがって、買い物意識や生活行動を規定する要因には、

省エネやリサイクル活動に対する関心度も反映しているだろうと予測できる。

つまり、物の買い方や消費行動の分析を通して、高校生がどのような消費者意識を持っているかを探れるのではないだろうか。

### 1 買い物意識

図3 - 1は、「買い物に関して、次のようなことがあなたにあてはまりますか」と問うた結果である。「自分で買ったものはできるだけ長く使うようにする」生徒は、約8割（78.8%、「とても」+「わりと」あてはまる合計、以下同じ）に達する。「新しいものが出たり、バージョンが更新されたりするとすぐ買い換える」生徒は約2割（22.6%）で、「友だちが持っているものは手に入れたい」と思う生徒が約1割（13.6%）にすぎないことを考えると、現代の高校生は思いの外、物持ちがよいといえる。一方で、「欲しいと思ったものをすぐ買う」生徒（51.8%）や「流行のものは必ずチェックする」生徒（51.3%）

が約半数いるということは、買い物に際しては好みを重視し、流行を意識して買う者が多いことを示しているともいえよう。ただし、流行はチェックするが、だからといってすぐに買い換えるという衝動買い的な買い方はしないといえる。

また、近年は食品について安全面や健康面が注目されているが、生徒たちのこの点についての意識はどうだろうか。「賞味期限を気にする」生徒が多数いる（74.7%）ことはわかる。しかし、「健康食品や栄養補助食品を利用する」生徒（33.9%）や「食品添加物や農薬には注意する」生徒（31.5%）はそれぞれ約3割で、「インスタント食品は食べないよ

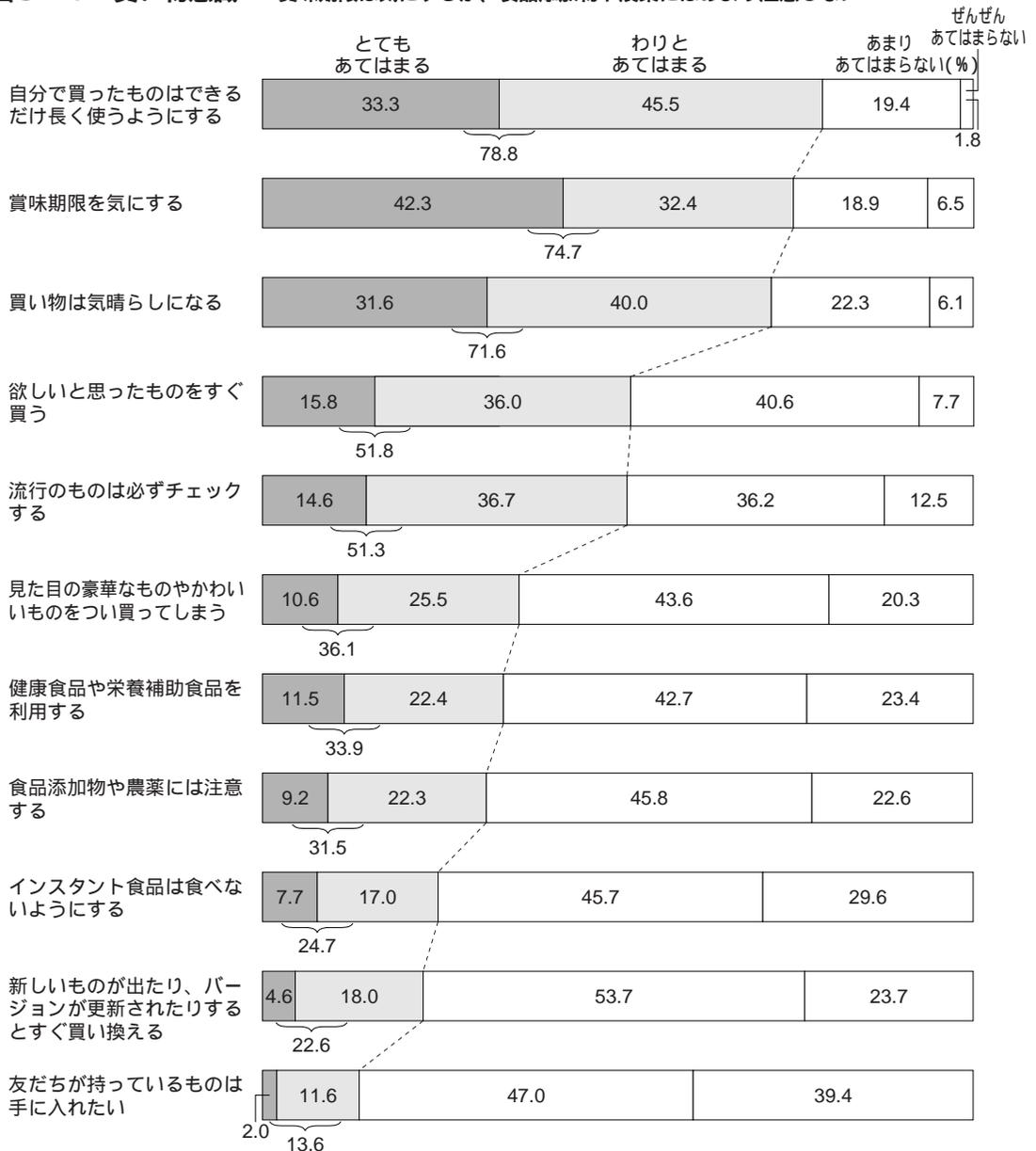
うにする」生徒は4分の1（24.7%）にすぎない。つまり、さすがに自分たちが食べている物の賞味期限は気をつけるが、マスコミなどでもかなり取り上げられて健康面での害が喚起されているが、食品添加物や農薬についてはあまり注意していない様子と、手軽なインスタント食品を手放せない姿が読み取れ

る。

さらに、「買い物は気晴らしになる」という生徒が7割以上（71.6%）もあり、買い物という行為は実利・実用面だけでなく、メンタルな面にも影響を与えていることがわかる。

図3 - 2は、性別で比較したものである。

図3 - 1 買い物意識 賞味期限は気にするが、食品添加物や農薬にはあまり注意しない

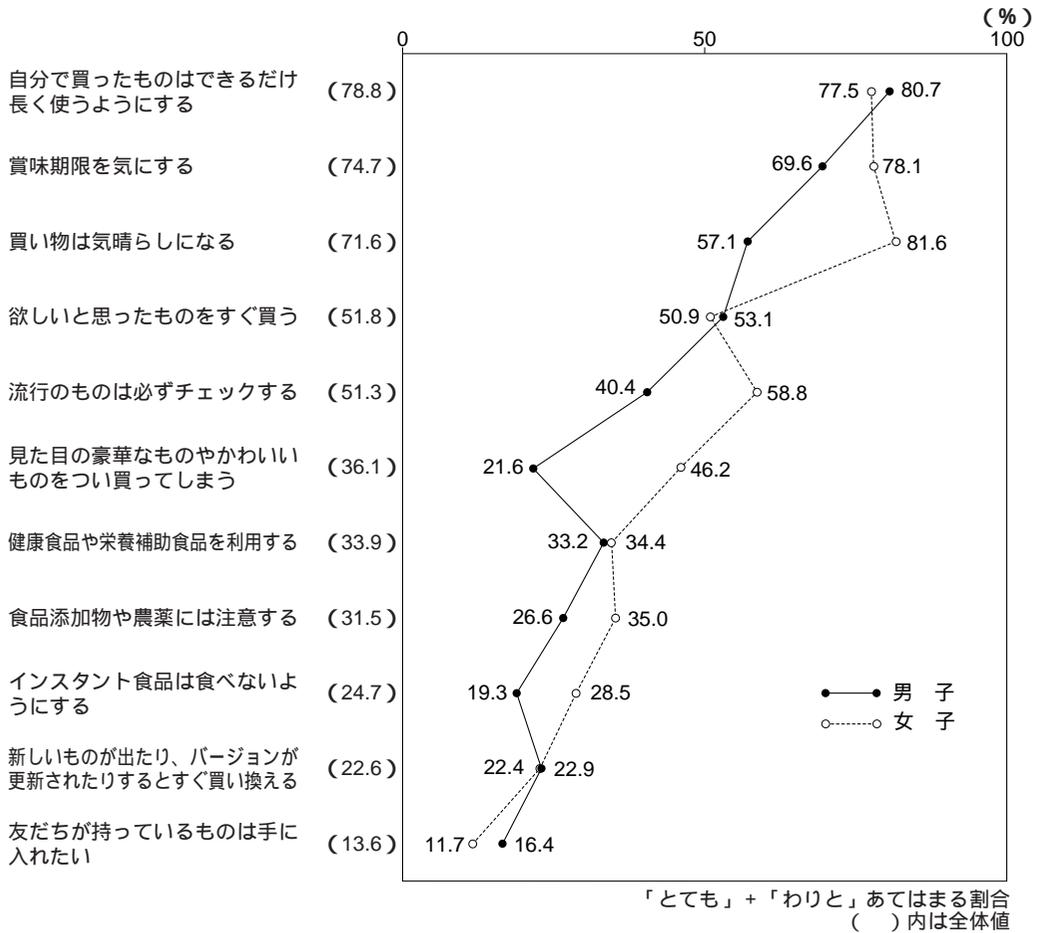


女子にとっては、買い物という行為は実利的な面もさることながら、まず気晴らしになるという（男子57.1% 女子81.6%、差24.5%）メンタルな面が最も重視されていることがわかる。そして、買い物の際に流行（男子40.4% 女子58.8%、差18.4%）や、見た目の豪華さやかわいさ（男子21.6% 女子

46.2%、差24.6%）を男子より明確に意識しているといえよう。

もちろん、食品についても賞味期限（男子69.6% < 女子78.1%）や、食品添加物や農薬（男子26.6% < 女子35.0%）などに注意をはらい、インスタント食品の摂取にも気をつけている（男子19.3% < 女子28.5%）のは、男子

図3 - 2 買い物意識 × 性



よりも女子に多いことが読み取れる。

表3 - 1は、学年別でクロスした結果である。多くの生徒の買い物意識に共通する「自分で買ったものはできるだけ長く使うようにする」とか、「賞味期限を気にする」や「買い物は気晴らしになる」という項目では、学年差はあまり認められない。しかし、「欲しいと思ったものをすぐ買う」「流行のものは必ずチェックする」「見た目の豪華なものやかわいいものをつい買ってしまう」「新しいものが出たり、バージョンが更新されたりするとすぐ買い換える」といった流行や見た目や好みを重視する意識は、学年が進行するにしたがって低下してくることがわかる。一方で、「食品添加物や農薬には注意する」や「インスタント食品は食べないようにする」といった健康への配慮意識は、学年進行にしたがって高まっていることが読み取れる。これらの数値の変化には、青年期の成長も背景にあるが、家庭科や社会科などの学習成果も反映しているといえよう。

なお、学年進行の変化には性別のかたよりなどが数値に影響を与えることもある。今回のデータでも、その点を検証しておく必要がある。右の数値からは、性別では男子が約4割、女子が約6割を占め、学年別でもほぼ同じ割合であることがわかる。学年別では、ほぼ3分の1ずつを占め、男女別もそれぞれほぼ同じ割合である。つまり、ここからは性差

が学年差に反映する数値ではないことが読み取れよう。

<性別>

	男子	女子
全体	40.9%	59.1%
1年	41.2%	58.8%
2年	41.1%	58.9%
3年	40.4%	59.6%

<学年別>

	1年	2年	3年
全体	33.5%	34.4%	32.1%
男子	33.8%	34.4%	31.7%
女子	33.3%	34.3%	32.4%

次に、部活動歴や卒業後の進路希望との関係を表3 - 2からみておこう。

部活動歴に注目すると、「文化部に入って熱心に活動している」生徒は、食品の安全面や健康への配慮に十分関心を示していることがわかる。「運動部に入って熱心に活動している」生徒もほぼ同様の傾向を示している。これに対して、「入ったことがない」生徒は衝動買いの意識が強く、食品の安全面や健康への配慮にはあまり関心を示していない。

卒業後の進路希望別では、就職（含家業・家の手伝い）希望者が進学希望者と比較すると食品の安全面や健康への配慮にあまり関心を示さない点が気になった。また、短大希望者の動向は、女子が圧倒的に多いので女子の意識とほぼ同じ傾向を示しているといえよう。

表3 - 1 買い物意識 × 学年

(%)

	全 体	学 年 別		
		1 年	2 年	3 年
自分で買ったものはできるだけ長く使うようにする	78.8	78.7	78.6	79.2
賞味期限を気にする	74.7	75.7	73.0	75.3
買い物は気晴らしになる	71.6	72.6	70.4	71.7
欲しいと思ったものをすぐ買う	51.8	54.9	> 50.7	> 49.7
流行のものは必ずチェックする	51.3	54.3	> 51.8	> 47.7
見た目の豪華なものやかわいいものをつい買ってしまふ	36.1	39.6	> 35.3	> 33.1
健康食品や栄養補助食品を利用する	33.9	33.9	33.5	34.1
食品添加物や農薬には注意する	31.5	28.6	< 32.7	< 33.6
インスタント食品は食べないようにする	24.7	22.7	< 23.9	< 27.6
新しいものが出たり、バージョンが更新されたりするとすぐ買い換える	22.6	25.9	> 22.0	> 19.7
友だちが持っているものは手に入れたい	13.6	13.7	14.5	12.5

「とても」+「わりと」あてはまる割合

表3 - 2 買い物意識 × 部活動・進路希望

(%)

	全 体	部 活 動						進 路 希 望					
		運動部 熱心	運動部 不熱心	文化部 熱心	文化部 不熱心	以前 入っていた	入ったことが ない	就職 (含家業・家の手伝い)	専門・専修学校	短大	ふつうの 4年制大学	難しい 4年制大学	まだ決めて いない
①自分で買ったものができるだけ長く使うようにする	78.8	80.2	69.5	86.8	75.8	79.1	71.7	77.6	79.3	71.9	80.2	78.3	78.8
②賞味期限を気にする	74.7	75.8	74.5	75.8	72.2	73.9	72.3	66.4	75.8	85.4	75.4	75.9	68.6
③買い物は気晴らしになる	71.6	71.2	69.7	74.0	72.7	71.3	66.4	72.8	80.0	81.3	69.5	68.2	70.6
④欲しいと思ったものをすぐ買う	51.8	49.6	48.9	51.2	54.1	53.2	57.3	55.2	57.5	53.7	50.0	47.3	53.2
⑤流行のものは必ずチェックする	51.3	54.4	54.9	42.3	48.6	52.0	48.0	51.2	63.5	53.2	47.4	50.8	57.0
⑥見た目の豪華なものやかわいいものをつい買ってしまう	36.1	32.1	31.6	33.9	44.5	36.5	42.8	41.6	46.4	47.9	29.4	40.5	38.5
⑦健康食品や栄養補助食品を利用する	33.9	38.6	32.4	32.1	31.0	32.4	25.4	28.8	35.6	38.6	32.5	35.5	30.8
⑧食品添加物や農薬には注意する	31.5	30.7	33.1	35.5	33.8	31.4	27.7	20.0	27.1	33.4	32.8	35.9	30.0
⑨インスタント食品は食べないようにする	24.7	25.6	26.8	23.2	23.8	25.5	21.0	22.4	29.4	21.9	23.1	24.9	24.5
⑩新しいものが出たり、バージョンが更新されたりするとすぐ買い換える	22.6	22.2	26.0	14.3	20.0	23.0	33.0	29.6	28.1	21.9	20.3	20.4	26.3
⑪友だちが持っているものは手に入れたい	13.6	15.7	17.6	17.1	10.9	13.5	12.7	23.2	14.5	14.6	11.4	13.5	16.0

「とても」+「わりと」あてはまる割合  
 ○ は各属性中の最大値    — は各属性中の最小値

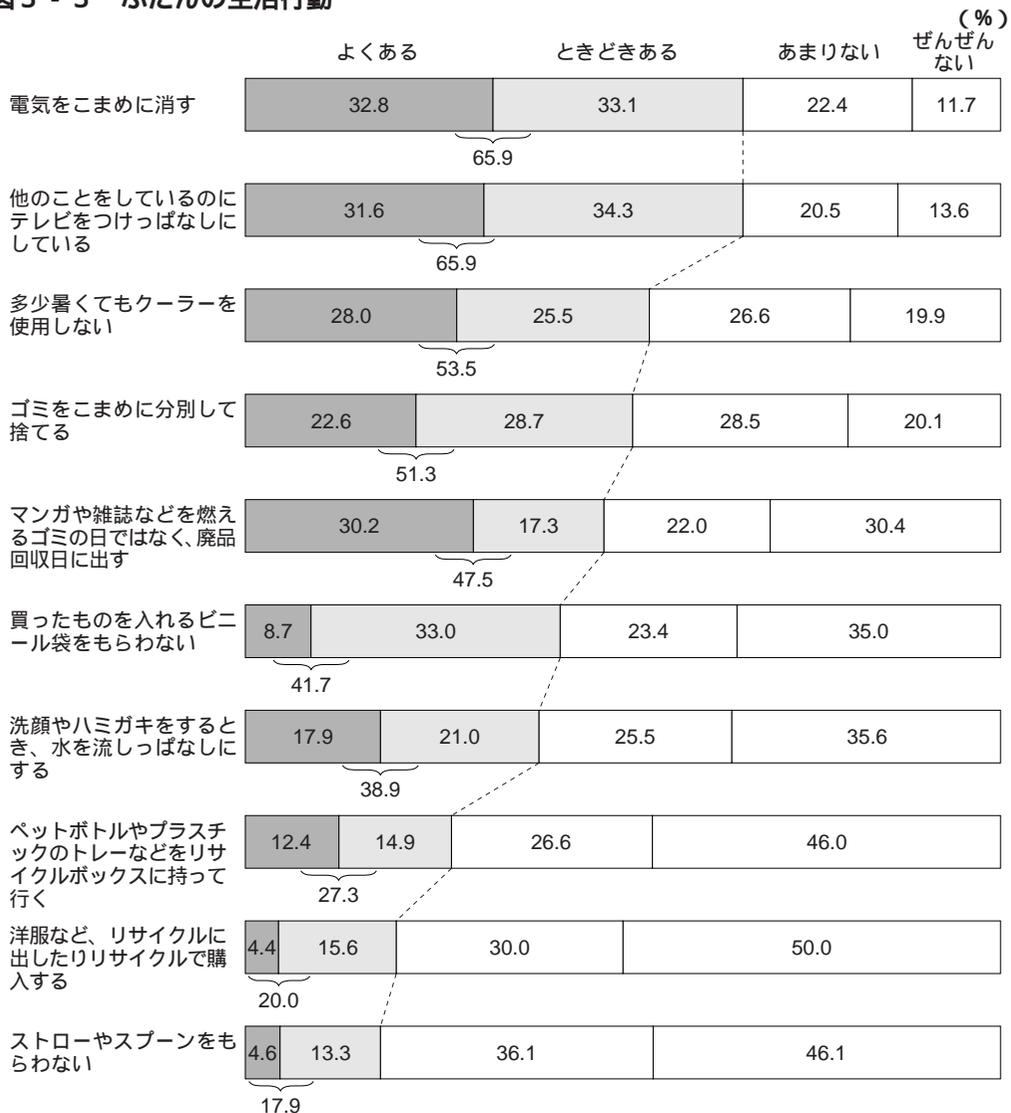
## 2 ふだんの生活行動

省エネやリサイクル活動への関心が高まっている現代、高校生たちはふだんの生活行動の中で、それらをどの程度実践しているのだろうか。

図3 - 3は、「ふだんの生活の中で、あなたは次のようなことをすることがありますか」と問うた結果である。ふだん「電気をこ

まめに消す」生徒は7割近くいる（65.9%、「よく」+「ときどき」あるの合計、以下同じ）し、「多少暑くてもクーラーを使用しない」生徒（53.5%）や「ゴミをこまめに分別して捨てる」生徒（51.3%）も5割以上いる。身近なところで省エネや環境問題に配慮した行動をしている様子を読み取れる。ただし、

図3 - 3 ふだんの生活行動



「他のことをしているのにテレビをつけっぱなしにしている」生徒が7割近く(65.9%)もいる。省エネを意識しつつも「ながら族」の傾向は簡単には是正できないのも事実といえよう。

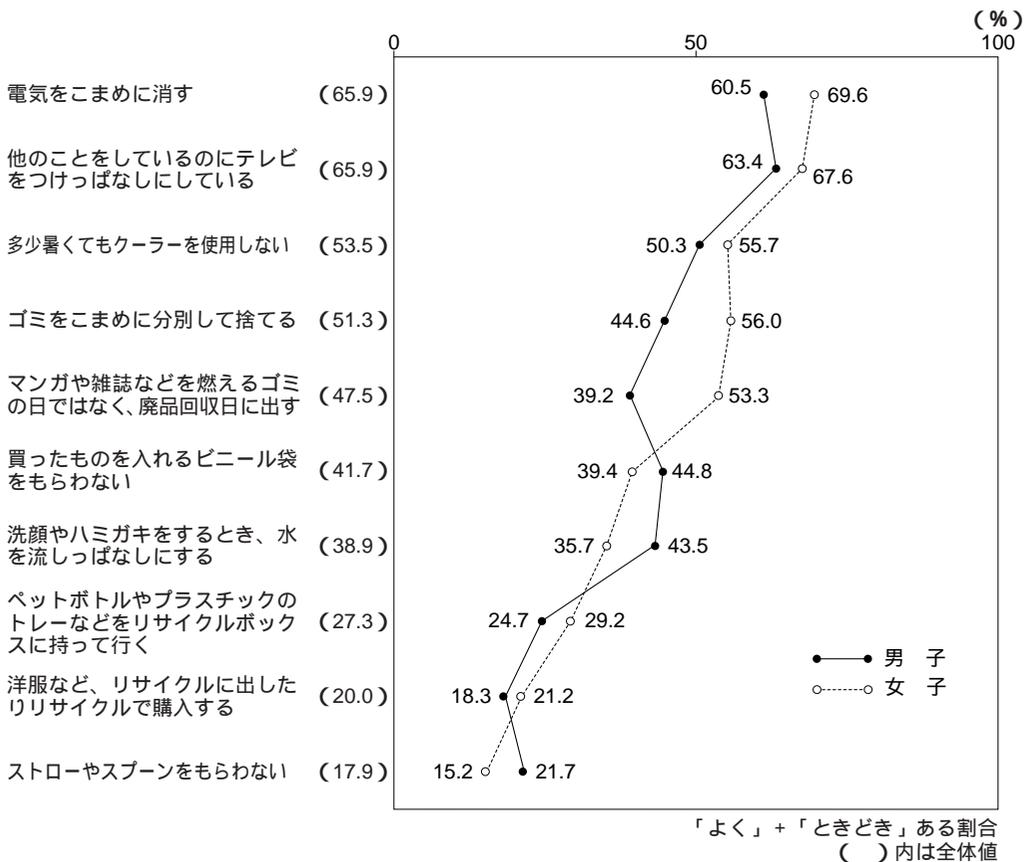
リサイクル活動については、「マンガや雑誌などを燃えるゴミの日ではなく、廃品回収日に出す」生徒は5割近く(47.5%)いるが、「ペットボトルやプラスチックのトレーなどをリサイクルボックスに持って行く」生徒(27.3%)や、「洋服など、リサイクルに出したりリサイクルで購入する」生徒(20.0%)は必ずしも多くはない。特に、前節の買い物意識のところでも述べたように、流行品をかなり強く意識している生徒たちにとっては、リ

サイクル品には抵抗感を持っているのであろう。

また、省資源や節約の面に注目すると、「買ったものを入れるビニール袋をもらわない」生徒は4割(41.7%)で、「ストローやスプーンをもらわない」生徒は2割に満たない(17.9%)が、「洗顔やハミガキをするとき、水を流しっぱなしにする」生徒は4割に達していない(38.9%)。つまり、水を流しっぱなしにしない生徒が6割(61.1%)はいるといふことである。なんでも省資源や節約を実践しているというわけではないが、身近で日常できることには取り組んでいる様子が読み取れる。

図3-4は、性別とのクロス結果である。

図3-4 ふだんの生活行動 × 性



ゴミの分別（男子44.6% 女子56.0%）とマンガや雑誌を廃品回収に出す（男子39.2% 女子53.3%）の2つの生活行動は、女子の方が圧倒的に男子よりも実践していることがわかる。その他でも「電気をこまめに消す」（男女差9.1%）や「多少暑くてもクーラーを使用しない」（男女差5.4%）や「洗顔やハミガキをするとき、水を流しっぱなしにする」（男女差7.8%）など、女子の方が省エネや省資源などの生活行動を実践し、地球環境に配慮していることが読み取れる。

表3-3は、学年別で比較したものである。「電気をこまめに消す」や「多少暑くてもクーラーを使用しない」などの項目では、学年進行にしたがって数値が高くなっている。特

に、「買ったものを入れるビニール袋をもらわない」1年36.5% < 2年40.0% < 3年48.8%と1年生と3年生との差は実に12.3%に達している。逆に、「他のことをしているのにテレビをつけっぱなしにしている」生徒や「洗顔やハミガキをするとき、水を流しっぱなしにする」生徒は、学年進行にしたがって数値が低下している。

これらのことから、生徒たちは学年進行にしたがって省エネや省資源・リサイクル活動に関心を示し、地球環境に配慮した生活行動をとるようになることがわかる。生徒たちの生活行動を変えさせた要因の1つには、現代社会や家庭科、生物、化学などの学校で日常学んでいる教科学習の成果もあるといえよう。

表3-3 ふだんの生活行動 × 学年

(%)

	全 体	学 年 別		
		1 年	2 年	3 年
電気をこまめに消す	65.9	62.6 <	65.6 <	69.6
他のことをしているのにテレビをつけっぱなしにしている	65.9	69.9 >	66.0 >	61.5
多少暑くてもクーラーを使用しない	53.5	51.8 <	52.8 <	55.9
ゴミをこまめに分別して捨てる	51.3	46.6 <	52.1 <	55.6
マンガや雑誌などを燃えるゴミの日ではなく、廃品回収日に出す	47.5	46.4 =	46.4 <	50.0
買ったものを入れるビニール袋をもらわない	41.7	36.5 <	40.0 <	48.8
洗顔やハミガキをするとき、水を流しっぱなしにする	38.9	39.8 >	39.5 >	37.4
ペットボトルやプラスチックのトレーなどをリサイクルボックスに持って行く	27.3	29.2	26.1	26.8
洋服など、リサイクルに出したりリサイクルで購入する	20.0	18.0 <	19.4 <	22.8
ストローやスプーンをもらわない	17.9	14.5 <	17.6 <	21.7

「よく」+「ときどき」ある割合

次に、部活動歴や卒業後の進路希望とのクロス結果を表3 - 4からみておこう。

部活動歴では、「文化部に入って熱心に活動している」生徒が最も省エネや省資源・リサイクル活動に積極的に取り組んでいることが読み取れる。一方で、高校で部活動に「入ったことがない」生徒は、省エネや省資源・リサイクル活動に関心を示して取り組む行動をあまりしていないことがわかる。高校での部活動歴のない生徒の中に、社会への関心度や意識が低い生徒が多くいるというのは、現場の教師の実感である。この数値はそれを裏づけるデータともいえる。

卒業後の進路希望に注目すると、「短大」希望者と「難しい4年制大学」希望者が最も省エネや省資源・リサイクル活動に意識的に取り組んで行動していることがわかる。一方で、「まだ決めていない」生徒の生活行動からは、省エネや省資源・リサイクル活動にあまり関心を示していないことが読み取れる。明確な進路目標をまだ持てない生徒たちにとっては、ふだんの生活行動でも広い意味での社会への関心度が低下してしまうといえよう。この数値も現場の教師の実感と一致している。

表3 - 4 ふだんの生活行動 × 部活動・進路希望

(%)

	全 体	部 活 動						進 路 希 望					
		運動部 熱心	運動部 不熱心	文化部 熱心	文化部 不熱心	以前 入っていた	入ったことが ない	就職 (含家業・家の手伝い)	専門・専修学校	短大	ふつうの 4年制大学	難しい 4年制大学	まだ決めて いない
電気をこまめに消す	65.9	<u>61.1</u>	61.7	<u>77.4</u>	64.8	67.0	64.2	64.8	61.6	<u>76.0</u>	65.9	74.4	<u>55.1</u>
他のことをしているのに テレビをつけっぱなしに している	65.9	<u>64.9</u>	66.2	66.1	66.6	66.8	<u>66.9</u>	71.8	73.9	63.6	<u>62.7</u>	63.6	<u>75.0</u>
多少暑くてもクーラーを 使用しない	53.5	52.7	48.6	<u>60.4</u>	51.0	55.4	<u>45.6</u>	53.2	<u>48.5</u>	55.2	54.2	<u>55.9</u>	50.7
ゴミをこまめに分別して 捨てる	51.3	49.3	51.4	<u>61.5</u>	49.3	51.7	<u>41.6</u>	48.0	50.2	<u>56.2</u>	52.0	54.4	<u>43.9</u>
マンガや雑誌などを燃え るゴミの日ではなく、廃 品回収日に出す	47.5	47.5	<u>36.6</u>	<u>56.5</u>	42.7	48.8	44.1	45.2	46.9	<u>55.2</u>	48.2	49.8	<u>38.1</u>
買ったものを入れるビニ ール袋をもらわない	41.7	39.9	43.0	45.3	35.1	<u>47.8</u>	<u>31.2</u>	43.2	40.0	39.6	41.0	<u>46.5</u>	<u>36.5</u>
洗顔やハミガキをする とき、水を流しっぱなしに する	38.9	41.9	43.0	<u>30.9</u>	38.8	37.7	<u>43.4</u>	39.2	<u>41.3</u>	<u>36.5</u>	38.7	38.0	41.1
ペットボトルやプラスチ ックのトレーなどをリサ イクルボックスに持って 行く	27.3	28.0	<u>31.0</u>	30.7	<u>23.7</u>	24.8	28.9	24.8	<u>23.7</u>	26.0	26.2	<u>37.9</u>	27.0
洋服など、リサイクルに 出したりリサイクルで購 入する	20.0	<u>23.0</u>	18.6	20.3	18.7	18.5	<u>16.3</u>	18.4	22.7	<u>24.0</u>	19.2	21.6	<u>13.4</u>
ストローやスプーンをも らわない	17.9	16.6	<u>12.0</u>	17.8	16.0	<u>21.1</u>	19.1	19.2	<u>11.9</u>	15.6	19.6	<u>23.4</u>	12.1

「よく」+「ときどき」ある割合  
 は各属性中の最大値  は各属性中の最小値

### 3 買い物意識や生活行動を規定する要因 ―

1・2節では、高校生の買い物意識と省エネやリサイクル活動などの面でのふだんの生活行動を探ってきたが、本節では、前節の意識や行動を規定する要因となるのであろう金銭観とお小遣いの計画性の有無と決断力の有無との関係を分析してみたい。なお、金銭観については、「お金の豊かさより、心の豊かさを大事にしたい」(Q23-3)と思うか、思わないかの項目を利用した。

第1節の分析から高校生の買い物意識の特徴をみると、1つには好みや流行をチェックした上で自分の買ったものはできるだけ長く使うようにしている。2つ目は、買い物は実利的な面のみならず、気晴らしになるなどメンタル面で大事なことだと認識している。3つ目は、食品の購入にあたっては賞味期限は気にするが、食品添加物・農薬などまで細心の注意をはらうという意識までは持っていない。これらの買い物意識の背景を探ろうと試みたのが表3-5である。

「自分で買ったものはできるだけ長く使うようにする」か否かは、金銭観とお小遣いの計画性の有無に正比例している。特に、お小遣いの計画性の「とてもある」層に強く(90.3%)、一方で、「お金の豊かさより、心の豊かさを大事にしたい」と「まったくそう思

わない」層が弱い(56.6%)ことがわかる。「買い物は気晴らしになる」では、「お金の豊かさより、心の豊かさを大事にしたい」と「まったくそう思わない」層(47.2%、全体平均より24.4%減)に顕著である。この層の買い物意識は、一般の生徒から比べるとかなり特異といえる。食品の安全面への細かい注意度(表中⑧・⑨)は、金銭観とお小遣いの計画性の有無の度合いにほぼ正比例している。

決断力の有無との関係では、決断力のある生徒は流行や見た目の豪華さやかわいいものはあまり左右されず、自分が欲しいと思ったものをすぐ買うタイプである。逆に、決断力のない生徒は見た目や新しいもの、友だちが持っているものを手に入れるタイプである。

ところで、金銭観とお小遣いの計画性と決断力と生徒の買い物意識との関係を見ると、金銭観では①・⑧・⑨・⑩・⑪の5項目、お小遣いの計画性では、①・②・④・⑥・⑧・⑨・⑩の7項目、決断力では③・⑥・⑪の3項目でそれぞれの度合いとほぼ正比例か反比例していることがわかる。つまり、生徒の買い物意識を最も強く規定している要因は、お小遣いの計画性の有無といえる。

表3 - 5 買い物意識 × 金銭観・お小遣いの計画性・決断力

(%)

	全 体	お金の豊かさより、心の豊かさを大事にしたい				お小遣いは計画的に使う					何かを決めるとき、なかなか決められず困る				
		とても そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	とても ある	わりと ある	ときどき ある	あまり ない	ぜんぜん ない	とても ある	わりと ある	ときどき ある	あまり ない	ぜんぜん ない
自分で買ったものではできるだけ長く使うようにする	78.8	(81.2)	> 79.5	> 74.5	56.6	(90.3)	> 87.8	> 82.0	> 74.0	> 66.7	77.0	78.6	(80.9)	79.6	75.4
賞味期限を気にする	74.7	71.9	(76.8)	72.6	75.5	(82.3)	> 78.0	79.2	> 70.2	> 68.7	75.1	(77.4)	76.5	66.5	70.8
買い物は気晴らしになる	71.6	(73.0)	72.1	71.5	47.2	66.8	71.6	(73.6)	71.8	72.3	(74.9)	> 74.0	> 70.7	> 67.0	> 62.3
欲しいと思ったものをすぐ買う	51.8	53.5	50.1	53.2	(56.6)	39.8	< 44.6	43.4	55.7	(69.1)	54.6	47.3	< 48.4	< 58.0	< (58.7)
流行のものは必ずチェックする	51.3	(52.5)	51.3	52.0	32.0	43.8	< 53.7	52.3	50.2	< (54.1)	52.4	(56.9)	49.0	45.5	46.5
見た目の豪華なものやかわいいものをつい買ってしまう	36.1	(37.3)	35.5	(37.3)	> 28.3	31.8	30.9	< 36.3	< 38.5	< (39.6)	(42.8)	> 36.5	> 34.7	> 32.1	21.9
健康食品や栄養補助食品を利用する	33.9	(39.8)	31.9	27.7	34.0	(39.4)	32.4	33.8	32.2	34.6	(39.0)	32.3	33.1	28.5	36.0
食品添加物や農薬には注意する	31.5	(38.8)	> 29.6	> 24.6	> 20.7	(43.4)	> 36.7	> 32.0	> 28.6	> 22.6	31.2	31.7	31.8	29.5	(36.8)
インスタント食品は食べないようにする	24.7	(29.2)	> 23.7	> 19.5	20.7	(38.5)	> 29.4	> 24.1	> 20.2	> 19.6	24.6	(25.8)	25.0	24.1	20.2
新しいものが出たり、バージョンが更新されたりするとすぐ買い換える	22.6	21.4	< 22.8	< 23.5	< (26.4)	18.1	< 20.0	19.4	< 22.8	< (31.2)	(28.7)	19.3	19.8	23.9	20.2
友だちが持っているものは手に入れたい	13.6	13.2	13.3	< 14.7	< (19.3)	(14.6)	11.9	12.1	(14.6)	14.2	(16.8)	> 14.9	> 11.6	> 10.5	> 8.8

「とても」 + 「わりと」あてはまる割合  
 ○ は各属性中の最大値    ◻ は各属性中の最小値    10%以上の差

次に、第2節の分析から高校生のふだんの生活行動の特徴は、1つは身近なところで省エネや環境問題に配慮した行動をしている。2つ目は、リサイクル活動や省資源・節約にも身近で日常できることは結構取り組んでいるといえる。これらのふだんの生活行動の関係を探ろうと試みたのが、表3 - 6である。

金銭観との関係では、お金より心の豊かさを大事にしたいと「とてもそう思う」層の生徒は、省エネ(①・②・③)や環境問題に配慮(④)し、リサイクル活動(⑧・⑨)や省資源(⑥)にも熱心に取り組んでいることが読み取れる。一方で、心の豊かさを大事にしたいと「まったくそう思わない」層の生徒(裏を返すと、その多くはお金の方が大事だと思っているといえよう)は、省エネや省資源、リサイクル活動にあまり熱心に取り組んでいないことがわかる。

お小遣いの使い方の計画性の有無との比較では、省エネ(①・②・③)と環境問題への配慮(④)とリサイクル活動(⑧・⑨)と省資源・節約(⑦)への取り組み方に関する項目で、計画性の「とてもある」層から「ぜんぜんない」層まで順次ほぼ明確な差があること

が読み取れる。特に、「とてもある」層と「ぜんぜんない」層との差は大きい(①が30.3%、②が13.2%、③が23.1%、④が26.0%、⑤が26.2%)。つまり、お小遣いを計画的に使うことのできるタイプの生徒は、ふだんの生活行動で省エネや環境問題に配慮し、リサイクル活動や省資源にも積極的に取り組んでいることがわかる。

決断力との関係では、テレビをつけっぱなしにしている「ながら族」の割合は決断力のなさと同比例していることがわかる。決断力のある層は、リサイクル活動(⑧・⑨)や省資源(⑤・⑥)には熱心である。逆に決断力のない層は、省エネ(①・②・③)や省資源にはあまり熱心とはいえない。

ところで、金銭観とお小遣いの計画性と決断力とふだんの生活行動との関係をみると、金銭観では①・②・④・⑤・⑦の5項目、お小遣いの計画性では①・②・③・④・⑦・⑧・⑨の7項目、決断力では②・④の2項目で、それぞれの度合いとほぼ正比例か反比例していることがわかる。つまり、生徒のふだんの生活行動を最も強く規定している要因は、お小遣いの使い方の計画性の有無といえる。

表3 - 6 ふだんの生活行動 × 金銭観・お小遣いの計画性・決断力

(%)

	全 体	お金の豊かさより、心の豊かさを大事にしたい				お小遣いは計画的に使う					何かを決めるとき、なかなか決められず困る				
		とても そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	とても ある	わりと ある	ときどき ある	あまり ない	ぜんぜん ない	とても ある	わりと ある	ときどき ある	あまり ない	ぜんぜん ない
電気をこまめに消す	65.9	(69.0)	> 65.0	> 63.1	62.3	(80.0)	> 77.2	67.0	> 61.9	49.7	60.8	67.1	(69.4)	65.0	65.8
他のことをしているのに テレビをつけっぱなしに している	65.9	62.8	< 66.2	< (71.7)	69.2	57.3	< 62.6	< 64.5	< 69.5	< (70.5)	(75.2)	64.5	> 63.7	> 60.4	> 58.8
多少暑くてもクーラーを 使用しない	53.5	(58.5)	51.1	52.4	50.9	(64.2)	> 62.7	> 54.4	> 50.1	> 41.1	52.7	51.8	(56.3)	52.5	52.7
ゴミをこまめに分別して 捨てる	51.3	(54.2)	> 52.0	> 44.5	> 39.6	(62.2)	> 59.1	> 52.1	> 50.7	36.2	47.5	< 50.9	< 51.4	< (56.7)	55.2
マンガや雑誌などを燃え るゴミの日ではなく、廃 品回収日に出す	47.5	49.4	(49.8)	37.4	> 32.1	49.6	(57.1)	> 52.3	> 45.4	32.8	45.3	48.3	46.8	49.9	(50.0)
買ったものを入れるビニ ール袋をもらわない	41.7	(49.6)	> 39.8	> 31.0	35.9	(45.0)	> 41.5	43.5	> 41.4	> 36.7	37.7	42.5	44.0	41.0	(45.6)
洗顔やハミガキをする とき、水を流しっぱなしに する	38.9	38.0	38.1	< 42.4	< (43.4)	34.5	32.5	< 38.0	< 41.0	< (46.5)	(43.8)	37.9	36.6	39.1	36.0
ペットボトルやプラスチ ックのトレーなどをリサ イクルボックスに持って 行く	27.3	(33.7)	24.3	26.2	24.5	(43.0)	29.7	30.2	> 24.7	> 16.8	26.1	22.7	30.8	29.7	(34.5)
洋服など、リサイクルに 出したりリサイクルで購 入する	20.0	(25.6)	> 18.7	> 12.4	17.3	(23.0)	> 20.0	20.3	> 19.4	> 18.2	19.7	20.7	19.1	20.0	(23.4)
ストローやスプーンを もらわない	17.9	22.6	> 15.7	> 13.5	(26.4)	(23.0)	20.8	21.6	14.1	14.4	16.6	15.1	(20.4)	20.3	19.3

「よく」+「ときどき」ある割合  
 ○ は各属性中の最大値    — は各属性中の最小値    10%以上の差

## 第4章 ||||

# 将来の生き方と金銭

私事で恐縮だが、私の小学校時の卒業文集のテーマは、「将来の夢」であった。私はそこに、「金持ちになりたい」という作文を書いた。当時全盛だった『オバケのQ太郎』などのマンガに登場するお金持ちの子どもがうらやましくて、そんな内容になった。母親から「なんて夢のない、子どもらしくない…」と叱られたことを、今も覚えている。

さて、高校生ともなれば、「金持ちに」「かわいいお嫁さん」「やさしい父親」といった素朴な夢の段階はもう卒業であろう。それで

は生徒たちは、金銭や消費とかかわる部分で、自分の未来をどうイメージしているのであろうか。前章まではお小遣い、買い物の選択基準など高校生の金銭・消費の“現在”をみてきた。この章では少し視点を変えて、彼らの金銭をめぐる“将来”像を考察していきたい。高校生たちは、今後どのくらいの収入を得て、どのくらいのレベルの生活ができると考えているのか。また、金銭に関してどのような姿勢で生きていこうとするのか。彼らの意識にアプローチしていこう。

## 1 将来の収入予測

高校生たちは将来いくらくらい稼げると思っているのか、大いに興味のあるところである。だがその前に、もし今「高校をやめて働きに出た」場合どのくらいの月収が可能か、彼らの推測をみてみよう。表4-1は、自由回答を整理し集計し直したものである（自由回答では1万円から600万円までの幅があった）

せいぜい「0～5万円」までという生徒は約

1割、「6万～10万円」が36.6%、最も多いのは「11万～20万円」で半数弱を占める。現在の高校生のアルバイト代の相場からみれば、まあまあ妥当な数値にみえる。しかしシビアに言えば、高校をやめて働くのであるから資格は「中卒」である。定職・アルバイト先を見つけるのは、かなり難しい。見つかったとしても、労働条件は相当ハードなものになる。この点を考慮すると、生徒の見通しはや

や甘いかもしれない。

それでは、将来についてはどうか。アンケートでは、「25歳くらい」「40歳くらい」「55歳くらい」に分けて、やはり自由回答形式で答えてもらった。それを表4-1と同じ段階を用いて集計し、結果を表4-2に示してある（これを検討するにあたっては、調査対象の生徒たちがどの段階で社会に出るつもりなのかを考慮する必要がある。そこで高校卒

業後の進路希望について、表4-3にまとめた。4年制大学進学希望者が6割を超える）

「25歳くらい」では、「11万～20万円」が最も多く49.7%、次いで「21万～30万円」が36.8%となる。「40歳くらい」で最大値を示すのが「21万～30万円」で40.0%、「31万～50万円」が2位で37.4%である。「55歳くらい」になると、「31万～50万円」が49.2%に上昇し、「51万～100万円」も12.9%いる。

表4-1 高校をやめて働いた場合の月収（推測）

	(%)
1. 0～5万円	9.5
2. 6万～10万円	36.6
3. 11万～20万円	47.6
4. 21万～30万円	4.5
5. 31万～50万円	0.8
6. 51万～100万円	0.6
7. 101万円以上	0.4

表4-2 年齢別月収予測

	(%)		
	25歳くらい	40歳くらい	55歳くらい
1. 0～5万円	1.1	0.9	1.4
2. 6万～10万円	4.9	1.5	2.7
3. 11万～20万円	49.7	14.2	9.5
4. 21万～30万円	* 36.8	40.0	* 22.2
5. 31万～50万円	5.4	* 37.4	49.2
6. 51万～100万円	1.4	4.4	12.9
7. 101万円以上	0.7	1.6	2.1

○は最大値 \*は2番目に大きい値

この結果を評価するには、いろいろな要素を考慮しなければならない。しかし、4年制大学卒のホワイトカラーをイメージすれば、比較の実態に近いといつてよいであろう。高校生たちは、自分の将来の収入に過大な期待は抱いていない。同時にひどく過小な見積りもしていない。

なお、表4 - 4に性別のデータを掲げた。

全体的に女子は男子より収入を低く見積もっている。現在、法的には男女の賃金差別は認められない。しかし、現実には様々な仕組みで女性の賃金は低く抑えられている。女子高生は、そんな社会の実態を感じ取っているのかもしれない。表4 - 5は学年別データである。学年が上がると、多少月収を低めに予測する傾向がみられる。

表4 - 3 進路希望 × 性・学年

	全 体	性 別		学 年 別		
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
1. 就職	6.1	6.1	6.1	6.1	5.6	6.6
2. 家業・家の手伝い	0.4	0.4	0.4	0.5	0.6	0.2
3. 専門・専修学校	16.1	9.6	20.6	14.8	15.4	18.4
4. 短期大学	5.0	0.4	8.2	4.1	3.0	8.0
5. ふつうの4年制大学	48.7	58.7	41.7	45.1	49.7	51.3
6. 難しい4年制大学	14.2	15.3	13.4	14.2	16.1	12.1
7. まだ決めていない	8.1	7.2	8.7	13.0	8.4	2.5
8. その他	1.5	2.4	0.9	2.3	1.2	1.0

表4 - 4 年齢別月収予測 × 性

	25歳くらい		40歳くらい		55歳くらい	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 0万～5万円	1.8	0.6	1.0	0.7	1.8	1.2
2. 6万～10万円	3.3	6.1	0.8	2.1	0.7	4.1
3. 11万～20万円	(42.8)	(54.4)	7.4	18.9	5.4	12.2
4. 21万～30万円	*42.2	*33.0	*36.7	(42.3)	*18.2	*24.9
5. 31万～50万円	6.4	4.6	(45.1)	*32.1	(53.8)	(46.0)
6. 51万～100万円	2.3	0.8	6.5	2.9	17.0	10.2
7. 101万円以上	1.2	0.7	2.5	1.0	3.2	1.4

○は最大値 \*は2番目に大きい値

表4 - 5 年齢別月収予測 × 学年

	25歳くらい			40歳くらい			55歳くらい		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
1. 0万～5万円	0.6	1.4	1.3	0.5	0.9	1.2	0.8	1.8	1.9
2. 6万～10万円	5.5	6.0	3.5	1.2	1.9	1.5	3.4	2.7	2.0
3. 11万～20万円	(44.7) < (50.4) < (54.1)			14.0	14.0	14.8	8.8	10.5	9.1
4. 21万～30万円	*39.0 > *36.7 > *34.4			(38.3) < (40.2) < (41.7)			*20.7 < *22.3 < *23.6		
5. 31万～50万円	7.6	4.0	4.5	*38.1 > *37.9 > *36.1			(50.5) > (49.4) > (47.5)		
6. 51万～100万円	2.0	0.8	1.5	6.1	3.6	3.4	13.5	11.7	13.7
7. 101万円以上	0.8	0.8	0.7	1.9	1.6	1.3	2.3	1.7	2.2

○は最大値 \*は2番目に大きい値

## 2 将来の生活レベル

将来の収入予測では、生徒たちはかなり現実的な見通しを示した。それでは、彼らはその収入で、どの程度の生活が可能と考えているのだろうか。「両親くらいの年齢になったとき」という条件を設定し尋ねてみた(表4-6)

「ふつう程度の乗用車を持つ」では、全体の95.5%が「きっと・たぶんできる」と答えている。「1か月に2、3回、家族でファミリーレストランで食事をする」では、81.1%が「できる」と考えている。まずは妥当な線といえよう。

一方、「マンションか1戸建ての自分の家を持つ」も77.1%が可能としている。現実には、退職金を元手によくマイホームを手に入れる、といったケースも多く、数値はやや甘い気もする。もっともここは、現在マイ

ホームか、借家住まいかの実態が強く反映されるであろう。マイホーム住まいの生徒はやはり「できる」と答える比率が高い、と推測される。今回対象となった生徒の家庭は、比較的裕福な家庭が多いのかもしれない。

「1年に2、3回、国内の家族旅行をする」58.7%、「2、3年に1回、家族で海外旅行をする」32.6%(いずれも「きっと・たぶんできる」の数値)はやや控えめな印象を受ける。実際の生活では住宅ローンに押されてあまり旅行の機会が持てないため、というの考えすぎだろうか。

「自分の家とは別に、セカンドハウスを持つ」は、さすがに「たぶん・絶対に無理」が9割近くを占める。

表4-7に性別・学年別の結果をまとめている。「1か月に2、3回、家族でファミリー

表4-6 将来の生活レベル(親くらいの年齢で)

	きっとできる	たぶんできる	たぶん無理	絶対に無理
1. ふつう程度の乗用車を持つ	59.6	35.9	3.6	0.9
	95.5			
2. 1か月に2、3回、家族でファミリーレストランで食事をする	33.2	47.9	15.3	3.7
	81.1			
3. マンションか1戸建ての自分の家を持つ	30.9	46.2	18.6	4.3
	77.1			
4. 1年に2、3回、国内の家族旅行をする	16.4	42.3	33.7	7.6
	58.7			
5. 2、3年に1回、家族で海外旅行をする	11.5	21.1	44.3	23.2
	32.6			
6. 自分の家とは別に、セカンドハウスを持つ	4.9	5.3	35.3	54.5
	10.2			

ーレストランで食事をする」「マンションか1戸建ての自分の家を持つ」については、女子がやや楽観的である。「自分の家とは別に、セカンドハウスを持つ」では、男子の数値が高く、男子の収入予測の高さに対応している。また、「マンションか1戸建ての自分の家を持つ」「1年に2、3回、国内の家族旅行をする」は、学年が上がるで見通しが少し暗くなる。逆に「2、3年に1回、家族で海外旅

行をする」「自分の家とは別に、セカンドハウスを持つ」では、3年生の数値がやや高い。

進路希望別では(表4-8)「難しい4年制大学」をねらう層の予測が最もリッチである。「難しい大学 一流企業 高収入」この図式は、実社会ではすでに崩壊しているといわれる。しかし高校生の意識の中では、「高学歴」と「高収入」はまだ強く結びついているようである。

表4-7 将来の生活レベル × 性・学年

(%)

	全 体	性 別		学 年 別		
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
1. ふつう程度の乗用車を持つ	95.5	95.0	96.0	96.1	94.1	96.4
2. 1か月に2、3回、家族でファミリーレストランで食事をする	81.1	77.4 <	83.7	78.2 <	81.0 <	84.2
3. マンションか1戸建ての自分の家を持つ	77.1	75.9 <	78.0	79.4 >	77.1 >	74.7
4. 1年に2、3回、国内の家族旅行をする	58.7	58.0	59.3	60.8 >	58.6 >	56.8
5. 2、3年に1回、家族で海外旅行をする	32.6	33.5	31.9	30.7	30.6 <	36.7
6. 自分の家とは別に、セカンドハウスを持つ	10.2	14.3 >	7.5	9.5	9.3 <	12.0

「きつと」+「たぶん」できる割合

表4-8 将来の生活レベル × 進路希望

(%)

	全 体	進 路 希 望					
		就 職	専 門・専 修 学 校	短 大	ふ つ う の 4 年 制 大 学	難 しい 4 年 制 大 学	ま だ 決 め て い ない
1. ふつう程度の乗用車を持つ	95.5	95.7	96.1	*96.8	95.9	(97.1)	93.6
2. 1か月に2、3回、家族でファミリーレストランで食事をする	81.1	76.7	(85.4)	*84.4	81.6	80.2	75.4
3. マンションか1戸建ての自分の家を持つ	77.1	77.6	76.0	*78.2	76.9	(81.5)	76.3
4. 1年に2、3回、国内の家族旅行をする	58.7	56.9	52.1	46.9	*62.3	(64.1)	51.3
5. 2、3年に1回、家族で海外旅行をする	32.6	*35.9	28.9	24.0	30.7	(43.4)	32.7
6. 自分の家とは別に、セカンドハウスを持つ	10.2	*11.9	10.6	1.1	9.6	(12.1)	11.5

「きつと」+「たぶん」できる割合

○は最大値 \*は2番目に大きい値 —は最小値

### 3 金銭観と生活観

生徒の生活観、社会観は、このシリーズでも何度か扱ってきた。今回は、特に金銭や金銭と生活にかかわる内容で、4項目にしばって生徒に尋ねてみた。

表4-9をごらんいただきたい。「まじめに働けば、ふつうの暮らしはできる」は、「とてもそう思う」が55.8%で、「まあそう思う」39.3%を合わせると肯定率は95.1%に達する。まじめにやればそれなりに報われると、高校生たちは考えている。日本の社会の健全さが最低限は認められた、とあってよいだろう。

同時に、現在の日本の暗く汚れた部分を反映するデータもある。「悪いことをしない限り、大金を手にはできない」では、ほぼ4人に1人(23.8%)が「そう思う」と答えている。政界、官界、経済界などの裏側で黒い大金が動いていることは毎日のように報道されている。高校生が金銭的成功と悪事を結びつけて考えるのは、むしろ当然である。彼らの意識を変えるには、われわれおとなが少しずつでも社会のダーティな部分を正していくよりあ

るまい。

さて、「お金の豊かさより、心の豊かさを大事にしたい」は、すでに第3章でクロス集計で登場しているが、より基本的なデータからみていこう。この生き方に、84.6%もの生徒が「とても・まあそう思う」と答えている。「心の豊かさが大事」といわれて正面から反論するのはちょっと難しい。高い数値がでるのは当然かもしれない。それでも、「心より金」と考える生徒(つまり、「心の豊かさを大事にしたい」と「思わない」生徒)は、「あまり」という消極的賛成も含め15.4%にとどまる。一応、ほっとできる結果である。

では「お金はいらぬのか」というと、それは別の話らしい。「何としても、大金を手にはしたい」で「とても・まあそう思う」は62.2%に上る。「何としても」と、かなり強い調子の質問文なのだが、数値は高い。高校生たちは、金銭への執着も強く示している。

「お金の豊かさより、心の豊かさを大事にしたい」および「何としても、大金を手にし

表4-9 金銭と生活

	(%)			
	とても そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない
1. まじめに働けば、ふつう程度の暮らしはできる	55.8	39.3	4.2	0.8
	95.1			
2. お金の豊かさより、心の豊かさを大事にしたい	31.3	53.3	12.7	2.7
	84.6			
3. 何としても、大金を手にはしたい	28.3	33.9	34.1	3.7
	62.2			
4. 悪いことをしない限り、大金を手にはできない	7.0	16.8	45.9	30.3
	23.8			

たい」の結果は、生徒たちの建前と本音のあらわれのように思える。「もちろん、お金よりも心の豊かさを大切にして生きていきたい。でも、大金がほしいと言われれば、ほしいに決まっている。」そんな生徒たちの声が聞こえてくるようである。

表4 - 9の項目について、属性別にみてみよう。表4 - 10によると、「お金の豊かさより、心の豊かさを大事にしたい」では、少し女子の賛同率が高い。一方、「何としても、大金を手にした」とは、男子の数値が女子を上回る。つまり、女子はやや「心」志向が強く、男子はより「金銭」志向を示す。そして、男子は金銭に対して女子よりダーティなイメージを持っている（「悪いことをしない

限り、大金を手にはできない」男子31.4%、女子18.5%）

学年別では、学年が上がるにつれ「お金の豊かさより、心の豊かさを大事にしたい」生徒が増える。逆に「何としても、大金を手にした」とは、2、3年で数値が下がる。生徒たちが精神的に成長してくれている、と思いたい。

表4 - 11には進路希望別の結果を示した。「短大」に「心」志向が強いが、この層に女子が多いためと思われる。「大金を手にした」「悪いことをしない限り、大金を手にはできない」は、進路未定者の数値が高い。将来の見通しが不安定な者は金銭に頼りがちになるのであろうか。そう推測するのも可能だが、

表4 - 10 金銭と生活 × 性・学年

(%)

	全 体	性 別		学 年 別		
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
1. まじめに働けば、ふつう程度の暮らしはできる	95.1	93.6	< 96.1	95.2	94.6	95.3
2. お金の豊かさより、心の豊かさを大事にしたい	84.6	81.1	< 87.1	82.7	< 83.9	< 87.6
3. 何としても、大金を手にした	62.2	71.4	> 55.9	66.5	> 59.4	60.6
4. 悪いことをしない限り、大金を手にはできない	23.8	31.4	> 18.5	23.9	23.5	23.9

「ととも」+「まあ」そう思う割合

表4 - 11 金銭と生活 × 進路希望

(%)

	全 体	進 路 希 望					
		就 職	専 門・専 修 学 校	短 大	ふ っ っ の 4 年 制 大 学	難 しい 4 年 制 大 学	ま だ 決 め て い ない
1. まじめに働けば、ふつう程度の暮らしはできる	95.1	94.0	95.2	<u>98.9</u>	*96.3	93.4	<u>92.3</u>
2. お金の豊かさより心の豊かさを大切にしたい	84.6	<u>82.8</u>	84.4	<u>91.6</u>	83.7	84.3	*87.8
3. 何としても、大金を手にした	62.2	62.4	*64.2	<u>53.2</u>	60.4	62.4	<u>68.0</u>
4. 悪いことをしない限り、大金を手にはできない	23.8	*25.7	21.7	<u>18.7</u>	23.4	22.7	<u>28.2</u>

「ととも」+「まあ」そう思う割合

○は最大値 \*は2番目に大きい値 —は最小値

結論は急がずもう少しデータをみよう。

表4 - 12・13・14は、日頃の気持ちや生活態度に関する質問の結果と、表4 - 9の項目をクロスしたものである。これにより、ふだんの心の状態や生活上の性向と金銭観との関連が考察できる。表4 - 12からみていこう。「今の生活がむなしく感じる」「自分の感情をコントロールできない」「学校にいるとイライラする」に「とても・わりとある」と答えた生徒は、そのようなことが「あまり・ぜんぜんない」と答えた生徒に比べ、「何としても、大金を手にした」と思う比率が高い。つまり、充実感がない者、心が不安定な者は、より「大金を手にした」と考えている。また、「制服をだらしなく着る」「茶髪にしたりパーマをかける」という多少逸脱的な生徒たちも、「大金を手にした」との思いがやや強い。

表4 - 13「悪いことをしない限り、大金を手にした」という点においても、似た結果がみられる。すなわち、「今の生活がむなしく感じ

る」「自分の感情をコントロールできない」「学校にいるとイライラする」の充実感がない者、心が不安定な者は、「悪いことをしない限り、大金を手にした」と思いがちである。加えて、「自分がひとりぼっちのよう不安になる」「自分の居場所がないように感じる」生徒も、悪事と金を結びつける傾向がある。だが、逸脱的な生徒たち（「制服をだらしなく着る」「茶髪にしたりパーマをかける」）については、それほど明確な結果は得られなかった。

それでは、「お金の豊かさより、心の豊かさを大事にしたい」ではどうであろうか（表4 - 14）。表4 - 12、13に比べ、全体的に2つのグループ間の差は小さい。「心」志向は、様々な性向を持つ生徒たちに、幅広く共有されているようである。それでも、「今の生活がむなしく感じる」生徒、「自分の感情をコントロールできない」生徒、「学校にいるとイライラする」生徒は、「心の豊かさ」を選ぶ比率がやや低い。

表4 - 12 日頃の気持ち・生活態度 × 金銭と生活

～何としても、大金を手にした」「とても・まあそう思う」～

(%)

	「とても・わりとある」グループ		「あまり・ぜんぜんない」グループ
( 全 体 )	62.2		
1. 自分がひとりぼっちのよう不安になる	62.4	>	60.8
2. 自分の居場所がないように感じる	63.5	>	61.5
3. 今の生活がむなしく感じる	69.0	>	54.9
4. 何かを決めるとき、なかなか決められず困る	64.1	>	63.8
5. 自分の感情をコントロールできない	68.4	>	60.1
6. 学校にいるとイライラする	70.7	>	57.9
7. お小遣いは計画的に使う	56.0	<	66.5
8. 制服をだらしなく着る	66.8	>	57.7
9. 茶髪にしたりパーマをかける	66.1	>	59.7

表4 - 13 日頃の気持ち・生活態度 × 金銭と生活

～悪いことをしない限り、大金を手にはできない「とても・まあそう思う」～  
(%)

	「とても・わりとある」グループ		「あまり・ぜんぜんない」グループ
( 全 体 )	23.8		
1. 自分がひとりぼっちのようで不安になる	27.5	>	23.0
2. 自分の居場所がないように感じる	31.0	>	21.1
3. 今の生活がむなしく感じる	30.6	>	20.9
4. 何かを決めるとき、なかなか決められず困る	24.1	<	26.0
5. 自分の感情をコントロールできない	33.0	>	20.5
6. 学校にいるとイライラする	33.5	>	20.9
7. お小遣いは計画的に使う	22.0	<	26.6
8. 制服をだらしなく着る	24.4		24.6
9. 茶髪にしたりパーマをかける	28.3	>	22.2

表4 - 14 日頃の気持ち・生活態度 × 金銭と生活

～お金の豊かさより、心の豊かさを大事にしたい「とても・まあそう思う」～  
(%)

	「とても・わりとある」グループ		「あまり・ぜんぜんない」グループ
( 全 体 )	84.6		
1. 自分がひとりぼっちのようで不安になる	86.9	>	81.4
2. 自分の居場所がないように感じる	84.1		84.2
3. 今の生活がむなしく感じる	81.5	<	85.9
4. 何かを決めるとき、なかなか決められず困る	85.2	>	82.0
5. 自分の感情をコントロールできない	81.5	<	85.0
6. 学校にいるとイライラする	81.3	<	85.5
7. お小遣いは計画的に使う	87.9	>	81.4
8. 制服をだらしなく着る	84.4		84.7
9. 茶髪にしたりパーマをかける	86.0	>	84.0

日頃の気持ちや生活態度に関する質問項目は、ネガティブなイメージのものが多かった。そこで、自己像の諸項目とのクロスも行った(表4 - 15・16・17)。

表4 - 15によると、「おしゃれな方」である生徒、「異性から人気がある」生徒は「何としても、大金を手にした」とやや強く思っている。一方、「校則は守っている」「友だちから信頼されている」「先生から信頼されている」生徒たちは、あまり「大金」を求めようとしない。

表4 - 16に移ろう。「おしゃれな方」の生徒がやや強く、「異性から人気がある」生徒はかなり強く「悪いことをしない限り、大金を手にはできない」と思っている。あとは、「行動力がある」を除き、自己像が明るい生徒たち(「とても・わりとそう」グループ)は、悪事と金を結びつける傾向が弱い。

表4 - 17では、ほとんどの項目で、自己像の明るい生徒たちの方が「お金より、心の豊かさを大事にしたい」と考えている。

**表4 - 15 自己像 × 金銭と生活**  
～何としても、大金を手にした「とても・まあそう思う」～

	( % )	
	「とても・わりと そう」グループ	「あまり・ぜんぜん そうでない」グループ
( 全 体 )	62.2	
1. 行動力がある	64.2	60.3
2. おしゃれな方だ	78.9	57.8
3. 異性から人気がある	87.2	60.5
4. 友だちが多い	63.3	60.7
5. 努力型だ	62.7	63.2
6. 校則は守っている	57.0	67.3
7. 友だちから信頼されている	59.5	63.7
8. 友だちやクラスをひっぱる力がある	64.4	60.1
9. 先生から信頼されている	59.8	64.8
10. スポーツが得意だ	64.4	58.6

表4 - 16 自己像 × 金銭と生活

～悪いことをしない限り、大金を手にできない「とても・まあそう思う」～  
(%)

	「とても・わりと そう」グループ		「あまり・ぜんぜん そうでない」グループ
( 全 体 )	23.8		
1. 行動力がある	24.8		24.5
2. おしゃれな方だ	26.6	>	23.6
3. 異性から人気がある	37.2	>	23.3
4. 友だちが多い	21.9	<	27.9
5. 努力型だ	21.6	<	27.0
6. 校則は守っている	22.4	<	24.6
7. 友だちから信頼されている	22.9	<	29.6
8. 友だちやクラスをひっぱる力がある	21.7	<	25.1
9. 先生から信頼されている	23.1	<	26.0
10. スポーツが得意だ	22.0	<	25.3

表4 - 17 自己像 × 金銭と生活

～お金の豊かさより、心の豊かさを大事にしたい「とても・まあそう思う」～

(%)

	「とても・わりと そう」グループ		「あまり・ぜんぜん そうでない」グループ
( 全 体 )	84.6		
1. 行動力がある	87.7	>	81.5
2. おしゃれな方だ	87.4	>	83.2
3. 異性から人気がある	77.9	<	84.3
4. 友だちが多い	89.0	>	79.9
5. 努力型だ	89.2	>	79.8
6. 校則は守っている	85.3	>	81.1
7. 友だちから信頼されている	92.4	>	76.8
8. 友だちやクラスをひっぱる力がある	88.4	>	83.1
9. 先生から信頼されている	92.5	>	81.5
10. スポーツが得意だ	89.2	>	81.6

## 4 仕事・金銭・生き方について

前節では、生徒の金銭観を中心に様々な角度でデータを分析し、興味深い結果を得た。こうなると、高校生たちは将来の生活の中で金銭をどう位置づけようとするのか、もっと知りたくなる。そこで、表4-18をみていただきたい。これは、金銭を重視しない仕事・暮らし方を左(A)に、金銭を重視する仕事・暮らし方を右(B)に置き、自分の考えに最も近いものを選択してもらった結果である。

まず、生徒は「1.A)5時に仕事は終わるが、収入は少ない仕事」より、「B)収入は多いが、残業も多い仕事」を選ぶ傾向がある(「絶対・できたら」A)31.5%、B)68.5%)。残業くらいはがまんして、高収入

を得たいという。また、2.では「A)現在を楽しみ、あまり貯金をしない暮らし」が37.1%なのに対し、「B)欲しいものをがまんして、貯金をする暮らし」は62.9%になる。刹那的な生活は、あまり好まれない。

一方、「3.A)のんびりとした仕事だが、収入は少ない仕事」か、「B)高収入だが、責任が重く、神経を使う仕事」かは、意見が分かれる。強いていえばAがやや多い。高校生たちは、学校生活において責任の重いポスト(生徒会役員、HR会長など)を非常にきらう。高収入という見返りがあるのだが、仕事の世界でも「重い責任はお断り」と考える生徒がけっこういるようだ。また、現代の生

表4-18 仕事・金銭・生き方

A	(%)				B
	絶対 A	できたら A	できたら B	絶対 B	
1. 5時に仕事は終わるが、収入は少ない仕事	4.5	27.0	53.6	14.9	収入は多いが、残業も多い仕事
	31.5		68.5		
2. 現在を楽しみ、あまり貯金をしない暮らし	6.8	30.3	49.1	13.8	欲しいものをがまんして、貯金をする暮らし
	37.1		62.9		
3. のんびりとした仕事だが、収入は少ない仕事	8.4	44.2	36.3	11.1	高収入だが、責任が重く、神経を使う仕事
	52.6		47.4		
4. 貧しくとも、家族を大事にする暮らし	34.6	53.6	9.7	2.2	家族を犠牲にしても、豊かさを確保する暮らし
	88.2		11.9		

徒たちは、友人との人間関係に極めて注意深く神経を使っている。仕事の上でも「神経を使う」と言われると、少し腰がひけるらしい。

4. では、「A) 貧しくとも、家族を大事にする暮らし」が88.2%に上り、「B) 家族を犠牲にしても、豊かさを確保する暮らし」(11.9%)を大きく引き離している。先の表4-9では生徒たちに「金銭より心」という傾向がみられた。さらにここで、「金銭」の対立軸に「家族」を置くと、高校生たちは圧倒的に「家族」を選ぶのである。

表4-18からは「多少残業でも高収入を得たい。ただ、責任が重くて神経をすり減らす仕事はちょっと困る。いろいろがまんして貯金は増やす。でも、お金が家族かといわれれば、迷わず家族を選ぶ」、こんな生徒たちの意識が浮かび上がってくる。

先の表4-10では、男子の「金銭指向」が目立った。表4-18の項目にも、同様の傾向

があるのだろうか。表4-19に性別のデータをまとめた。全体的に、性差が大きいとはいえない。「1. B) 収入は多いが、残業も多い仕事」の選択率の性差は3.4%にとどまる(ただ、女子の方がわずかながら「残業しても高収入」を選択している点は、注意が必要であろう)。「2. A) 貯金をしない、B) 貯金をする」もほぼ同様の結果になっている。

3. は、他の項目より性差が大きい。男子は女子に比べて、「B) 高収入だが、責任が重く、神経を使う仕事」を選ぶ傾向がある。女子は「A) のんびりとした仕事だが、収入は少ない仕事」に傾く。ただこれをもって、男子は条件はハードでも収入の多い仕事を取ろうとしている、とは言い切れない。「A) のんびりとした仕事だが、収入は少ない仕事」を選ぶ男子も49.0%いるのである。

「4. A) 貧しくとも、家族が大事」に関しては、性差はほとんどない。高校生は男女

表4-19 仕事・金銭・生き方 × 性

(%)

A	男子		女子		B
	男子	女子	男子	女子	
1. 5時に仕事は終わるが、収入は少ない仕事	33.6	> 30.1	66.5	< 69.9	収入は多いが、残業も多い仕事
2. 現在を楽しみ、あまり貯金をしない暮らし	38.8	> 35.9	61.2	< 64.1	欲しいものをがまんして、貯金をする暮らし
3. のんびりとした仕事だが、収入は少ない仕事	49.0	< 55.1	51.0	> 44.8	高収入だが、責任が重く、神経を使う仕事
4. 貧しくとも、家族を大事にする暮らし	87.5	88.7	12.5	11.3	家族を犠牲にしても、豊かさを確保する暮らし

「絶対」+「できたら」Aの割合

「絶対」+「できたら」Bの割合

とも、非常に「家族」を重視している。

学年別の結果はどうだろうか（表4 - 20）  
 ここでも、全体としてあまり大きな差はみられない。「3 . B）高収入だが、責任が重く、神経を使う仕事」を3年生がやや多く選択する程度である。一方、「4 . A）貧しくとも、家族が大事」は、学年にかかわらず高い数値

を保っている。

表4 - 21は進路希望別のデータである。ここでは、各グループの個性が比較的現れている。特に「難しい4年制大学」を希望するグループは、明確に「きつい仕事 高収入」の道を志向している。「収入は多いが、残業も多い仕事」78.8%、「高収入だが、責任が重く、

表4 - 20 仕事・金銭・生き方 × 学年

A							B
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
1 . 5時に仕事は終わるが、収入は少ない仕事	31.1	32.2	31.2	68.9	67.7	68.8	収入は多いが、残業も多い仕事
2 . 現在を楽しみ、あまり貯金をしない暮らし	37.7	36.1	37.5	62.3	63.9	62.4	欲しいものをがまんして、貯金をする暮らし
3 . のんびりとした仕事だが、収入は少ない仕事	54.9	53.7	> 49.1	45.1	46.3	< 51.0	高収入だが、責任が重く、神経を使う仕事
4 . 貧しくとも、家族を大事にする暮らし	88.5	87.6	88.4	11.6	12.3	11.6	家族を犠牲にしても、豊かさを確保する暮らし

「絶対」+「できたら」Aの割合

「絶対」+「できたら」Bの割合

表4 - 21 仕事・金銭・生き方 × 進路希望

	全 体	進 路 希 望					
		就職	専門・専修学校	短大	ふつうの4年制大学	難しい4年制大学	まだ決めていない
1 . 収入は多いが、残業も多い仕事	68.5	<u>60.7</u>	71.1	69.8	67.4	<u>(78.8)</u>	<u>60.7</u>
2 . 欲しいものをがまんして、貯金をする暮らし	62.9	<u>53.9</u>	60.8	<u>(70.8)</u>	64.4	70.1	54.3
3 . 高収入だが、責任が重く、神経を使う仕事	47.4	45.7	49.1	<u>39.6</u>	44.2	<u>(63.8)</u>	39.7
4 . 貧しくとも、家族を大事にする暮らし	88.2	88.7	88.9	<u>(93.6)</u>	88.3	<u>85.6</u>	88.5

「絶対」+「できたら」選ぶ割合  
 ○は最大値 —は最小値

神経を使う仕事」63.8%は、いずれも全体値を大きく上回る。だが、その「難しい4年制大学」グループも、「貧しくとも、家族を大事する暮らし」には85.6%が「選ぶ」と回答している。現代高校生の意識の中では、男女や学年・進路希望を超えて「家族」が普遍的な価値を持っているようである。

この傾向は、「日頃の気持ち・生活態度」「自己像」とのクロス集計結果にも見いだせる。表4-22において、「家族を大事に」の数値が最も低いのは、「学校にいるとイライラする」ことが「とても・わりとある」グループである。それでも、彼らの82.5%は金銭的豊かさより「家族」を選ぶという。

**表4-22 日頃の気持ち・生活態度 × 仕事・金銭・生き方**  
 ~ 貧しくとも、家族を大事にする暮らしを選ぶか「絶対・できたら選ぶ」~  
 (%)

	「とても・わりとある」グループ		「あまり・ぜんぜんない」グループ	
( 全 体 )	88.2			
1. 自分がひとりぼっちのようで不安になる	88.2	>	85.5	
2. 自分の居場所がないように感じる	86.9	<	88.5	
3. 今の生活がむなしく感じる	83.8	<	91.5	
4. 何かを決めるとき、なかなか決められず困る	89.3	>	86.4	
5. 自分の感情をコントロールできない	84.1	<	88.9	
6. 学校にいるとイライラする	82.5	<	90.1	
7. お小遣いは計画的に使う	90.4	>	86.4	
8. 制服をだらしなく着る	87.6	<	88.4	
9. 茶髪にしたりパーマをかける	86.6	<	88.7	

表4 - 23では、「家族が大事」の数値が80%に届かなかったのは、「異性から人気がある」グループのみとなっている。ここでも、生徒の家族重視という意識は揺るがない。

第4章全体を振り返ってみよう。高校生たちは、自分の将来の収入や生活レベルについて、比較的手堅い予想をしている。よくいえば、身の程を心得ている。が、欲を言えば、もう少し大きな望みを持ってもらいたい気もする。

一方、金銭を求める気持ちはかなり強い。男女とも、残業などには積極的に取り組み、高収入を得たいという。難関大学を目指す層は、責任が重く神経を使う仕事もいとわず、さらなる高収入に挑む気持ちがある。

といって、高校生たちは、決して「金銭第一主義」には陥っていない。金銭の豊かさより心の豊かさが大事と思う生徒が全体の8割を占める。金銭よりも、家族を大切に生きようという生徒は9割に上る。

もちろん、心の豊かさや家族を大切にしようとする彼らの気持ちに、異議はない。しかし、いくつか気になる点もある。

まず、高校生たちは、現時点で「心の豊かさ」や「家族を大事に」について、どれほど

具体的なイメージを持っているか、である。実社会で豊かな心を持ち家族を大切に生きるのはそう簡単ではない。本当に豊かな心を養うには、失敗や挫折を含め様々な人生経験が必要だろう。また現実には、家族を思うがゆえに仕事を優先せねばならないといった、苦しい選択場面は山ほどある。今の生徒たちに、それらの困難へ立ち向かう覚悟ができていたとは、ちょっと思えない。そんな彼らに、どんな知識と経験の場を用意するか、われわれは考える必要がある。

もうひとつは、少数派ではあるが、「心」や「家族」より「金銭」にこだわる生徒の存在である。しかも、その中には「今の生活がむなしく感じる」「自分の感情をコントロールできない」「学校にいるとイライラする」などのタイプが多く含まれている。彼らは、自らの思想・信条で「金銭」志向を選択したわけではあるまい。「豊かな心」「家族」といったいかにも真っ当な価値に素直に同調できない屈折した心が、金銭にこだわる形であらわれたと思われる。彼らの不安定で荒れた心にかかき接し、ケアしていくか。一人一人のおとなが、子どもたちにじっくり向き合っていくしかないであろう。

表4 - 23 自己像 × 仕事・金銭・生き方  
 ~ 貧しくとも、家族を大事にする暮らしを選ぶか「絶対・できたら選ぶ」~  
 (%)

	「とても・わりと そう」グループ		「あまり・ぜんぜん そうでない」グループ
( 全 体 )	88.2		
1. 行動力がある	87.3	<	88.0
2. おしゃれな方だ	87.1	<	89.5
3. 異性から人気がある	76.5	<	88.6
4. 友だちが多い	91.5	>	84.4
5. 努力型だ	90.9	>	85.5
6. 校則は守っている	89.2	>	84.8
7. 友だちから信頼されている	90.0	>	85.6
8. 友だちやクラスをひっぱる力がある	86.6	<	88.5
9. 先生から信頼されている	90.4	>	86.8
10. スポーツが得意だ	93.3	>	86.5

## まとめに代えて

### 堅実な生活態度

不況が長引いている。第二次大戦後、はじめてというデフレ傾向が強まっている。高校の話を知ると、経済的な理由をあげての進学をあきらめる生徒が目につくし、お小遣いをきりつめている生徒が増えた感じがする。それでも、全体としてみると、高校生が生活に困っているとは思われないという。豊かとはいえないまでも、貧しくはないというのが、高校生を取り巻く経済状況であろうか。

子どもたちが、本当の意味での飢えや渴きを知らないままに成長できるようになったのは昭和30年代の半ば頃からであろう。その後、バブルの時代もあった。現在の高校生は、そのバブルの時代に子どもの時期を過ごした。それだけに、貧しさを知らないままに成長しているのではないか。もちろん、近年の不況にとまどいはあろうが、それでも、物やお金があるのを当然と思っているのではないか。

高校生がどのような経済感覚を持っているのか。それを知りたいと思って、調査を実施した。結果は本文でふれた通りだが、改めて印象に残った数値を拾ってみよう。

#### 1) 現在の状況

- ①お小遣い=お小遣いが5~6千円(表1-6)
- ②持ち物=自分の部屋があって、オーディ

オとテレビゲーム、携帯電話(表1-8)

高校生にとって、当然のように感じるのであるが、経済的にかなり恵まれた環境のように思う。

#### 2) 消費への態度

③買うもの=すぐに買うのは食べ物・飲み物くらい。あとは慎重に(表1-17)

④使い方=「自分で買ったものは長く使う」78.8%(図3-1)

⑤情報=物を買うときはテレビや雑誌を参考に(表1-13)

⑥属性的に=消費行動をするのは進学希望者より就職希望者(表1-22)

新しい流行を追い派手な服装をしているなど、女子高校生を中心に、高校生の否定的な面だけが強調されやすい。しかし全体としてみると、堅実でしっかりとした消費態度を持っている生徒が多いのが印象的だった。

#### 3) 将来の見通し

⑦収入の見通し=将来の収入は25歳くらいで11万~20万円、40歳くらいで21万~30万円(表4-2)

⑧将来の生活=車を持ち、ファミリーレストランで食事。でも、海外旅行や別荘は無理みたい(表4-6)

⑨生き方=残業をしても稼ぎ、貯金をした(表4-18)

高校生は将来についても、かなり現実的な

見方をしている。「収入は少ないが、5時終わり」が31.5%で、「残業をしても、高い収入を望む」生徒が68.5%に達するあたりに不況の影が感じられる。高校生は現実的な見通しを抱いて将来を考えている。

#### 4) 金銭の体験

⑩今働けば=高校を中退して働けば、11万~20万円くらいの収入(表4-1)

⑪アルバイト=アルバイトをしている生徒は6.8%で(表2-4)アルバイトで金銭を稼いだ経験のない生徒が69.0%に達する(図1-2)

アルバイトをしている経験が少ないのが目につく。

#### 経済感覚を育てる

高校生がふわふわした感覚で、毎日を送っているのではと思った。しかし、くりかえし指摘してきたように、高校生は堅実な金銭感覚を持っていた。バブルがはじけた現在、おとなたちはバブルをひきずり、夢よもう一度的な感覚を拭いきれない。それに対し、高校生はバブルの時代に幼少年期を過ごしてはいるが、ものをきちんと思えるようになったのは最近のことだ。それだけに、現在の経済状況にすばやく適応し、堅実な感覚を持ち始めたのであろう。

高校生の堅実さを知って、安心はした。しかし、自分から状況を変えていく積極性を読み取れなかった。具体的には、アルバイトをしている割合が約7%にとどまる。アルバイトで金銭を稼いだ経験のない生徒が約7割に達するあたりが気になる。

毎月5~6千円のお小遣いを使う。自分の部屋もあって、携帯電話もある。それなのに、自分の手で1円を稼ぐことはない。それでも、消費者としての感覚は持てよう。しかしそれは、物の高い安いの目安を持つもので、経済感覚とはいえない。

自分で働いて金銭の重みを知る。3千円の物を買うのに、時給700円で4時間働いたのでは200円不足する。そうした経験を積み、大学入学にかかる何百何十万円の重みがずっしりとくる。

そうした意味では、高校生にとってアルバイトは、金銭感覚を身につける最もよい方法であろう。もっとも、アルバイトは気楽なパートタイムという意味でなく、ドイツ語の意味通りの「働く」と考えよう。

現在、ファミリーレストランやコンビニは、働く若者の指導に心を配っているから、アルバイトが非行に連なることは少ないと考えられる。それに、アルバイトをしたからといって、学業に差し障りがあることもあるまい。それに、自分で働いた金銭を無駄遣いする生徒が少ないと思うのが常識であろう。

そうはいても、現在でもアルバイトを禁止、あるいは届け出制をとっている高校が少なくない。生徒の経済的な感覚を育て、生徒の自立を促すために、アルバイトの解禁に踏み切ってはどうか。その際、健全なアルバイト関係を作るために、以下のような取り組みをしてはどうかと思う。

①学校内に、ハローワーク的なセクションを作り、仕事の受け入れや生徒の相談に乗る体制を作る。

②学校ごとに、就労の目安を作るとともに、学校として推薦できる生徒にIDカードを交付する。その生徒には、賃金の割増を求める。

③市レベルで、職場との間に、高校生の就労基準を作る。

④市レベルで、関係企業と連絡会を持ち、互いに情報を交換しながら、高校生の適正な就労形態を確立していく。

家庭に依存し、精神的な自立が遅れている。それだけに、部分的であるにせよ、生徒の経済的な自立を促すことは、高校にとってもプラスするものが多いと考えられる。

## アンケートのお願い

このアンケートは、高校生の「ものの買い方・お金の使い方」をお聞きするために作成したものです。

あなたの大切な時間をいただいて申しわけありませんが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

(お名前はいりませんので、ありのままをお答えください)

高校教育研究会

東京成徳短期大学教授 深谷昌志

上智大学教授 武内清

明治学院大学教授 望月重信

《回答のしかた》特にことわりのない場合は、あてはまる数字に1つだけをつけてください。

## 資料1 調査票見本

．まず、あなた自身についておたずねします。

① あなたの学校、学年、性別についておたずねします。

- 1) 学校名..... ( ) 高等学校  
 2) 学 年..... ( ) 年生  
 3) 性 別..... ( 1 . 男子 2 . 女子 ) をつけてください

② あなたは、部活動をしていますか。

- 1 . 運動部に入って熱心に活動している  
 2 . 運動部に入っているが、あまり熱心に活動していない  
 3 . 文化部に入って熱心に活動している  
 4 . 文化部に入っているが、あまり熱心に活動していない  
 5 . 以前は入っていたが、今は活動していない  
 6 . 入ったことがない  
 7 . その他

．お小遣いなどについておたずねします。

③ 今まで、1 か月にお小遣いをどれくらいもらっていましたか。

	500円 未満	1000円 くらい	2000～ 3000円 くらい	4000～ 5000円 くらい	6000～ 8000円 くらい	1万円 くらい	2万～ 3万円 くらい	4万円 以上	もらって いない
1 . 小学校4年生の頃.....	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2 . 小学校6年生の頃.....	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3 . 中学校1年生の頃.....	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4 . 中学校3年生の頃.....	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5 . 現在.....	1	2	3	4	5	6	7	8	9

④ あなたは現在、アルバイトをしていますか。

- 1 . はい ( 1 か月の収入は 千円くらい )  
 2 . いいえ

⑤ それでは、これまでにアルバイトをして、金銭を稼いだことがありますか。

1. ある (これまでに稼いだ金額は全体で 万円くらい)  
2. ない

⑥ あなたは、自分の貯金がありますか。

1. ある ( 万円くらい)  
2. ない

⑦ あなたは、次のようなものを買うとき、どのようなお金を使いますか。

	毎月 決められた お小遣い	そのつど 親から もらうお金	自分の預金や アルバイト代 など	使わない (買わない)
1. 本や雑誌.....	1	2	3	4
2. CD・MD.....	1	2	3	4
3. 昼食.....	1	2	3	4
4. 参考書や問題集.....	1	2	3	4
5. 文房具.....	1	2	3	4
6. 塾・予備校の月謝.....	1	2	3	4
7. 美容・理容代.....	1	2	3	4
8. 通学定期.....	1	2	3	4
9. 休日に遊びに行く電車やバス代.....	1	2	3	4
10. 部活動関連の費用(用具・合宿代など).....	1	2	3	4
11. 学校の教材費.....	1	2	3	4
12. シャツやパンツなどの衣類.....	1	2	3	4
13. スニーカーなどの靴.....	1	2	3	4
14. 友人との外食・軽食代.....	1	2	3	4
15. 映画やライブのチケット代.....	1	2	3	4

⑧ 次のようなことにお金を使うとき、あなたはいくらくらいなら「ちょうどよい」(高くない)と思いますか。

	300円 くらい	500円 くらい	800円 くらい	1000円 くらい	2000円 くらい	3000円 くらい	4000円 くらい	5000円 くらい	1万円 くらい
1. コンパ.....	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2. デートにかかる費用.....	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3. 体育祭のクラスのTシャツ.....	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4. 被災地への募金.....	1	2	3	4	5	6	7	8	9

## 資料1 調査票見本

	300円 くらい	500円 くらい	800円 くらい	1000円 くらい	2000円 くらい	3000円 くらい	4000円 くらい	5000円 くらい	1万円 くらい
5. クラス遠足.....	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6. 学校の売店のパン代.....	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7. 1か月の携帯電話代.....	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8. コンビニの弁当.....	1	2	3	4	5	6	7	8	9
9. 好きな人へのプレゼント.....	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10. 親へのプレゼント.....	1	2	3	4	5	6	7	8	9
11. 映画やライブのチケット.....	1	2	3	4	5	6	7	8	9

⑨ 物を買うとき、親に相談しないで買うことができる金額はどのくらいですか。

1000円 くらい	3000円 くらい	5000円 くらい	1万円 くらい	2万円 くらい	3万円 くらい	4万円 くらい	5万円 以上	特に ない
1	2	3	4	5	6	7	8	9

もう少し、金銭に関係した質問をします。

⑩ あなたは、次のようなものを持っていますか。持っているものすべてに をつけてください。

1. 自分の部屋
2. 自分専用のテレビ
3. 携帯電話やPHS
4. オーディオ機器(CD・MDなど)
5. ポータブルCD・MD
6. ギターやピアノなどの楽器
7. テレビゲーム
8. 自分専用のパソコン
9. バイクの免許
10. ブランド物など

⑪ あなたが持っているカードに、すべて をつけてください。

1. クレジットカード
2. キャッシュカード
3. プリペイドカード
4. お店のメンバーズカード
5. お店のサービスカード

資料1 調査票見本

12 それでは現在は、次のようなことがあてはまりますか。

	とても そう	わりと そう	どちらとも いえない	かなり 違う	まったく 違う
1. おしゃれにお金をかける.....	1	2	3	4	5
2. CDやMDなど音楽にお金をかける.....	1	2	3	4	5
3. 友だちとよく買い食いをする.....	1	2	3	4	5
4. コンビニをぶらぶらする.....	1	2	3	4	5
5. ウインドーショッピングをする.....	1	2	3	4	5
6. 彼(彼女)とデートのとき、ぜいたく をする.....	1	2	3	4	5
7. 夜の街をぶらぶらする.....	1	2	3	4	5
8. ゲームソフトにお金をかける.....	1	2	3	4	5

13 あなたは、次のようなものを買うとき、主にどのような情報をもとに選びますか。

	テレビや雑誌の コマーシャル	友だちから の情報	家族から の情報	店頭で みて	何となく	買わない
1. CD.....	1	2	3	4	5	6
2. シャープペンシルなどの文房具.....	1	2	3	4	5	6
3. かばん.....	1	2	3	4	5	6
4. 靴.....	1	2	3	4	5	6
5. シャツ.....	1	2	3	4	5	6
6. ジーンズ.....	1	2	3	4	5	6
7. 楽器.....	1	2	3	4	5	6
8. 雑誌.....	1	2	3	4	5	6
9. 化粧品.....	1	2	3	4	5	6
10. シャンプーや整髪剤.....	1	2	3	4	5	6

14 あなたは欲しいものを買うとき、次のようなものをどれくらい利用しますか。

	よく 利用する	ときどき 利用する	ほとんど 利用しない	利用しない
1. 専門店(ショップ).....	1	2	3	4
2. スーパー.....	1	2	3	4
3. コンビニ.....	1	2	3	4
4. デパート.....	1	2	3	4
5. ディスカウントストアー.....	1	2	3	4
6. 通信販売.....	1	2	3	4
7. インターネット.....	1	2	3	4

## 資料1 調査票見本

15) あなたは、次のようなものがあると、すぐ買う方ですか。

	すぐ 買う	ちょっと がまんする	かなり がまんする	ほとんど 買わない
1. CD.....	1	2	3	4
2. 雑誌.....	1	2	3	4
3. スポーツ用品.....	1	2	3	4
4. 新しい文房具.....	1	2	3	4
5. 靴下やハンカチなどの小物.....	1	2	3	4
6. 食べ物・飲み物.....	1	2	3	4
7. 化粧品.....	1	2	3	4
8. 参考書・問題集.....	1	2	3	4
9. ゲームソフト.....	1	2	3	4

16) あなたは、次のものを買うとき、次のようなことをどのくらい気にしますか。

1) 清涼飲料水

	とても 気にする	かなり 気にする	あまり 気にしない	ぜんぜん 気にしない
1. 値段.....	1	2	3	4
2. 添加物.....	1	2	3	4
3. 健康によいかどうか.....	1	2	3	4
4. 世の中の流行.....	1	2	3	4
5. 容器のデザイン.....	1	2	3	4
6. 味.....	1	2	3	4
7. 中身の量.....	1	2	3	4
8. メーカー名.....	1	2	3	4
9. 新製品.....	1	2	3	4
10. カロリー.....	1	2	3	4

2) 文房具（ペンケースやシャープペンシルなど）

	とても 気にする	かなり 気にする	あまり 気にしない	ぜんぜん 気にしない
1. 値段.....	1	2	3	4
2. 材質.....	1	2	3	4
3. 世の中の流行.....	1	2	3	4
4. キャラクター.....	1	2	3	4

## 資料1 調査票見本

	とても 気に入る	かなり 気に入る	あまり 気に入らない	ぜんぜん 気に入らない
5. 色やデザイン.....	1	2	3	4
6. サイズ.....	1	2	3	4
7. 使いやすさ.....	1	2	3	4
8. ブランド.....	1	2	3	4
9. 新製品.....	1	2	3	4
10. 自分のまわりの人が持っているかどうか.....	1	2	3	4

## 3) シャンプーや化粧品

	とても 気に入る	かなり 気に入る	あまり 気に入らない	ぜんぜん 気に入らない
1. 値段.....	1	2	3	4
2. 材料.....	1	2	3	4
3. 世の中の流行.....	1	2	3	4
4. 容器の形やデザイン.....	1	2	3	4
5. ききめ・効果.....	1	2	3	4
6. ブランド.....	1	2	3	4
7. 新製品.....	1	2	3	4
8. 自分のまわりの人が持っているかどうか.....	1	2	3	4
9. 購入先(販売店).....	1	2	3	4
10. 香りや色.....	1	2	3	4

## 4) セーターやシャツなどの衣類

	とても 気に入る	かなり 気に入る	あまり 気に入らない	ぜんぜん 気に入らない
1. 値段.....	1	2	3	4
2. ウールや綿などの材質.....	1	2	3	4
3. 世の中の流行.....	1	2	3	4
4. 色やデザイン.....	1	2	3	4
5. 着心地.....	1	2	3	4
6. ブランド.....	1	2	3	4
7. 新製品.....	1	2	3	4
8. 自分のまわりの人が持っているかどうか.....	1	2	3	4
9. まわりの人はどう感じるか.....	1	2	3	4
10. 購入先(販売店).....	1	2	3	4

## 資料1 調査票見本

17 あなたは、今までにキャッチセールスなどの悪質な商法にだまされたことがありますか。

ない	1回ある	何回かある
1	2	3

. あなたの考えをおたずねします。

18 買い物に関して、次のようなことがあなたにあてはまりますか。

	とても あてはまる	わりと あてはまる	あまりあて はまらない	ぜんぜんあて はまらない
1. 買い物は気晴らしになる.....	1	2	3	4
2. 流行のものは必ずチェックする.....	1	2	3	4
3. 新しいものが出たり、バージョンが更新 されたりするとすぐ買い換える.....	1	2	3	4
4. 見た目の豪華なものやかわいいものを つい買ってしまふ.....	1	2	3	4
5. 友だちが持っているものは手に入れたい.....	1	2	3	4
6. 欲しいと思ったものをすぐ買う.....	1	2	3	4
7. 自分で買ったものはできるだけ長く使う ようにする.....	1	2	3	4
8. 賞味期限を気にする.....	1	2	3	4
9. 健康食品や栄養補助食品を利用する.....	1	2	3	4
10. インスタント食品は食べないようにする.....	1	2	3	4
11. 食品添加物や農薬には注意する.....	1	2	3	4

19 ふだんの生活の中で、あなたは次のようなことをすることがありますか。

	よく ある	ときどき ある	あまり ない	ぜんぜん ない
1. 買ったものを入れるビニール袋をもらわない.....	1	2	3	4
2. ストローやスプーンをもらわない.....	1	2	3	4
3. 洋服など、リサイクルに出したりリサイクル で購入する.....	1	2	3	4
4. ゴミをこまめに分別して捨てる.....	1	2	3	4
5. ペットボトルやプラスチックのトレーなどを リサイクルボックスに持って行く.....	1	2	3	4
6. マンガや雑誌などを燃えるゴミの日ではなく、 廃品回収日に出す.....	1	2	3	4

## 資料1 調査票見本

	よく ある	ときどき ある	あまり ない	ぜんぜん ない
7. 電気をこまめに消す.....	1	2	3	4
8. 多少暑くてもクーラーを使用しない.....	1	2	3	4
9. 他のことをしているのにテレビをつけっぱなし にしている.....	1	2	3	4
10. 洗顔やハミガキをするとき、水を流しっぱなし にする.....	1	2	3	4

⑳ 高校をやめて働きに出たら、1か月にどれくらい稼げると思いますか。

( )万円くらい

㉑ それでは、これから先働いていたら、1か月にいくらくらい稼げると思いますか。

1. 25歳くらい..... ( )万円くらい
2. 40歳くらい..... ( )万円くらい
3. 55歳くらい..... ( )万円くらい

㉒ あなたは、あなたのご両親くらいの年齢になったとき、次のような暮らしができると思いますか。

	きっと できる	たぶん できる	たぶん 無理	絶対に 無理
1. ふつう程度の乗用車を持つ.....	1	2	3	4
2. 1か月に2、3回、家族でファミリーレストラン で食事をする.....	1	2	3	4
3. 1年に2、3回、国内の家族旅行をする.....	1	2	3	4
4. マンションか1戸建ての自分の家を持つ.....	1	2	3	4
5. 2、3年に1回、家族で海外旅行をする.....	1	2	3	4
6. 自分の家とは別に、セカンドハウスを持つ.....	1	2	3	4

㉓ あなたの金銭観をおたずねします。

	とても そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない
1. まじめに働けば、ふつう程度の暮らしはできる.....	1	2	3	4
2. 何としても、大金を手にしたい.....	1	2	3	4
3. お金の豊かさより、心の豊かさを大事にしたい.....	1	2	3	4
4. 悪いことをしない限り、大金を手にはできない.....	1	2	3	4

資料1 調査票見本

㉔ 現在のあなたにとって、「大金」(タイキン)はいくらぐらいのことですか。

現在の自分には、大金は( )円くらい

㉕ あなたは、AとBのどちらかを選ぶとしたら、どちらの生き方をしたいですか。

「 A 」	絶対 A	できたら A	できたら B	絶対 B	「 B 」
1. 5時に仕事は終わるが、 収入は少ない仕事.....	1	2	3	4	収入は多いが、残業も 多い仕事
2. 現在を楽しみ、あまり 貯金をしない暮らし.....	1	2	3	4	欲しいものをがまんして、 貯金をする暮らし
3. のんびりとした仕事だが、 収入は少ない仕事.....	1	2	3	4	高収入だが、責任が重く、 神経を使う仕事
4. 貧しくとも、家族を大事 にする暮らし.....	1	2	3	4	家族を犠牲にしても、 豊かさを確保する暮らし

最後に、もう少しあなたのことをおたずねします。

㉖ あなたは日頃、次のようなことがどの程度あてはまりますか。

	とても ある	わりと ある	ときどき ある	あまり ない	ぜんぜん ない
1. 自分がひとりぼっちのようで不安になる.....	1	2	3	4	5
2. 自分の居場所がないように感じる.....	1	2	3	4	5
3. 今の生活がむなしく感じる.....	1	2	3	4	5
4. 何かを決めるとき、なかなか決められず 困る.....	1	2	3	4	5
5. 自分の感情をコントロールできない.....	1	2	3	4	5
6. 学校にいるとイライラする.....	1	2	3	4	5
7. お小遣いは計画的に使う.....	1	2	3	4	5
8. 制服をだらしなく着る(スカートを 短くしたりする).....	1	2	3	4	5
9. 茶髪にしたりパーマをかける.....	1	2	3	4	5



資料2 学年・性別集計表

単位：サンプル以外は%

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
サンプル数		2,020	826	1194	677	694	649		
①	性別	1. 男子	826						
		2. 女子	1,194						
	学年	1. 1年	677						
		2. 2年	694						
		3. 3年	649						
②	部活動に参加	1. 運動部に入って熱心に活動している	28.7	37.6	22.5	39.2	32.3	13.7	
		2. 運動部に入っているが、あまり熱心に活動していない	7.1	8.3	6.3	10.7	8.4	1.9	
		3. 文化部に入って熱心に活動している	13.4	7.1	17.8	14.6	17.4	7.7	
		4. 文化部に入っているが、あまり熱心に活動していない	11.1	7.9	13.4	13.4	13.2	6.5	
		5. 以前は入っていたが、今は活動していない	28.1	27.2	28.7	12.5	18.6	54.8	
		6. 入ったことがない	8.8	8.9	8.7	8.3	8.0	10.1	
		7. その他	2.8	3.0	2.6	1.2	2.0	5.2	
③	1か月の思い出	小学校4年生の頃	1. 500円未満	30.0	29.0	30.8	28.8	29.6	31.9
			2. 1000円くらい	22.3	25.5	20.1	21.0	23.0	23.0
			3. 2000～3000円くらい	9.1	10.2	8.3	8.1	9.1	10.0
			4. 4000～5000円くらい	0.8	1.1	0.5	0.6	0.9	0.8
			5. 6000～8000円くらい	0.2	0.4	0.1	0.3	0.3	0.0
			6. 1万円くらい	0.1	0.2	0.0	0.0	0.3	0.0
			7. 2万～3万円くらい	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
			8. 4万円以上	0.3	0.5	0.1	0.2	0.3	0.3
			9. もらっていない	37.2	33.1	40.1	41.0	36.5	34.1
		小学校6年生の頃	1. 500円未満	13.8	15.5	12.6	12.8	13.5	15.0
			2. 1000円くらい	36.6	33.7	38.5	36.0	38.0	35.6
			3. 2000～3000円くらい	18.9	22.5	16.3	19.6	17.3	19.8
			4. 4000～5000円くらい	2.4	2.8	2.1	1.7	2.6	2.8
			5. 6000～8000円くらい	0.3	0.2	0.3	0.3	0.4	0.0
			6. 1万円くらい	0.3	0.5	0.1	0.0	0.4	0.3
			7. 2万～3万円くらい	0.2	0.2	0.1	0.0	0.3	0.2
			8. 4万円以上	0.1	0.2	0.0	0.2	0.1	0.0
			9. もらっていない	27.7	24.3	30.1	29.5	27.3	26.3
	中学校1年生の頃	1. 500円未満	1.4	2.4	0.7	0.9	1.7	1.6	
		2. 1000円くらい	25.4	23.7	26.5	28.0	25.3	22.7	
		3. 2000～3000円くらい	43.2	44.6	42.2	42.3	44.5	42.7	
		4. 4000～5000円くらい	10.7	14.1	8.4	8.5	9.1	14.8	
		5. 6000～8000円くらい	1.1	0.9	1.2	0.9	1.2	1.1	
		6. 1万円くらい	0.6	0.7	0.5	0.1	0.7	0.9	
		7. 2万～3万円くらい	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	
		8. 4万円以上	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3	0.0	
		9. もらっていない	17.5	13.2	20.5	19.1	17.1	16.2	
	中学校3年生の頃	1. 500円未満	1.1	2.0	0.4	0.6	1.2	1.4	
		2. 1000円くらい	7.0	6.8	7.0	9.1	6.1	5.7	
		3. 2000～3000円くらい	47.6	45.7	48.9	50.5	47.8	44.3	
		4. 4000～5000円くらい	22.4	25.3	20.4	18.7	22.9	25.9	
		5. 6000～8000円くらい	3.9	5.1	3.0	2.7	3.9	5.0	
		6. 1万円くらい	2.1	2.3	1.9	1.3	1.6	3.3	
		7. 2万～3万円くらい	0.1	0.2	0.0	0.0	0.3	0.0	
		8. 4万円以上	0.2	0.4	0.1	0.1	0.4	0.0	
		9. もらっていない	15.8	12.1	18.3	16.9	15.9	14.4	

資料2 学年・性別集計表

質問項目			全 体	性 別		学 年 別				
				男 子	女 子	1 年	2 年	3 年		
③	1 か月のお小遣い	現 在	1. 500円未満	0.6	1.1	0.3	0.4	0.6	0.9	
			2. 1000円くらい	1.0	1.1	0.9	1.3	1.0	0.6	
			3. 2000～3000円くらい	10.3	8.9	11.2	16.2	9.2	5.2	
			4. 4000～5000円くらい	36.3	36.8	36.0	41.9	34.4	32.5	
			5. 6000～8000円くらい	17.3	18.3	16.5	12.8	18.9	20.2	
			6. 1万円くらい	17.6	20.1	15.8	12.6	18.5	21.7	
			7. 2万～3万円くらい	1.7	2.0	1.6	0.4	2.0	2.8	
			8. 4万円以上	0.2	0.2	0.3	0.0	0.6	0.2	
			9. もらっていない	15.0	11.5	17.4	14.3	14.7	15.9	
④	現在アルバイトをしているか		1. はい	6.8	6.6	7.0	5.3	7.0	8.2	
			2. いいえ	93.2	93.4	93.0	94.7	93.0	91.8	
	はい」と答えた人	1 か月の収入	1. 1000～5000円	11.2	6.3	14.3	6.1	17.8	8.5	
			2. 6000～20000円	15.2	14.6	15.6	18.2	6.7	21.3	
			3. 21000～30000円	30.4	29.2	31.2	39.4	42.2	12.8	
			4. 31000～50000円	30.4	29.2	31.2	27.3	26.7	36.2	
			5. 51000円以上	12.8	20.8	7.8	9.1	6.7	21.3	
	アルバイトをして金銭を稼いだこと	稼いだ金額	1. ある	31.0	28.6	32.7	15.7	31.5	46.3	
			2. ない	69.0	71.4	67.3	84.3	68.5	53.7	
			1. 1万～5万円	42.5	40.0	44.0	58.4	47.6	32.6	
2. 6万～10万円			21.8	23.6	20.7	28.7	20.9	20.0		
3. 11万～20万円			13.7	15.0	12.9	8.9	16.5	13.3		
⑤	自分の貯金があるか		1. ある	71.8	67.7	74.5	75.0	74.0	66.1	
			2. ない	28.2	32.3	25.5	25.0	26.0	33.9	
	ある」と答えた人	金額	1. 1万～5万円	30.6	31.2	30.1	28.7	33.1	29.7	
			2. 6万～10万円	23.8	26.9	21.6	21.7	24.5	25.4	
			3. 11万～20万円	23.6	19.6	26.5	26.4	18.6	26.2	
			4. 21万～50万円	16.4	15.5	17.1	16.7	17.9	14.4	
			5. 51万円以上	5.5	6.8	4.6	6.5	5.9	4.3	
	⑥	次のようなものを買うとき、どのようなお金を使つか	本や雑誌	1. 毎月決められたお小遣い	72.2	76.3	69.4	75.1	71.8	69.7
				2. そのつど親からもらうお金	12.0	9.7	13.5	11.0	12.1	12.9
				3. 自分の預金やアルバイト代など	11.0	9.1	12.3	9.8	10.7	12.6
4. 使わなく買わない)				4.8	4.9	4.8	4.2	5.5	4.8	
MCD		1. 毎月決められたお小遣い	63.4	70.2	58.7	65.3	64.5	60.2		
		2. そのつど親からもらうお金	10.2	7.4	12.2	11.0	8.5	11.3		
		3. 自分の預金やアルバイト代など	13.5	11.4	15.0	12.4	12.0	16.4		
		4. 使わなく買わない)	12.8	10.9	14.1	11.3	15.0	12.1		
昼食		1. 毎月決められたお小遣い	13.9	13.7	14.1	14.7	14.1	13.0		
		2. そのつど親からもらうお金	75.0	73.6	76.0	75.5	73.0	76.6		
		3. 自分の預金やアルバイト代など	2.6	2.6	2.7	2.4	2.5	3.1		
		4. 使わなく買わない)	8.4	10.1	7.2	7.4	10.4	7.3		
問題集や参考書		1. 毎月決められたお小遣い	8.1	8.4	7.8	5.0	8.5	10.7		
		2. そのつど親からもらうお金	72.8	68.4	75.8	75.8	67.9	74.8		
		3. 自分の預金やアルバイト代など	3.2	3.0	3.3	2.5	3.2	3.9		
		4. 使わなく買わない)	16.0	20.2	13.1	16.6	20.4	10.6		
文房具		1. 毎月決められたお小遣い	41.6	33.7	47.1	39.4	42.8	42.8		
		2. そのつど親からもらうお金	46.4	53.3	41.6	50.1	45.7	43.2		
		3. 自分の預金やアルバイト代など	7.0	4.9	8.4	6.2	6.4	8.4		
		4. 使わなく買わない)	5.0	8.1	2.9	4.3	5.2	5.6		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
7	次のようなものを買うとき、どのようなお金を使うか	校塾・月謝備	1. 毎月決められたお小遣い	0.7	1.1	0.3	0.1	0.7	1.1
			2. そのつど親からもらうお金	50.7	48.2	52.5	56.3	43.9	52.2
			3. 自分の預金やアルバイト代など	0.8	0.9	0.7	0.4	0.4	1.4
			4. 使わない(買わない)	47.9	49.9	46.5	43.2	54.9	45.3
		容美容・理代	1. 毎月決められたお小遣い	9.0	5.4	11.5	6.7	9.1	11.3
			2. そのつど親からもらうお金	78.3	81.8	75.9	84.3	76.3	74.2
			3. 自分の預金やアルバイト代など	6.7	3.4	8.9	4.3	6.5	9.3
			4. 使わない(買わない)	6.0	9.5	3.6	4.7	8.1	5.1
		通学定期	1. 毎月決められたお小遣い	1.7	2.3	1.3	1.0	1.9	2.2
			2. そのつど親からもらうお金	58.0	52.4	61.9	58.9	56.0	59.3
			3. 自分の預金やアルバイト代など	0.9	1.1	0.8	0.3	1.2	1.2
			4. 使わない(買わない)	39.4	44.2	36.0	39.8	41.0	37.3
	やに休日バス代電遊	1. 毎月決められたお小遣い	50.8	55.5	47.6	52.2	52.2	47.9	
		2. そのつど親からもらうお金	31.6	26.3	35.2	32.9	29.6	32.4	
		3. 自分の預金やアルバイト代など	12.1	10.2	13.4	9.1	12.6	14.7	
		4. 使わない(買わない)	5.5	7.9	3.8	5.8	5.6	5.0	
	連部の活費動用関	1. 毎月決められたお小遣い	4.1	5.3	3.2	2.4	5.6	4.2	
		2. そのつど親からもらうお金	70.0	68.2	71.2	77.0	63.1	69.9	
		3. 自分の預金やアルバイト代など	1.7	2.4	1.2	0.7	2.5	1.9	
		4. 使わない(買わない)	24.3	24.1	24.4	19.9	28.8	24.0	
	材学校の教	1. 毎月決められたお小遣い	1.0	1.7	0.6	0.6	0.7	1.9	
		2. そのつど親からもらうお金	96.1	93.7	97.7	97.3	95.7	95.2	
		3. 自分の預金やアルバイト代など	0.8	1.5	0.3	0.1	1.0	1.2	
		4. 使わない(買わない)	2.1	3.2	1.3	1.9	2.6	1.7	
	どパシのシャツ衣ツツ類なや	1. 毎月決められたお小遣い	20.2	22.4	18.7	19.5	20.1	21.1	
		2. そのつど親からもらうお金	67.8	65.0	69.7	71.9	67.8	63.4	
		3. 自分の預金やアルバイト代など	10.6	9.7	11.3	7.4	10.8	13.8	
		4. 使わない(買わない)	1.4	2.9	0.3	1.2	1.3	1.7	
靴イスなどのカ	1. 毎月決められたお小遣い	21.9	29.9	16.4	18.7	21.8	25.4		
	2. そのつど親からもらうお金	62.2	52.9	68.6	70.0	62.8	53.3		
	3. 自分の預金やアルバイト代など	14.5	14.3	14.7	10.3	14.0	19.6		
	4. 使わない(買わない)	1.4	2.9	0.3	1.0	1.4	1.7		
食外友代食人・軽の	1. 毎月決められたお小遣い	59.0	62.1	56.9	58.9	59.8	58.3		
	2. そのつど親からもらうお金	25.5	22.7	27.3	28.7	23.9	23.7		
	3. 自分の預金やアルバイト代など	13.5	11.9	14.6	10.7	13.4	16.6		
	4. 使わない(買わない)	2.0	3.3	1.2	1.8	2.9	1.4		
ケイ映ツッ画のや代チラ	1. 毎月決められたお小遣い	52.3	55.3	50.2	54.5	52.7	49.6		
	2. そのつど親からもらうお金	14.2	11.2	16.2	16.2	12.2	14.1		
	3. 自分の預金やアルバイト代など	18.4	14.4	21.2	15.6	17.6	22.3		
	4. 使わない(買わない)	15.1	19.1	12.4	13.7	17.4	14.1		
8	ちようぐよい値段	コンパ	1. 300円くらい	5.5	7.0	4.4	5.0	6.8	4.7
			2. 500円くらい	3.6	3.1	3.9	4.0	4.5	2.1
			3. 800円くらい	3.3	1.9	4.4	3.4	3.2	3.4
			4. 1000円くらい	23.0	18.2	26.3	24.5	23.5	20.8
			5. 2000円くらい	26.9	23.7	29.2	26.8	25.7	28.4
			6. 3000円くらい	23.6	26.1	21.8	22.0	21.8	27.1
			7. 4000円くらい	3.5	4.5	2.8	2.3	3.8	4.2
			8. 5000円くらい	7.0	10.2	4.7	8.2	6.5	6.2
			9. 1万円くらい	3.7	5.5	2.5	3.9	4.2	3.1

## 資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別			
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	
⑧ ち ょ う ど よ い 値 段	デートにかかる費用	1. 300円くらい	3.0	4.4	2.1	2.6	3.6	2.9
		2. 500円くらい	1.5	1.1	1.8	1.5	1.5	1.4
		3. 800円くらい	1.5	1.0	1.9	2.3	1.3	1.0
		4. 1000円くらい	13.7	11.7	15.1	12.7	13.9	14.3
		5. 2000円くらい	23.2	19.0	26.2	25.8	22.9	20.9
		6. 3000円くらい	28.9	24.7	31.8	27.3	29.2	30.1
		7. 4000円くらい	6.8	8.1	5.8	6.8	6.6	6.9
		8. 5000円くらい	15.8	20.8	12.3	15.8	16.8	14.7
		9. 1万円くらい	5.6	9.1	3.2	5.1	4.2	7.7
	T 体 シ ャ ツ 祭 の ク ラ ス の	1. 300円くらい	12.9	15.7	11.0	13.9	13.7	11.1
		2. 500円くらい	17.0	12.8	19.8	19.8	16.8	14.2
		3. 800円くらい	9.9	7.2	11.7	10.3	9.1	10.3
		4. 1000円くらい	31.8	31.8	31.9	31.1	32.1	32.2
		5. 2000円くらい	22.4	25.0	20.6	19.2	22.7	25.4
		6. 3000円くらい	5.0	5.9	4.4	4.8	4.4	5.8
		7. 4000円くらい	0.3	0.2	0.3	0.5	0.1	0.3
		8. 5000円くらい	0.3	0.4	0.3	0.2	0.7	0.0
		9. 1万円くらい	0.4	1.0	0.0	0.3	0.3	0.6
	被災地への募金	1. 300円くらい	45.3	45.9	44.9	49.5	47.2	39.0
		2. 500円くらい	29.3	28.3	29.9	28.4	27.0	32.6
		3. 800円くらい	3.1	2.5	3.6	2.9	3.7	2.8
		4. 1000円くらい	15.4	14.2	16.1	12.1	16.3	17.8
		5. 2000円くらい	2.6	3.5	2.0	2.6	2.6	2.7
		6. 3000円くらい	1.3	0.9	1.5	1.7	0.9	1.3
		7. 4000円くらい	0.3	0.4	0.2	0.3	0.1	0.3
		8. 5000円くらい	0.6	0.5	0.7	0.6	0.6	0.6
		9. 1万円くらい	2.2	3.8	1.0	2.1	1.6	2.8
	クラス遠足	1. 300円くらい	12.4	16.1	9.9	16.0	10.1	11.2
		2. 500円くらい	22.1	17.5	25.2	22.9	24.0	19.1
		3. 800円くらい	9.3	7.2	10.7	9.5	10.0	8.2
		4. 1000円くらい	24.3	24.9	23.9	22.3	24.9	25.9
		5. 2000円くらい	12.6	12.5	12.7	11.1	12.5	14.4
		6. 3000円くらい	9.9	10.7	9.4	6.5	10.7	12.6
		7. 4000円くらい	2.2	2.0	2.4	2.9	1.5	2.4
		8. 5000円くらい	5.6	6.3	5.0	6.9	4.7	5.1
		9. 1万円くらい	1.6	2.7	0.8	2.0	1.6	1.1
学校の売店のパン代	1. 300円くらい	74.8	68.7	79.1	73.9	72.9	77.9	
	2. 500円くらい	21.3	24.9	18.8	22.0	21.9	19.9	
	3. 800円くらい	2.0	3.5	1.0	2.1	2.8	1.1	
	4. 1000円くらい	1.0	1.5	0.7	1.3	1.5	0.2	
	5. 2000円くらい	0.4	0.7	0.2	0.3	0.6	0.3	
	6. 3000円くらい	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.3	
	7. 4000円くらい	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.2	
	8. 5000円くらい	0.2	0.4	0.1	0.1	0.3	0.2	
	9. 1万円くらい	2.5	2.2	2.8	1.5	2.8	3.3	

## 資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年		
⑧	ち よ う ど よ い 値 段	1か月の携帯電話代	1. 300円くらい	3.6	6.8	1.5	2.0	5.3	3.7
			2. 500円くらい	1.1	1.4	0.9	1.1	1.2	1.0
			3. 800円くらい	0.9	0.9	1.0	0.6	1.7	0.5
			4. 1000円くらい	5.0	5.6	4.6	5.5	5.9	3.5
			5. 2000円くらい	9.4	10.0	9.0	10.4	10.5	7.2
			6. 3000円くらい	17.0	15.2	18.3	18.4	16.8	15.7
			7. 4000円くらい	14.1	12.3	15.4	15.2	12.3	14.9
			8. 5000円くらい	35.3	34.9	35.6	33.0	34.3	38.8
			9. 1万円くらい	13.5	13.0	13.9	13.8	12.0	14.8
	コンビニの弁当	1. 300円くらい	25.9	22.4	28.3	24.6	22.6	30.7	
		2. 500円くらい	61.9	60.3	63.1	60.6	64.7	60.4	
		3. 800円くらい	8.7	11.9	6.5	10.3	8.8	7.0	
		4. 1000円くらい	2.6	3.8	1.7	3.6	2.9	1.1	
		5. 2000円くらい	0.7	1.2	0.3	0.9	0.6	0.5	
		6. 3000円くらい	0.2	0.1	0.2	0.0	0.1	0.3	
		7. 4000円くらい	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	
		8. 5000円くらい	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	
		9. 1万円くらい	1.3	1.6	1.1	1.0	1.3	1.6	
	好きな人へのプレゼント	1. 300円くらい	3.1	5.3	1.6	2.8	3.1	3.4	
		2. 500円くらい	1.6	1.5	1.6	3.1	1.3	0.3	
		3. 800円くらい	3.3	1.6	4.5	4.6	3.1	2.2	
		4. 1000円くらい	18.9	13.3	22.8	23.5	18.6	14.4	
		5. 2000円くらい	20.6	19.4	21.4	24.8	21.4	15.4	
		6. 3000円くらい	19.2	18.3	19.8	19.0	17.5	21.3	
		7. 4000円くらい	4.7	7.7	2.6	4.4	4.7	4.8	
		8. 5000円くらい	16.1	16.8	15.6	12.2	16.6	19.6	
		9. 1万円くらい	12.5	16.1	10.1	5.7	13.6	18.6	
	親へのプレゼント	1. 300円くらい	5.8	11.3	2.0	6.2	5.1	6.1	
		2. 500円くらい	4.1	6.0	2.9	5.7	3.8	2.8	
		3. 800円くらい	3.6	2.2	4.5	5.1	4.0	1.6	
		4. 1000円くらい	26.5	22.6	29.2	31.5	25.3	22.6	
		5. 2000円くらい	24.3	23.8	24.7	26.1	25.4	21.4	
		6. 3000円くらい	19.5	17.0	21.3	15.2	20.1	23.4	
		7. 4000円くらい	3.1	3.4	2.9	2.6	2.2	4.6	
		8. 5000円くらい	9.0	9.5	8.8	5.1	9.3	12.9	
		9. 1万円くらい	3.9	4.2	3.7	2.4	4.8	4.6	
映画やライブのチケット	1. 300円くらい	2.9	5.2	1.4	1.7	3.8	3.3		
	2. 500円くらい	2.3	3.6	1.5	2.7	1.6	2.7		
	3. 800円くらい	1.9	1.8	1.9	2.3	1.6	1.7		
	4. 1000円くらい	20.7	21.0	20.4	16.9	23.4	21.6		
	5. 2000円くらい	18.2	20.9	16.3	16.9	16.2	21.6		
	6. 3000円くらい	14.2	15.1	13.6	15.8	12.1	14.7		
	7. 4000円くらい	9.2	7.6	10.4	8.3	10.4	9.0		
	8. 5000円くらい	27.7	21.4	32.2	32.0	27.8	23.2		
	9. 1万円くらい	2.9	3.4	2.5	3.5	3.1	2.1		

## 資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年		
9	親に相談できない金額で買つ	1. 1000円くらい	4.4	2.6	5.6	5.4	4.4	3.3	
		2. 3000円くらい	11.5	6.9	14.8	17.0	8.9	8.7	
		3. 5000円くらい	21.0	15.0	25.2	22.5	22.2	18.3	
		4. 1万円くらい	26.7	26.3	27.0	25.2	27.8	27.0	
		5. 2万円くらい	11.1	12.8	9.9	9.2	12.1	12.0	
		6. 3万円くらい	5.3	8.0	3.5	3.9	5.4	6.7	
		7. 4万円くらい	1.5	2.8	0.6	1.8	1.2	1.6	
		8. 5万円以上	1.9	3.3	0.8	1.1	2.2	2.3	
		9. 特にない	16.6	22.4	12.6	14.0	15.9	20.1	
10	持つていようなもの	1. 自分の部屋	88.2	89.6	87.2	87.4	88.8	88.2	
		2. 自分専用のテレビ	41.1	58.8	28.9	38.5	42.6	42.3	
		3. 携帯電話やPHS	66.5	62.9	69.1	65.4	65.4	69.0	
		4. オーディオ機器(CD・MDなど)	91.1	90.6	91.4	89.1	91.1	93.1	
		5. ポータブルCD・MD	59.3	70.2	51.7	59.0	57.2	61.9	
		6. ギターやピアノなどの楽器	54.8	44.2	62.1	56.1	52.0	56.4	
		7. テレビゲーム	59.8	87.3	40.7	64.5	60.8	53.6	
		8. 自分専用のパソコン	10.5	16.3	6.5	10.8	10.2	10.7	
		9. バイクの免許	11.5	14.5	9.4	5.2	14.6	14.7	
		10. ブランド物など	38.4	31.1	43.5	40.1	38.1	37.0	
11	カード所有している	1. クレジットカード	1.7	3.2	0.7	1.1	1.7	2.4	
		2. キャッシュカード	29.1	27.9	29.8	18.0	31.9	37.7	
		3. プリペイドカード	22.4	26.2	19.9	18.6	21.6	27.4	
		4. お店のメンバーズカード	93.7	93.1	94.2	94.1	93.0	94.1	
		5. お店のサービスカード	85.0	81.3	87.5	87.7	85.1	82.2	
12	高校生がよくすること	お金をかかれるにお	1. とてもそう	13.7	11.3	15.3	14.3	14.3	12.4
			2. わりとそう	35.4	26.3	41.6	35.6	37.6	32.7
			3. どちらともいえない	35.5	37.8	33.8	35.6	33.3	37.7
			4. かなり違う	8.4	12.8	5.3	8.8	6.9	9.5
			5. まったく違う	7.1	11.7	4.0	5.8	7.8	7.8
	CDやMDをお金な	1. とてもそう	10.2	15.2	6.8	10.9	10.3	9.6	
		2. わりとそう	26.8	31.8	23.4	31.3	23.8	25.4	
		3. どちらともいえない	36.1	32.0	38.9	33.9	38.9	35.3	
		4. かなり違う	14.9	10.7	17.8	14.4	12.9	17.6	
		5. まったく違う	11.9	10.3	13.0	9.5	14.2	12.1	
	友人たちをよく	1. とてもそう	15.3	13.9	16.2	17.9	14.0	13.8	
		2. わりとそう	36.6	33.0	39.2	36.1	36.5	37.4	
		3. どちらともいえない	31.0	33.2	29.5	29.8	32.0	31.3	
		4. かなり違う	10.7	11.9	9.9	11.0	10.3	11.0	
		5. まったく違う	6.3	8.0	5.1	5.2	7.2	6.5	
	コンビニをぶ	1. とてもそう	13.3	14.7	12.3	15.4	13.0	11.5	
		2. わりとそう	29.3	28.5	29.9	29.0	28.7	30.4	
		3. どちらともいえない	29.5	29.6	29.5	28.3	31.1	29.2	
		4. かなり違う	16.1	14.0	17.5	17.5	14.5	16.3	
		5. まったく違う	11.7	13.2	10.7	9.9	12.7	12.6	
	ヨウツイピンドーをシ	1. とてもそう	14.1	5.8	19.8	16.2	12.1	13.9	
		2. わりとそう	25.6	15.0	32.9	24.7	25.5	26.5	
		3. どちらともいえない	34.4	40.3	30.3	36.2	36.3	30.4	
		4. かなり違う	13.1	18.3	9.5	11.1	13.3	15.0	
		5. まったく違う	12.9	20.6	7.6	11.7	12.8	14.2	

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
12	高校生がよくすること	ゼイトのとき	1. とてもそう	3.9	4.8	3.2	2.6	4.0	5.1
			2. わりとそう	10.9	13.7	8.9	10.9	11.7	10.0
			3. どちらともいえない	50.9	51.2	50.7	53.0	51.5	48.2
			4. かなり違う	11.1	10.0	11.8	10.6	10.2	12.5
			5. まったく違う	23.3	20.2	25.4	22.9	22.6	24.3
		夜の街をぶらぶらする	1. とてもそう	4.2	7.3	2.1	3.0	4.7	5.1
			2. わりとそう	9.9	13.4	7.4	9.5	10.2	10.0
			3. どちらともいえない	27.4	31.0	24.9	30.8	24.6	26.7
			4. かなり違う	19.4	21.0	18.4	18.9	21.4	17.9
			5. まったく違う	39.1	27.3	47.2	37.7	39.2	40.3
		ゲームにお金をかけた	1. とてもそう	3.3	6.3	1.2	3.4	4.1	2.3
			2. わりとそう	7.7	15.0	2.7	9.1	6.4	7.8
			3. どちらともいえない	15.5	27.4	7.3	16.8	17.8	11.6
			4. かなり違う	10.9	16.4	7.0	10.8	12.2	9.5
			5. まったく違う	62.6	34.9	81.9	59.9	59.6	68.8
13	次のようなものを買うとき、どのような情報をもとに選ぶか	CD	1. テレビや雑誌のコマーシャル	65.6	57.7	71.0	70.7	62.8	63.1
			2. 友だちからの情報	8.2	10.8	6.4	7.1	8.3	9.3
			3. 家族からの情報	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.6
			4. 店頭でみて	10.2	13.6	7.8	8.3	10.9	11.3
			5. 何となく	8.1	10.1	6.7	7.0	8.3	9.1
			6. 買わない	7.4	7.2	7.6	6.4	9.3	6.5
		ルシャーパーブ文房具シ	1. テレビや雑誌のコマーシャル	1.8	2.2	1.5	1.9	2.0	1.4
			2. 友だちからの情報	3.1	2.9	3.2	3.7	2.9	2.6
			3. 家族からの情報	0.2	0.5	0.1	0.3	0.1	0.3
			4. 店頭でみて	70.6	60.3	77.7	72.6	70.8	68.2
			5. 何となく	19.5	26.6	14.5	18.2	19.4	20.8
			6. 買わない	4.8	7.4	3.0	3.3	4.6	6.7
		かばん	1. テレビや雑誌のコマーシャル	18.1	18.4	17.8	16.5	16.2	21.7
			2. 友だちからの情報	5.1	6.7	4.0	5.3	6.1	3.7
			3. 家族からの情報	0.9	1.2	0.7	1.0	1.2	0.5
			4. 店頭でみて	63.7	52.6	71.4	66.6	64.1	60.3
			5. 何となく	7.3	11.5	4.4	6.7	7.6	7.6
			6. 買わない	4.9	9.5	1.8	3.9	4.8	6.2
		靴	1. テレビや雑誌のコマーシャル	22.7	26.4	20.2	21.0	22.0	25.3
			2. 友だちからの情報	4.3	5.4	3.6	4.5	5.7	2.8
			3. 家族からの情報	0.9	0.9	1.0	1.0	1.3	0.5
			4. 店頭でみて	64.6	55.3	71.1	67.8	63.9	62.1
			5. 何となく	5.2	8.4	3.0	3.7	5.2	6.8
			6. 買わない	2.1	3.7	1.1	2.1	1.9	2.5
シャツ	1. テレビや雑誌のコマーシャル	17.3	18.6	16.4	16.6	16.8	18.6		
	2. 友だちからの情報	2.7	4.3	1.7	2.8	3.5	1.9		
	3. 家族からの情報	1.0	1.6	0.6	1.5	1.0	0.5		
	4. 店頭でみて	70.6	62.5	76.1	71.8	70.2	69.6		
	5. 何となく	5.7	8.8	3.6	5.2	5.8	6.2		
	6. 買わない	2.6	4.3	1.5	2.1	2.6	3.3		
ジーンズ	1. テレビや雑誌のコマーシャル	15.4	18.0	13.6	15.2	15.4	15.7		
	2. 友だちからの情報	3.0	5.0	1.6	2.8	3.6	2.5		
	3. 家族からの情報	0.9	1.0	0.9	1.5	1.0	0.3		
	4. 店頭でみて	69.3	59.4	76.2	71.8	67.8	68.3		
	5. 何となく	5.2	8.4	2.9	4.3	5.1	6.2		
	6. 買わない	6.2	8.2	4.8	4.5	7.1	7.0		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
13	次のようなものを買ったとき、どのような情報をもとに選ぶか	楽器	1. テレビや雑誌のコマーシャル	8.3	12.1	5.7	9.5	7.6	7.8
			2. 友だちからの情報	3.5	4.9	2.6	4.9	3.5	2.2
			3. 家族からの情報	1.4	1.0	1.8	1.9	1.3	1.1
			4. 店頭でみて	19.2	20.1	18.6	21.3	17.3	19.2
			5. 何となく	3.3	4.8	2.3	3.3	2.9	3.7
			6. 買わない	64.2	57.2	69.0	59.1	67.4	66.0
		雑誌	1. テレビや雑誌のコマーシャル	10.3	13.5	8.0	9.8	11.9	9.0
			2. 友だちからの情報	7.1	7.8	6.7	8.6	9.0	3.6
			3. 家族からの情報	0.6	0.7	0.6	0.4	0.7	0.8
			4. 店頭でみて	61.4	53.7	66.8	63.6	57.6	63.2
			5. 何となく	13.7	16.7	11.6	11.7	13.9	15.4
			6. 買わない	6.9	7.6	6.4	5.8	6.8	8.1
		化粧品	1. テレビや雑誌のコマーシャル	23.2	7.0	34.3	22.2	22.7	24.7
			2. 友だちからの情報	7.0	2.3	10.3	6.1	8.4	6.5
			3. 家族からの情報	1.3	1.0	1.6	1.9	1.5	0.6
			4. 店頭でみて	27.2	13.4	36.6	27.9	25.2	28.6
			5. 何となく	5.2	6.7	4.1	6.0	4.9	4.7
			6. 買わない	36.1	69.6	13.1	35.9	37.3	34.9
シャンプー 整髪剤	1. テレビや雑誌のコマーシャル	28.5	15.5	37.5	30.1	27.5	27.9		
	2. 友だちからの情報	7.7	5.7	9.1	8.7	7.4	7.0		
	3. 家族からの情報	3.3	2.8	3.6	3.6	3.3	2.9		
	4. 店頭でみて	35.9	35.7	36.0	36.4	34.9	36.3		
	5. 何となく	10.0	14.7	6.7	8.6	10.8	10.5		
	6. 買わない	14.7	25.6	7.2	12.6	16.1	15.3		
14	次のようなものをどれくらい利用するか	（専門店） ショップ	1. よく利用する	52.7	55.3	50.8	54.2	50.7	53.3
			2. ときどき利用する	39.1	37.7	40.1	37.8	40.3	39.1
			3. ほとんど利用しない	6.5	4.9	7.7	6.2	7.1	6.2
			4. 利用しない	1.7	2.1	1.4	1.8	1.9	1.4
		スーパー	1. よく利用する	16.4	10.7	20.2	15.6	15.6	17.9
			2. ときどき利用する	39.7	34.1	43.6	39.9	38.1	41.3
			3. ほとんど利用しない	34.1	38.7	31.0	35.8	35.9	30.6
			4. 利用しない	9.8	16.5	5.1	8.8	10.4	10.1
		コンビニ	1. よく利用する	53.1	57.1	50.3	54.1	52.2	53.0
			2. ときどき利用する	38.1	34.5	40.6	36.4	39.3	38.7
			3. ほとんど利用しない	7.0	5.5	8.0	7.7	6.9	6.2
			4. 利用しない	1.8	2.9	1.0	1.8	1.6	2.0
		デパート	1. よく利用する	25.0	10.1	35.3	24.0	27.6	23.2
			2. ときどき利用する	42.9	41.8	43.7	43.2	43.6	42.0
			3. ほとんど利用しない	24.8	35.6	17.4	26.5	22.0	26.2
			4. 利用しない	7.2	12.5	3.6	6.3	6.8	8.6
		デパート トウ デ ア ー ス カ	1. よく利用する	14.6	12.6	16.0	14.3	14.2	15.5
			2. ときどき利用する	37.3	38.4	36.4	36.7	38.7	36.3
			3. ほとんど利用しない	34.2	34.1	34.3	34.3	32.4	36.1
			4. 利用しない	13.9	14.8	13.2	14.6	14.8	12.1
		通信販売	1. よく利用する	3.2	2.9	3.4	3.3	3.8	2.6
			2. ときどき利用する	16.1	11.5	19.3	15.1	17.9	15.1
			3. ほとんど利用しない	25.8	22.7	28.0	29.1	24.9	23.5
			4. 利用しない	54.9	62.9	49.3	52.5	53.5	58.8
ネット タ ー	1. よく利用する	1.9	3.4	0.8	1.8	2.2	1.7		
	2. ときどき利用する	4.9	6.6	3.7	4.4	5.4	4.8		
	3. ほとんど利用しない	9.1	11.3	7.5	10.5	6.9	9.8		
	4. 利用しない	84.2	78.7	88.0	83.3	85.5	83.7		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
15	次のようなものがあると、すぐ買う方か	CD	1. すぐ買う	21.6	29.1	16.4	22.9	22.0	19.8
			2. ちよつとがまんする	37.1	35.0	38.6	41.0	35.7	34.5
			3. かなりがまんする	15.3	14.4	16.0	13.5	14.6	18.1
			4. ほとんど買わない	26.0	21.6	29.0	22.6	27.7	27.6
		雑誌	1. すぐ買う	37.8	37.0	38.4	43.9	36.0	33.5
			2. ちよつとがまんする	36.3	33.1	38.4	35.6	36.7	36.5
			3. かなりがまんする	8.8	11.4	6.9	6.5	9.5	10.3
			4. ほとんど買わない	17.1	18.4	16.3	14.1	17.8	19.7
		用品・スポーツ	1. すぐ買う	5.1	8.4	2.9	6.4	5.4	3.6
			2. ちよつとがまんする	20.7	30.2	14.2	25.0	21.9	15.0
			3. かなりがまんする	13.6	19.3	9.6	13.6	14.6	12.3
			4. ほとんど買わない	60.6	42.1	73.4	55.0	58.2	69.1
	文房具・新しい	1. すぐ買う	17.6	12.9	20.9	18.2	17.1	17.7	
		2. ちよつとがまんする	26.8	21.7	30.3	28.1	27.0	25.2	
		3. かなりがまんする	15.7	17.8	14.3	16.7	15.8	14.7	
		4. ほとんど買わない	39.8	47.5	34.5	36.9	40.2	42.5	
	靴の下駄や物など	1. すぐ買う	13.1	7.4	17.1	13.2	12.9	13.3	
		2. ちよつとがまんする	30.9	19.3	38.9	33.8	31.6	27.0	
		3. かなりがまんする	17.4	18.2	16.9	17.2	17.1	18.0	
		4. ほとんど買わない	38.6	55.1	27.1	35.8	38.4	41.7	
	飲食・食べ物	1. すぐ買う	43.8	42.0	45.0	48.7	40.9	41.7	
		2. ちよつとがまんする	41.3	38.2	43.5	38.8	41.6	43.7	
		3. かなりがまんする	10.4	13.9	8.0	9.3	12.1	9.7	
		4. ほとんど買わない	4.5	6.0	3.5	3.1	5.3	5.0	
	化粧品	1. すぐ買う	13.4	4.7	19.4	13.5	13.2	13.4	
		2. ちよつとがまんする	32.8	12.3	46.9	33.0	32.8	32.7	
		3. かなりがまんする	12.0	9.2	14.0	11.1	11.5	13.6	
		4. ほとんど買わない	41.8	73.8	19.8	42.3	42.5	40.3	
参考書・問題集	1. すぐ買う	13.2	10.6	15.1	10.5	10.6	19.0		
	2. ちよつとがまんする	24.5	22.6	25.8	20.4	23.0	30.4		
	3. かなりがまんする	9.4	13.2	6.7	9.0	9.8	9.2		
	4. ほとんど買わない	52.9	53.7	52.4	60.1	56.6	41.3		
ソフト	1. すぐ買う	5.4	10.5	1.9	5.5	6.2	4.5		
	2. ちよつとがまんする	12.5	23.9	4.5	14.5	12.0	10.8		
	3. かなりがまんする	12.6	21.3	6.6	13.2	14.7	9.7		
	4. ほとんど買わない	69.5	44.3	87.0	66.8	67.1	75.0		
16	1	値段	1. とでも気にする	31.2	32.8	30.1	34.2	31.0	28.3
			2. かなり気にする	23.9	22.0	25.3	23.5	24.6	23.6
			3. あまり気にしない	37.3	34.3	39.5	35.5	37.7	38.9
			4. ぜんぜん気にしない	7.5	11.0	5.1	6.8	6.7	9.2
	添加物	1. とでも気にする	8.2	8.0	8.2	7.1	8.8	8.6	
		2. かなり気にする	15.5	14.4	16.3	12.3	17.3	17.0	
		3. あまり気にしない	43.4	37.5	47.5	41.3	43.8	45.2	
		4. ぜんぜん気にしない	32.9	40.1	27.9	39.3	30.1	29.2	
	どよ健康にかか	1. とでも気にする	13.2	12.2	13.8	10.5	14.0	15.0	
		2. かなり気にする	24.5	21.9	26.3	23.5	25.0	25.0	
		3. あまり気にしない	40.0	38.2	41.2	38.8	41.4	39.8	
		4. ぜんぜん気にしない	22.3	27.7	18.6	27.2	19.5	20.2	
	の世の中	1. とでも気にする	7.2	6.8	7.4	8.0	7.2	6.2	
		2. かなり気にする	20.3	18.3	21.7	23.1	19.7	17.9	
		3. あまり気にしない	43.8	41.2	45.6	43.0	43.6	44.8	
		4. ぜんぜん気にしない	28.8	33.7	25.3	25.8	29.5	30.1	

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
16 1	次のものを買つとき、どのくらい気にするか（清涼飲料水）	ザ容器のデザイン	1. とても気にする	7.2	7.1	7.3	8.3	7.7	5.6
			2. かなり気にする	16.9	14.6	18.6	17.9	16.6	16.3
			3. あまり気にしない	43.9	40.3	46.4	42.8	44.0	45.1
			4. ぜんぜん気にしない	31.9	38.0	27.7	31.1	31.7	33.0
		味	1. とても気にする	76.8	74.7	78.3	81.5	74.0	75.0
			2. かなり気にする	19.6	19.4	19.7	15.8	21.7	21.3
			3. あまり気にしない	2.5	3.5	1.8	1.3	3.3	2.8
			4. ぜんぜん気にしない	1.1	2.4	0.2	1.3	1.0	0.9
		量 中身の	1. とても気にする	35.2	41.8	30.7	39.3	34.9	31.4
			2. かなり気にする	35.1	33.5	36.2	34.1	33.7	37.7
			3. あまり気にしない	25.0	18.9	29.2	23.3	26.5	25.2
			4. ぜんぜん気にしない	4.7	5.8	3.9	3.4	4.9	5.8
		名メーカー	1. とても気にする	6.5	8.2	5.3	6.2	6.1	7.2
			2. かなり気にする	12.7	15.1	11.0	12.5	13.2	12.3
			3. あまり気にしない	44.1	39.0	47.6	42.6	45.2	44.5
			4. ぜんぜん気にしない	36.7	37.7	36.1	38.7	35.5	35.9
新製品	1. とても気にする	30.0	29.4	30.5	31.4	29.2	29.5		
	2. かなり気にする	32.6	31.2	33.6	33.3	33.4	31.1		
	3. あまり気にしない	24.6	22.8	25.8	22.6	26.3	24.7		
	4. ぜんぜん気にしない	12.8	16.7	10.1	12.7	11.1	14.7		
カロリー	1. とても気にする	24.9	8.2	36.4	22.5	26.0	26.1		
	2. かなり気にする	20.2	12.3	25.7	20.3	19.5	20.9		
	3. あまり気にしない	30.6	35.4	27.2	31.4	31.5	28.8		
	4. ぜんぜん気にしない	24.4	44.1	10.7	25.9	23.0	24.2		
16 2	文房具（ペンケースやシャープペンシルなど）	値段	1. とても気にする	38.6	32.9	42.6	41.3	37.7	36.9
			2. かなり気にする	31.3	27.9	33.7	34.3	30.0	29.6
			3. あまり気にしない	22.7	24.5	21.4	18.9	24.8	24.3
			4. ぜんぜん気にしない	7.4	14.6	2.4	5.5	7.5	9.2
		材質	1. とても気にする	21.8	17.6	24.7	21.9	23.1	20.2
			2. かなり気にする	27.6	25.4	29.2	27.4	25.4	30.4
			3. あまり気にしない	33.9	31.1	35.8	31.7	37.5	32.2
			4. ぜんぜん気にしない	16.7	26.0	10.4	19.1	14.0	17.2
		世の中流行の	1. とても気にする	10.4	8.0	12.0	16.1	8.4	6.6
			2. かなり気にする	17.2	13.0	20.1	20.4	16.5	14.6
			3. あまり気にしない	44.4	38.2	48.8	40.4	46.6	46.3
			4. ぜんぜん気にしない	28.0	40.7	19.1	23.0	28.6	32.6
		キャラクター	1. とても気にする	13.5	6.7	18.1	19.0	11.8	9.4
			2. かなり気にする	19.4	11.6	24.8	19.0	21.2	17.9
			3. あまり気にしない	33.6	32.6	34.3	33.3	33.5	34.1
			4. ぜんぜん気にしない	33.5	49.1	22.7	28.7	33.4	38.6
ザ色やデザイン	1. とても気にする	47.6	31.0	59.1	56.2	45.6	40.7		
	2. かなり気にする	35.6	38.4	33.7	31.7	37.2	38.0		
	3. あまり気にしない	9.8	15.5	5.8	7.8	10.1	11.4		
	4. ぜんぜん気にしない	7.0	15.1	1.4	4.3	7.1	9.9		
サイズ	1. とても気にする	32.4	24.1	38.0	33.0	31.3	32.9		
	2. かなり気にする	39.1	37.4	40.2	37.0	40.5	39.7		
	3. あまり気にしない	19.7	22.1	18.1	21.3	19.8	18.0		
	4. ぜんぜん気にしない	8.8	16.3	3.6	8.7	8.4	9.4		
使いやすさ	1. とても気にする	57.2	46.7	64.5	53.6	54.4	64.2		
	2. かなり気にする	30.2	33.5	27.9	33.1	32.0	25.0		
	3. あまり気にしない	8.2	10.9	6.4	9.8	8.8	5.9		
	4. ぜんぜん気にしない	4.4	8.9	1.3	3.6	4.8	4.9		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
16 2	文房具(ペンシルなど)	ブランド	1. とても気に入る	7.3	5.7	8.3	8.5	7.5	5.8
			2. かなり気に入る	11.4	8.4	13.4	12.5	11.6	10.0
			3. あまり気に入らない	40.7	36.4	43.7	41.8	40.7	39.6
			4. ぜんぜん気に入らない	40.6	49.4	34.6	37.2	40.2	44.6
		新製品	1. とても気に入る	12.9	12.1	13.5	14.4	13.0	11.3
			2. かなり気に入る	20.9	16.6	23.9	23.9	22.7	16.0
			3. あまり気に入らない	36.0	32.2	38.6	36.6	34.4	37.1
			4. ぜんぜん気に入らない	30.2	39.1	23.9	25.2	29.9	35.7
	がまか持つりのかい人	1. とても気に入る	11.2	9.3	12.5	14.3	10.8	8.2	
		2. かなり気に入る	16.5	12.7	19.1	18.9	16.9	13.3	
		3. あまり気に入らない	34.5	31.0	36.9	34.2	35.0	34.3	
		4. ぜんぜん気に入らない	37.9	47.1	31.5	32.5	37.3	44.2	
16 3	シヤンブー	値段	1. とても気に入る	34.3	22.5	42.5	37.4	32.4	33.1
			2. かなり気に入る	30.5	22.9	35.8	30.3	29.0	32.3
			3. あまり気に入らない	23.6	30.9	18.6	22.2	26.9	21.7
			4. ぜんぜん気に入らない	11.5	23.7	3.1	10.1	11.8	12.9
		材料	1. とても気に入る	17.7	11.6	21.9	17.0	17.0	19.2
			2. かなり気に入る	21.7	19.2	23.5	21.3	22.9	20.9
			3. あまり気に入らない	39.7	38.4	40.7	41.1	40.3	37.7
			4. ぜんぜん気に入らない	20.9	30.8	14.0	20.6	19.9	22.3
		世の中	1. とても気に入る	15.8	9.0	20.5	18.2	14.4	14.8
			2. かなり気に入る	28.3	21.3	33.2	32.1	26.4	26.3
			3. あまり気に入らない	33.4	33.5	33.3	30.1	36.4	33.5
			4. ぜんぜん気に入らない	22.5	36.2	13.0	19.6	22.8	25.4
	容器のデザイン	1. とても気に入る	14.3	7.0	19.4	14.9	13.8	14.3	
		2. かなり気に入る	22.4	12.6	29.2	22.3	23.8	21.1	
		3. あまり気に入らない	37.0	38.8	35.8	38.6	37.9	34.3	
		4. ぜんぜん気に入らない	26.2	41.7	15.6	24.1	24.5	30.3	
	効果きめ	1. とても気に入る	57.0	37.9	70.1	60.7	53.5	56.8	
		2. かなり気に入る	28.1	31.5	25.7	27.4	30.4	26.4	
		3. あまり気に入らない	7.4	13.7	3.0	6.1	8.7	7.4	
		4. ぜんぜん気に入らない	7.6	16.9	1.1	5.9	7.4	9.4	
	ブランド	1. とても気に入る	11.7	6.7	15.2	11.1	11.2	12.9	
		2. かなり気に入る	17.9	12.0	21.9	17.2	16.7	19.8	
		3. あまり気に入らない	36.3	34.8	37.3	38.9	37.4	32.3	
		4. ぜんぜん気に入らない	34.1	46.4	25.6	32.7	34.7	35.0	
新製品	1. とても気に入る	21.3	15.2	25.6	23.1	20.2	20.7		
	2. かなり気に入る	27.4	19.6	32.8	29.2	27.6	25.2		
	3. あまり気に入らない	29.0	30.5	28.0	27.3	28.9	30.9		
	4. ぜんぜん気に入らない	22.2	34.8	13.6	20.3	23.3	23.2		
化粧品	がまか持つりのかい人	1. とても気に入る	7.0	5.0	8.3	7.0	7.7	6.1	
		2. かなり気に入る	14.8	10.4	17.8	15.4	15.0	13.8	
		3. あまり気に入らない	40.7	34.7	44.8	39.6	41.7	40.7	
		4. ぜんぜん気に入らない	37.6	49.9	29.1	38.0	35.6	39.3	
	(購入先(販売店))	1. とても気に入る	6.8	6.1	7.2	6.7	5.8	7.9	
		2. かなり気に入る	10.6	8.8	11.9	11.4	9.8	10.7	
		3. あまり気に入らない	43.4	36.9	48.0	45.3	44.4	40.4	
		4. ぜんぜん気に入らない	39.2	48.2	33.0	36.6	40.0	41.0	
	香りや色	1. とても気に入る	37.3	22.0	47.9	40.7	34.8	36.5	
		2. かなり気に入る	32.6	29.2	35.0	33.0	34.0	30.8	
		3. あまり気に入らない	18.6	26.4	13.2	16.6	19.9	19.3	
		4. ぜんぜん気に入らない	11.4	22.4	3.9	9.8	11.3	13.4	



資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
18	買い物に関して、次のようなことがあてはまるか	新しいものが出たりするの速く買い換える	1. とてもあてはまる	4.6	4.9	4.4	3.7	5.7	4.4
		2. わりとあてはまる	18.0	18.0	18.0	22.2	16.3	15.3	
		3. あまりあてはまらない	53.7	51.3	55.4	53.8	53.4	53.9	
		4. ぜんぜんあてはまらない	23.7	25.8	22.3	20.3	24.6	26.4	
	見た目の豪華なものなどをつい買ってしまっ	1. とてもあてはまる	10.6	5.3	14.3	13.0	9.0	9.7	
	2. わりとあてはまる	25.5	16.3	31.9	26.6	26.3	23.4		
	3. あまりあてはまらない	43.6	48.9	40.0	43.2	43.1	44.7		
	4. ぜんぜんあてはまらない	20.3	29.6	13.8	17.2	21.5	22.2		
	友だちが持っているものを手に入れたい	1. とてもあてはまる	2.0	3.3	1.1	1.3	2.3	2.3	
	2. わりとあてはまる	11.6	13.1	10.6	12.4	12.2	10.2		
	3. あまりあてはまらない	47.0	47.2	46.8	49.0	46.6	45.2		
	4. ぜんぜんあてはまらない	39.4	36.4	41.5	37.2	38.9	42.3		
	欲しいものを買う	1. とてもあてはまる	15.8	17.8	14.4	16.3	16.3	14.7	
	2. わりとあてはまる	36.0	35.3	36.5	38.6	34.4	35.0		
	3. あまりあてはまらない	40.6	39.6	41.2	37.8	41.8	42.0		
	4. ぜんぜんあてはまらない	7.7	7.4	7.9	7.3	7.4	8.3		
自分でするだけで長く使う	1. とてもあてはまる	33.3	32.6	33.8	35.7	31.2	33.1		
2. わりとあてはまる	45.5	48.1	43.7	43.0	47.4	46.1			
3. あまりあてはまらない	19.4	17.3	20.8	20.1	19.7	18.2			
4. ぜんぜんあてはまらない	1.8	2.1	1.6	1.2	1.6	2.7			
気味に制限する	1. とてもあてはまる	42.3	41.3	42.9	44.5	38.6	43.8		
2. わりとあてはまる	32.4	28.3	35.2	31.2	34.4	31.5			
3. あまりあてはまらない	18.9	21.7	17.0	17.4	20.7	18.6			
4. ぜんぜんあてはまらない	6.5	8.7	4.9	7.0	6.3	6.1			
健康食品や栄養補助食品を利用する	1. とてもあてはまる	11.5	10.9	11.9	11.1	10.8	12.5		
2. わりとあてはまる	22.4	22.3	22.5	22.8	22.7	21.6			
3. あまりあてはまらない	42.7	42.3	43.0	43.0	43.6	41.4			
4. ぜんぜんあてはまらない	23.4	24.5	22.7	23.1	22.8	24.5			
インスタント食に食べる	1. とてもあてはまる	7.7	5.3	9.3	6.8	7.3	8.9		
2. わりとあてはまる	17.0	14.0	19.2	15.9	16.6	18.7			
3. あまりあてはまらない	45.7	44.6	46.4	44.6	48.5	43.8			
4. ぜんぜんあてはまらない	29.6	36.2	25.1	32.7	27.6	28.6			
食品添加物に注意する	1. とてもあてはまる	9.2	8.9	9.5	8.0	9.2	10.6		
2. わりとあてはまる	22.3	17.7	25.5	20.6	23.5	23.0			
3. あまりあてはまらない	45.8	45.4	46.0	44.8	47.5	44.9			
4. ぜんぜんあてはまらない	22.6	27.9	19.0	26.6	19.8	21.4			
19	ふだんの生活の中で、次のようなことをするか	買ったものを袋に入れて持ち帰らない	1. よくある	8.7	12.8	5.8	8.4	7.9	9.7
		2. ときどきある	33.0	32.0	33.6	28.1	32.1	39.1	
		3. あまりない	23.4	20.7	25.3	22.9	26.7	20.4	
		4. ぜんぜんない	35.0	34.5	35.3	40.5	33.4	30.8	
	スポーツドリンクはや	1. よくある	4.6	6.7	3.1	3.7	4.5	5.7	
	2. ときどきある	13.3	15.0	12.1	10.8	13.1	16.0		
	3. あまりない	36.1	31.3	39.4	32.7	38.2	37.4		
	4. ぜんぜんない	46.1	47.1	45.4	52.8	44.2	41.0		
	洋服などを利用する	1. よくある	4.4	4.4	4.4	3.0	5.1	5.2	
	2. ときどきある	15.6	13.9	16.8	15.0	14.3	17.6		
	3. あまりない	30.0	31.3	29.0	27.6	31.8	30.5		
	4. ぜんぜんない	50.0	50.4	49.8	54.4	48.8	46.7		
	ゴミを分別して捨てる	1. よくある	22.6	19.3	24.9	21.3	21.6	25.1	
	2. ときどきある	28.7	25.3	31.1	25.3	30.5	30.5		
	3. あまりない	28.5	30.5	27.2	30.5	28.9	26.1		
	4. ぜんぜんない	20.1	24.9	16.8	22.9	19.0	18.4		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
19	ふだんの生活の中で、次のようなことをするか	ベッポトルなどリサイクルボックスを持って行く	1. よくある	12.4	9.8	14.2	13.2	11.5	12.6
		2. ときどきある	14.9	14.9	15.0	16.0	14.6	14.2	
		3. あまりない	26.6	26.2	26.9	23.7	28.6	27.4	
		4. ぜんぜんない	46.0	49.1	43.9	47.0	45.3	45.8	
		雑誌はマンガや雑	1. よくある	30.2	22.6	35.5	29.3	28.1	33.5
		2. ときどきある	17.3	16.6	17.8	17.1	18.3	16.5	
		3. あまりない	22.0	23.8	20.8	21.7	23.0	21.4	
		4. ぜんぜんない	30.4	37.0	25.9	31.8	30.7	28.6	
		めに電気をこまめに消す	1. よくある	32.8	29.4	35.1	30.5	31.4	36.7
		2. ときどきある	33.1	31.1	34.5	32.1	34.2	32.9	
		3. あまりない	22.4	23.0	21.9	25.8	22.0	19.2	
		4. ぜんぜんない	11.7	16.4	8.5	11.6	12.4	11.2	
		用いないクーラーを使わない	1. よくある	28.0	27.4	28.4	26.9	25.8	31.4
		2. ときどきある	25.5	22.9	27.3	24.9	27.0	24.5	
3. あまりない	26.6	26.8	26.5	25.5	29.9	24.2			
4. ぜんぜんない	19.9	23.0	17.8	22.7	17.2	19.8			
にテレビをつけない	1. よくある	31.6	32.4	31.1	36.0	31.6	27.0		
2. ときどきある	34.3	31.0	36.5	33.9	34.4	34.5			
3. あまりない	20.5	21.3	20.0	17.7	21.3	22.7			
4. ぜんぜんない	13.6	15.3	12.4	12.4	12.8	15.8			
洗濯機やハミガキをするとき水を流す	1. よくある	17.9	21.8	15.2	17.5	19.1	17.1		
2. ときどきある	21.0	21.7	20.5	22.3	20.4	20.3			
3. あまりない	25.5	24.8	26.0	24.4	28.1	23.7			
4. ぜんぜんない	35.6	31.7	38.3	35.8	32.5	38.8			
20	いから1か月に稼げると思つか	1. 0～5万円	9.5	7.6	10.9	11.0	10.0	7.6	
		2. 6万～10万円	36.6	31.6	40.1	40.3	37.3	32.0	
		3. 11万～20万円	47.6	52.7	44.0	42.0	46.8	54.3	
		4. 21万～30万円	4.5	5.4	3.9	5.0	4.2	4.4	
		5. 31万～50万円	0.8	1.1	0.5	0.8	0.8	0.8	
		6. 51万～100万円	0.6	0.6	0.5	0.6	0.6	0.5	
		7. 101万円以上	0.4	0.9	0.1	0.3	0.5	0.5	
21	25歳くらい	1. 0～5万円	1.1	1.8	0.6	0.6	1.4	1.3	
		2. 6万～10万円	4.9	3.3	6.1	5.5	6.0	3.5	
		3. 11万～20万円	49.7	42.8	54.4	44.7	50.4	54.1	
		4. 21万～30万円	36.8	42.2	33.0	39.0	36.7	34.4	
		5. 31万～50万円	5.4	6.4	4.6	7.6	4.0	4.5	
		6. 51万～100万円	1.4	2.3	0.8	2.0	0.8	1.5	
		7. 101万円以上	0.7	1.2	0.4	0.8	0.8	0.7	
	40歳くらい	1. 0～5万円	0.9	1.0	0.7	0.5	0.9	1.2	
		2. 6万～10万円	1.5	0.8	2.1	1.2	1.9	1.5	
		3. 11万～20万円	14.2	7.4	18.9	14.0	14.0	14.8	
		4. 21万～30万円	40.0	36.7	42.3	38.3	40.2	41.7	
		5. 31万～50万円	37.4	45.1	32.1	38.1	37.9	36.1	
		6. 51万～100万円	4.4	6.5	2.9	6.1	3.6	3.4	
		7. 101万円以上	1.6	2.5	1.0	1.9	1.6	1.3	
	55歳くらい	1. 0～5万円	1.4	1.8	1.2	0.8	1.8	1.9	
		2. 6万～10万円	2.7	0.7	4.1	3.4	2.7	2.0	
		3. 11万～20万円	9.5	5.4	12.2	8.8	10.5	9.1	
		4. 21万～30万円	22.2	18.2	24.9	20.7	22.3	23.6	
		5. 31万～50万円	49.2	53.8	46.0	50.5	49.4	47.5	
		6. 51万～100万円	12.9	17.0	10.2	13.5	11.7	13.7	
		7. 101万円以上	2.1	3.2	1.4	2.3	1.7	2.2	

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
22	両親くらの年齢になったとき、次のような暮らしができるか	車を持つ程度	1. きっとできる	59.6	62.3	57.8	56.0	59.0	64.1
			2. たぶんできる	35.9	32.7	38.2	40.1	35.1	32.3
			3. たぶん無理	3.6	3.6	3.6	3.1	4.7	3.0
			4. 絶対に無理	0.9	1.5	0.4	0.7	1.2	0.6
		家族で月に2、3回、レストランで食事	1. きっとできる	33.2	33.3	33.2	29.5	32.8	37.5
			2. たぶんできる	47.9	44.1	50.5	48.7	48.2	46.7
			3. たぶん無理	15.3	17.1	14.0	18.2	15.3	12.0
			4. 絶対に無理	3.7	5.5	2.4	3.6	3.6	3.8
		1年に2、3回、国内の旅旅行をする	1. きっとできる	16.4	18.5	15.0	18.4	14.6	16.3
			2. たぶんできる	42.3	39.5	44.3	42.4	44.0	40.5
			3. たぶん無理	33.7	32.2	34.7	30.4	34.9	35.8
			4. 絶対に無理	7.6	9.8	6.0	8.8	6.6	7.4
		分一マンションの家を持つ	1. きっとできる	30.9	33.5	29.1	35.6	26.6	30.5
			2. たぶんできる	46.2	42.4	48.9	43.8	50.5	44.2
			3. たぶん無理	18.6	18.5	18.7	17.4	17.7	21.0
			4. 絶対に無理	4.3	5.7	3.3	3.3	5.3	4.3
外旅行をする	1. きっとできる	11.5	13.6	10.0	11.9	10.8	11.7		
	2. たぶんできる	21.1	19.9	21.9	18.8	19.8	25.0		
	3. たぶん無理	44.3	41.4	46.3	45.4	46.5	40.8		
	4. 絶対に無理	23.2	25.2	21.8	24.0	22.9	22.6		
ウセスを持つ	1. きっとできる	4.9	8.0	2.8	3.9	4.2	6.8		
	2. たぶんできる	5.3	6.3	4.7	5.6	5.1	5.2		
	3. たぶん無理	35.3	31.8	37.6	37.4	32.0	36.6		
	4. 絶対に無理	54.5	53.9	54.9	53.1	58.7	51.4		
23	金銭観	らぶしはできる	1. とてもそう思う	55.8	54.7	56.6	56.8	55.5	55.0
			2. まあそう思う	39.3	38.9	39.5	38.4	39.1	40.3
			3. あまりそう思わない	4.2	5.0	3.6	4.2	4.1	4.4
			4. まったくそう思わない	0.8	1.4	0.3	0.6	1.3	0.3
		したたい	1. とてもそう思う	28.3	36.3	22.8	31.3	28.0	25.4
			2. まあそう思う	33.9	35.1	33.1	35.2	31.4	35.2
			3. あまりそう思わない	34.1	25.5	40.0	30.7	36.4	35.2
			4. まったくそう思わない	3.7	3.1	4.2	2.8	4.2	4.2
		を大事にし	1. とてもそう思う	31.3	33.7	29.7	28.5	29.4	36.5
			2. まあそう思う	53.3	47.4	57.4	54.2	54.5	51.1
			3. あまりそう思わない	12.7	14.1	11.7	13.4	14.1	10.4
			4. まったくそう思わない	2.7	4.8	1.2	3.9	2.0	2.0
		手にできない	1. とてもそう思う	7.0	11.3	4.0	7.1	7.0	6.8
			2. まあそう思う	16.8	20.1	14.5	16.8	16.5	17.1
			3. あまりそう思わない	45.9	40.4	49.7	45.3	47.0	45.4
			4. まったくそう思わない	30.3	28.2	31.8	30.8	29.5	30.8
24	あなたにとっての大金とは	1. 1~1000円	13.0	12.7	13.3	13.7	12.9	12.5	
		2. 1001~5000円	3.3	4.2	2.7	4.6	3.0	2.2	
		3. 5001~1万円	9.4	11.7	8.0	11.0	8.8	8.5	
		4. 1万1~5万円	12.2	10.9	13.2	11.6	13.1	12.0	
		5. 5万1~10万円	14.4	15.5	13.6	14.0	15.3	13.7	
		6. 10万1~50万円	5.6	6.1	5.3	5.8	6.4	4.6	
		7. 50万1~100万円	16.5	14.0	18.2	14.9	17.3	17.5	
		8. 100万1~1000万円	11.0	8.7	12.5	10.8	10.6	11.5	
		9. 1000万1円以上	14.5	16.2	13.4	13.7	12.6	17.5	

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
25	どちらの生き方をしたいか	収入	1. 絶対5時に終わるが、収入は少ない仕事	4.5	8.2	2.0	4.2	4.8	4.6
			2. できれば5時に終わるが、収入は少ない仕事	27.0	25.4	28.1	26.9	27.4	26.6
			3. できれば収入は多いが、残業も多い仕事	53.6	47.8	57.6	55.3	53.2	52.2
			4. 絶対収入は多いが、残業も多い仕事	14.9	18.7	12.3	13.6	14.5	16.6
		貯金	1. 絶対現在を楽しみ、あまり貯金をしない暮らし	6.8	8.1	5.8	8.6	5.4	6.3
			2. できれば現在を楽しみ、あまり貯金をしない暮らし	30.3	30.7	30.1	29.1	30.7	31.2
			3. できれば欲しいものをがまんして、貯金をする暮らし	49.1	48.0	50.0	47.3	50.9	49.2
			4. 絶対欲しいものをがまんして、貯金をする暮らし	13.8	13.2	14.1	15.0	13.0	13.2
		仕事	1. 絶対のんびりとした仕事だが、収入は少ない仕事	8.4	9.5	7.6	10.1	6.2	9.0
			2. できればのんびりとした仕事だが、収入は少ない仕事	44.2	39.5	47.5	44.8	47.5	40.1
			3. できれば高収入だが、責任が重く神経を使う仕事	36.3	36.6	36.0	35.7	35.2	38.1
			4. 絶対高収入だが、責任が重く神経を使う仕事	11.1	14.4	8.8	9.4	11.1	12.9
	暮らし	1. 絶対貧しくとも、家族を大事にする暮らし	34.6	34.6	34.6	33.8	32.9	37.1	
		2. できれば貧しくとも、家族を大事にする暮らし	53.6	52.9	54.1	54.7	54.7	51.3	
		3. できれば家族を犠牲にしても、豊かさを確保する暮らし	9.7	10.4	9.1	9.6	10.1	9.2	
		4. 絶対家族を犠牲にしても、豊かさを確保する暮らし	2.2	2.1	2.2	2.0	2.2	2.4	
26	日頃、次のようなことがどの程度あてはまるか	でぼつ不安になる	1. とともある	12.1	11.3	12.6	10.8	12.6	12.8
			2. わりとある	17.5	15.3	19.0	17.0	18.0	17.5
			3. とときどきある	32.1	30.7	33.1	33.3	31.3	31.7
			4. あまりない	25.8	25.0	26.3	27.0	24.6	25.8
			5. ぜんぜんない	12.6	17.7	9.0	11.9	13.5	12.3
		感じる	1. とともある	11.0	11.0	10.9	10.4	11.3	11.2
			2. わりとある	13.6	14.0	13.4	12.9	13.1	15.0
			3. とときどきある	28.8	26.5	30.3	26.5	30.7	29.1
			4. あまりない	31.4	29.8	32.5	34.7	28.9	30.7
			5. ぜんぜんない	15.2	18.7	12.8	15.6	16.0	14.0
		じむなし	1. とともある	15.7	19.6	13.0	14.8	15.4	17.0
			2. わりとある	18.5	19.5	17.9	17.5	19.2	18.9
			3. とときどきある	28.6	24.8	31.2	29.2	28.2	28.3
			4. あまりない	22.9	19.0	25.5	24.0	23.0	21.6
			5. ぜんぜんない	14.3	17.1	12.4	14.4	14.2	14.2
		めきられず困る	1. とともある	25.2	24.9	25.4	26.5	26.2	22.7
			2. わりとある	27.3	24.9	28.9	24.7	28.3	28.9
			3. とときどきある	26.3	26.4	26.3	27.9	24.2	27.0
			4. あまりない	15.4	15.7	15.3	16.4	15.7	14.0
			5. ぜんぜんない	5.8	8.1	4.2	4.4	5.5	7.4
できない	1. とともある	7.5	7.5	7.5	6.8	8.4	7.2		
	2. わりとある	12.3	10.3	13.7	10.5	13.2	13.2		
	3. とときどきある	22.6	20.4	24.0	22.0	24.6	20.9		
	4. あまりない	38.4	38.0	38.8	41.0	36.1	38.3		
	5. ぜんぜんない	19.1	23.8	15.9	19.6	17.6	20.3		
す	1. とともある	9.0	11.0	7.5	8.7	8.6	9.6		
	2. わりとある	11.3	12.7	10.3	10.4	12.1	11.5		
	3. とときどきある	26.1	23.3	28.1	24.9	28.5	24.8		
	4. あまりない	33.4	31.3	34.8	34.8	33.0	32.2		
	5. ぜんぜんない	20.3	21.7	19.3	21.2	17.9	21.9		
う	1. とともある	11.3	11.0	11.5	12.1	10.5	11.5		
	2. わりとある	20.0	16.0	22.8	18.0	22.1	19.7		
	3. とときどきある	18.7	20.0	17.7	18.8	17.5	19.8		
	4. あまりない	32.6	31.4	33.4	31.4	34.5	31.8		
	5. ぜんぜんない	17.4	21.6	14.5	19.7	15.4	17.2		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
26	日頃次のようなことなどの程度あてはまるか なく制服をだらし	1. とてもある	13.1	8.1	16.6	15.8	12.0	11.6	
		2. わりとある	22.5	16.1	27.0	22.4	24.2	20.8	
		3. とときどきある	22.7	23.5	22.2	23.7	22.6	21.7	
		4. あまりない	22.9	27.7	19.5	20.4	22.5	25.9	
		5. ぜんぜんない	18.7	24.6	14.7	17.6	18.7	20.0	
	かり茶髪に かけるパーマをした	1. とてもある	11.7	8.0	14.2	11.3	12.1	11.7	
		2. わりとある	11.4	8.8	13.2	9.2	12.4	12.8	
		3. とときどきある	11.8	10.3	12.8	10.4	11.9	13.2	
		4. あまりない	16.7	15.8	17.3	18.1	16.3	15.7	
		5. ぜんぜんない	48.4	57.1	42.4	51.1	47.4	46.6	
27	高校生と してど んな タイプ か	行動力がある	1. とてもそう	8.7	9.6	8.1	8.1	8.6	9.6
			2. わりとそう	23.0	22.2	23.4	21.2	22.9	24.9
			3. 少しそう	26.0	25.2	26.6	26.9	25.7	25.5
			4. あまりそうでない	33.5	31.4	34.9	33.5	34.1	32.7
			5. ぜんぜんそうでない	8.8	11.5	6.9	10.3	8.7	7.2
	おしゃ れな	1. とてもそう	3.4	4.0	3.0	3.3	3.5	3.4	
		2. わりとそう	9.6	9.4	9.8	9.6	9.3	10.0	
		3. 少しそう	30.0	26.1	32.7	29.9	31.3	28.6	
		4. あまりそうでない	41.8	39.6	43.3	43.4	40.5	41.4	
		5. ぜんぜんそうでない	15.2	21.0	11.2	13.8	15.3	16.7	
	異性 から人 気が	1. とてもそう	1.8	3.0	1.0	1.4	2.0	2.1	
		2. わりとそう	2.5	3.6	1.8	1.5	2.6	3.5	
		3. 少しそう	10.8	14.0	8.5	9.8	10.4	12.2	
		4. あまりそうでない	41.2	45.4	38.3	38.4	43.6	41.5	
		5. ぜんぜんそうでない	43.7	34.0	50.4	48.9	41.3	40.7	
	友だち が多い	1. とてもそう	6.7	7.2	6.4	7.2	6.1	6.9	
		2. わりとそう	26.8	23.6	29.0	26.8	26.1	27.6	
		3. 少しそう	34.9	35.6	34.4	34.4	36.6	33.5	
		4. あまりそうでない	25.7	24.8	26.3	25.9	25.8	25.4	
		5. ぜんぜんそうでない	5.9	8.9	3.9	5.8	5.4	6.6	
	努力型だ	1. とてもそう	10.0	11.7	8.8	9.7	9.0	11.4	
		2. わりとそう	19.5	17.0	21.2	19.2	19.7	19.7	
		3. 少しそう	26.5	24.6	27.9	25.0	28.2	26.3	
		4. あまりそうでない	28.4	28.1	28.5	29.2	28.8	26.9	
		5. ぜんぜんそうでない	15.6	18.5	13.6	16.8	14.3	15.7	
校則は 守る	1. とてもそう	15.1	18.7	12.5	16.3	13.6	15.4		
	2. わりとそう	28.5	29.2	27.9	27.6	27.8	30.1		
	3. 少しそう	27.0	26.4	27.5	25.3	27.6	28.3		
	4. あまりそうでない	21.6	16.6	25.1	22.9	22.3	19.5		
	5. ぜんぜんそうでない	7.8	9.0	6.9	7.8	8.7	6.7		
友人 に頼 りか てら れる	1. とてもそう	4.9	5.3	4.7	4.3	4.3	6.3		
	2. わりとそう	18.6	15.6	20.7	17.8	16.8	21.5		
	3. 少しそう	46.2	43.4	48.1	45.5	48.7	44.1		
	4. あまりそうでない	24.9	27.0	23.4	26.9	25.3	22.1		
	5. ぜんぜんそうでない	5.4	8.7	3.2	5.4	5.0	6.0		
友人 が活 躍的 な 子 ば ら	1. とてもそう	3.3	4.3	2.7	3.1	2.9	4.0		
	2. わりとそう	8.1	7.5	8.5	7.0	7.6	9.8		
	3. 少しそう	20.9	22.8	19.6	20.9	21.9	19.9		
	4. あまりそうでない	40.5	38.3	41.9	40.7	41.4	39.2		
	5. ぜんぜんそうでない	27.2	27.0	27.4	28.3	26.2	27.1		

## 資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
27	高校生としてどんなタイプか	先生から信頼されている	1. とてもそう	3.7	5.5	2.5	3.6	3.2	4.4
			2. わりとそう	10.6	10.5	10.6	8.7	9.1	14.2
			3. 少しそう	28.8	25.8	31.0	29.7	27.4	29.4
			4. あまりそうでない	37.6	35.7	39.0	38.9	38.6	35.2
			5. ぜんぜんそうでない	19.3	22.6	17.0	19.1	21.7	16.8
	意だスポーツが得	1. とてもそう	12.0	16.0	9.2	12.7	10.1	13.4	
		2. わりとそう	19.1	23.2	16.2	16.9	18.6	21.9	
		3. 少しそう	21.0	21.9	20.3	21.6	20.6	20.6	
		4. あまりそうでない	25.0	22.7	26.5	26.0	26.5	22.2	
		5. ぜんぜんそうでない	23.0	16.2	27.7	22.8	24.3	21.8	
28	卒業後の希望進路	1. 就職	6.1	6.1	6.1	6.1	5.6	6.6	
		2. 家業・家の手伝い	0.4	0.4	0.4	0.5	0.6	0.2	
		3. 専門・専修学校	16.1	9.6	20.6	14.8	15.4	18.4	
		4. 短期大学	5.0	0.4	8.2	4.1	3.0	8.0	
		5. ふつうの4年制大学	48.7	58.7	41.7	45.1	49.7	51.3	
		6. 難しい4年制大学	14.2	15.3	13.4	14.2	16.1	12.1	
		7. まだ決めていない	8.1	7.2	8.7	13.0	8.4	2.5	
		8. その他	1.5	2.4	0.9	2.3	1.2	1.0	